

工 事 番 号							
設計年度	令和5年度	橋梁耐震補強工事（市道沼田東町北部36号線 本市橋） 三原市 沼田東町本市					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
本市橋 下部工 N=2 基 落橋防止装置工 N=6 組 橋脚コンクリート巻立て工 V=23m3 断面修復工 N=1 構造物 仮設工 N=1 式							

補助金

仕 様 書

特記仕様書（個別事項）

第1章 総則

第1節

適用

- 1 本特記仕様書は、三原市沼田東町本市 橋梁耐震補強工事（市道沼田東町北部36号線 本市橋）に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）
 - ・特記仕様書（共通事項）（令和5年7月）広島版
- ※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
- ・その他関連規格類

第2節

中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とし、実施については特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第2節 中間検査に従うこと。

第3節

情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第5節 情報共有システムに従うこと。

第4節

法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第5節

建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-19 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実施書の提出」によらず、次のとおり取り扱う。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
 - 2 計画の掲示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
 - 3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
 - 4 工事現場の管理体制
受注者は、再生資源の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
 - 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
 - (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
 - (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第6節

現場代理人の常駐義務の緩和

特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第3節 現場代理人の常駐義務の緩和に従うこと。

第7節 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者

- 1 土木工事共通仕様書1-1-3-2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」によらず、次のとおり取り扱う。
一般土木工事（建築一式工事以外）の契約約款第10条第1項第2号の規定により配置する主任技術者又は監理技術者は次によるものとする。
- (1) 下請契約金額の総額が4,500万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合は、監理技術者を配置する。
(2) 請負代金額4,000万円以上の場合、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について技術者を専任配置する。
(3) 請負代金額が500万円以上4,000万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について配置する技術者が、兼務する工事件数（請負代金額が500万円以上4,000万円未満）は、この工事を含めて5件までとする。
- 2 土木工事共通仕様書1-1-3-2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「6. 誓約書」によらず、次のとおり取り扱う。
「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」には、次の各号に定める誓約書を添付しなければならない。
- (1) 請負代金額が4,000万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合
配置する主任技術者又は監理技術者について、他の工事の主任技術者又は監理技術者として配置していない旨の誓約書
(2) 請負代金額が500万円以上4,000万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合
配置する主任技術者又は監理技術者について、次の[1]又は[2]に掲げる主任技術者又は監理技術者若しくは現場代理人として現在5件（本件工事は含まない。）以上の工事に配置していない旨の誓約書
- [1] 500万円以上4,000万円未満（建築一式工事については、1,500万円以上8,000万円未満）の建設工事の主任技術者又は監理技術者
[2] 災害復旧工事以外の工事の現場代理人

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限
- | | |
|---------|---|
| 施工内容 | 工事全般 |
| 時期 | 全工事期間 |
| 時間 | 道路管理者との調整による |
| 施工方法・理由 | 工事箇所出入りが国道であるため、道路管理者と調整を行い、安全対策をした上で施工を行うこと。 |
- 2 関係機関との協議
- | | |
|------|---|
| 協議内容 | 河川管理者及び漁協と、仮設工について協議をしなければならない。
そのため、仮設工の施工方法について、監督職員と協議すること。 |
|------|---|

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 安全対策

- 1 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
作業期間中、交通誘導員を1（人／日）見込んでいる。

第4節 工事前道路

- 1 一般道路
- | | |
|----------|---|
| 使用期間 | 工事施工期間 |
| 工事中・後の処置 | 随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督職員と協議すること。設計変更の対象とする。） |

第5節 盛土

- 1 購入土（搬入）（建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土）
本工事では、1,330m³（ほぐし）の土砂購入を見込んでいるが、契約後に他工事からの流用が可能かどうか調査する。
流用が可能となった場合、購入から流用について協議するものとする。設計変更の対象とする。
- (1) 当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
- (2) (1)により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督職員と協議すること。
(3) 使用する処理土がセメント及びセメント系固着材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固着材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第6節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬入）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））
当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。
また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分にあつては費用（単価）は変更しない。
- 搬出場所 株式会社大地産業リサイクルプラント（三原市小坂町稗ヶ丘160）
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。
- 2 産業廃棄物の場外保管
当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第7節 工事支障物件

- 1 地下・地上支障物
- | | |
|-------|---------------------------|
| 支障物件名 | 防護カバー（ケーブル） |
| 管理者 | NTT |
| 立会 | 支障となる場合は、管理者の立会のもと施工すること。 |

第8節 その他

- 1 工事前機資材の仮置き
場所 受注者が責任をもって確保すること。
- 2 落橋防止装置
落橋防止の取付位置が変わる場合は、取付可能な位置を調査・設計を行い、監督職員と協議すること。

第3章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
橋梁付属物工	A 2 橋台	式	1	レベル2
落橋防止装置工		式	1	レベル3
芯出し調整	アンカーボルト	組	2	レベル4
落橋防止装置	ブラケット・緩衝チェーン	組	2	レベル4
下地処理	ピックハンマ、空気圧縮機等	m2	2	レベル4
モルタル充填	無収縮モルタル	m3	0.1	レベル4
削孔	アンカー材径30mmを超え43mm以下 削孔深さ500mmを超え1000mm以下	孔	12	レベル4
アンカー(落橋防止)	適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 下部工 横方向	本	12	レベル4
ウォータージェット削孔	43~54mm 削孔深さ500mm以下	孔	8	レベル4
アンカー(落橋防止)	適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 上部工 横方向	本	8	レベル4
チェーン吊上げ	ワイヤーロープ	箇所	2	レベル4
沓座拡幅工		式	1	レベル3
チップング		m2	6	レベル4
削孔	削孔深さ200mmを超え500mm以下	孔	46	レベル4
アンカー筋挿入	SD345 D19 エポキシ樹脂系	本	46	レベル4
コンクリート	24-12-25(20)BB	m3	2	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
型枠	沓座拡幅工	式	1	レベル4
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.19	レベル4
橋梁付属物工	P 3 橋脚	式	1	レベル2
落橋防止装置工		式	1	レベル3
芯出し調整	アンカーボルト	組	4	レベル4
落橋防止装置	ブラケット・緩衝チェーン	組	4	レベル4
下地処理	ピックハンマ、空気圧縮機等	m2	5	レベル4
モルタル充填	無収縮モルタル	m3	0.3	レベル4
削孔	アンカー材径30mmを超え43mm以下 削孔深さ500mmを超え1300mm以下	孔	20	レベル4
アンカー(落橋防止)	適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 下部工 横方向	本	20	レベル4
ウォータージェット削孔	43～54mm 削孔深さ500mm以下	孔	16	レベル4
アンカー(落橋防止)	適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 上部工 横方向	本	16	レベル4
チェーン吊上げ	ワイヤーロープ	箇所	4	レベル4
沓座拡幅工		式	1	レベル3
チッピング		m2	12	レベル4
削孔	削孔深さ200mmを超え500mm以下	孔	92	レベル4
アンカー筋挿入	SD345 D19 エポキシ樹脂系	本	92	レベル4
コンクリート	24-12-25(20)BB	m3	4	レベル4

工事数量総括表

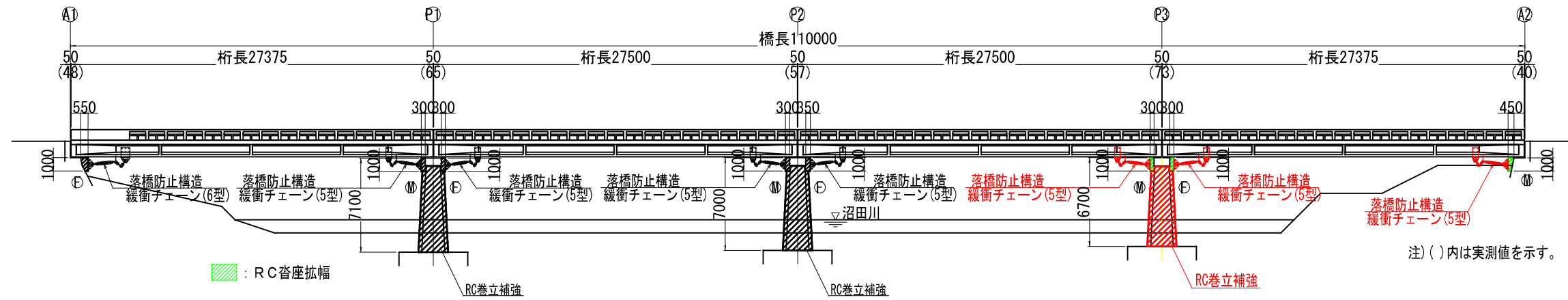
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
型枠	沓座拡幅工	式	1	レベル4
鉄筋	SD345 D16 ~ 25	t	0.35	レベル4
橋脚巻立て工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘り	土砂	式	1	レベル4
埋戻し	土砂	式	1	レベル4
橋脚コンクリート巻立て工		式	1	レベル3
コンクリート削孔	アンカー材径_D35 削孔深480mm以上540mm未満	箇所	32	レベル4
コンクリート	24-12-25(20)BB	m3	23	レベル4
鉄筋	SD345_D16 ~ D25	t	2.5	レベル4
アンカー	本体打込み式 M12(W1/2) × 50 電気亜鉛めっき	本	96	レベル4
橋梁補修工		式	1	レベル2
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメント 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む	構造物	1	レベル4
殻運搬	Co殻	m3	0.1	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m3	0.1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
工事用道路工		式	1	レベル3

工事数量総括表

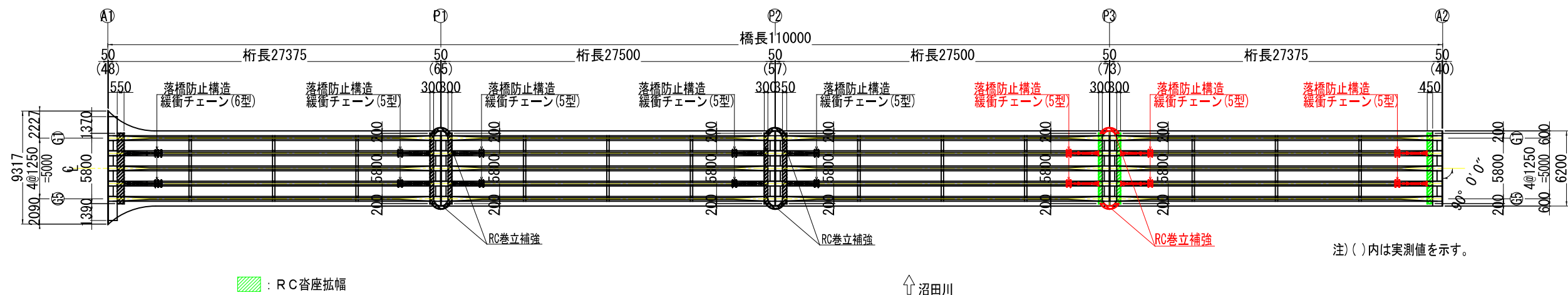
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
足場工		式	1	レベル3
土留・仮締切工		式	1	レベル3
水替工		式	1	レベル3
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	81	レベル4
** 直接工事費 **				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
木根等処分費		式	1	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
施工調査費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				

本市橋 補強一般図(その1)

側面図 S=1:200



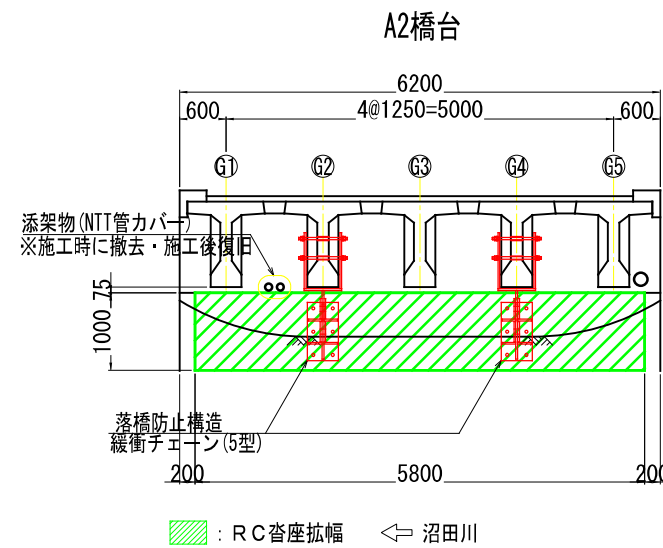
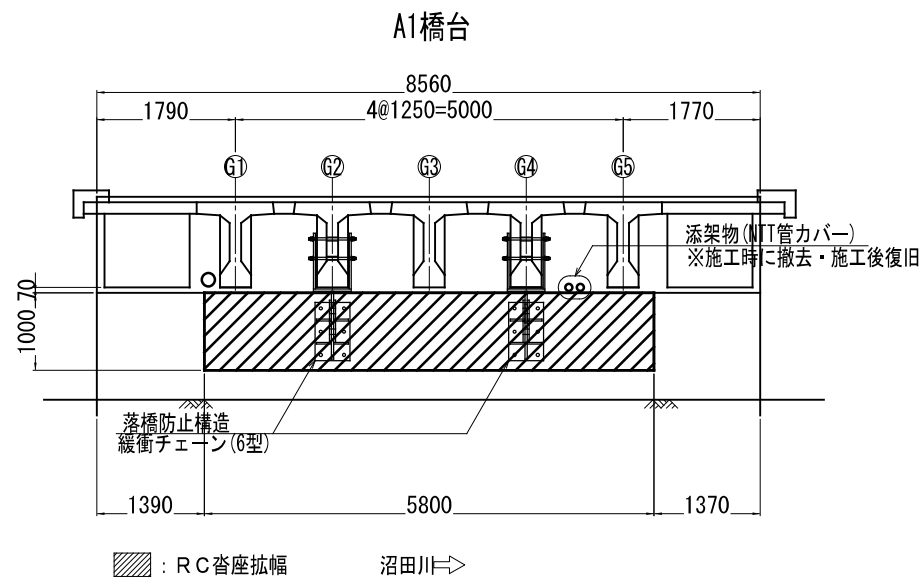
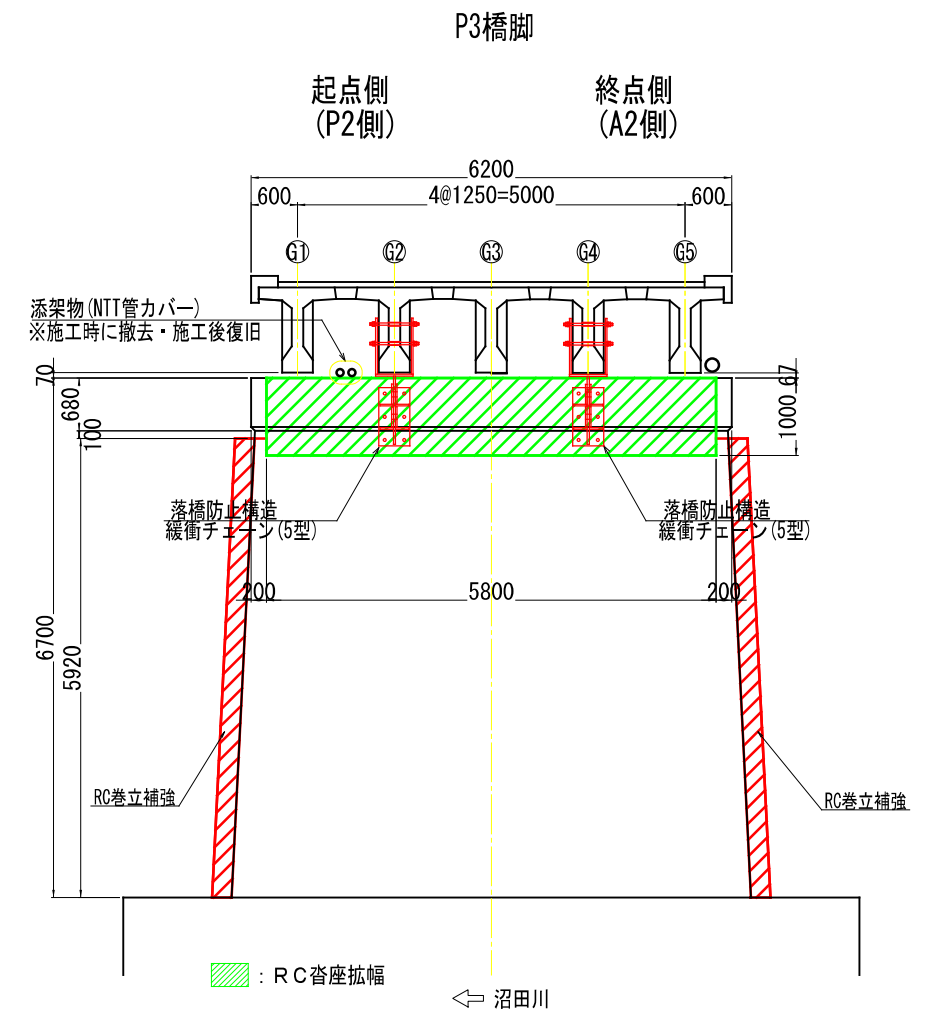
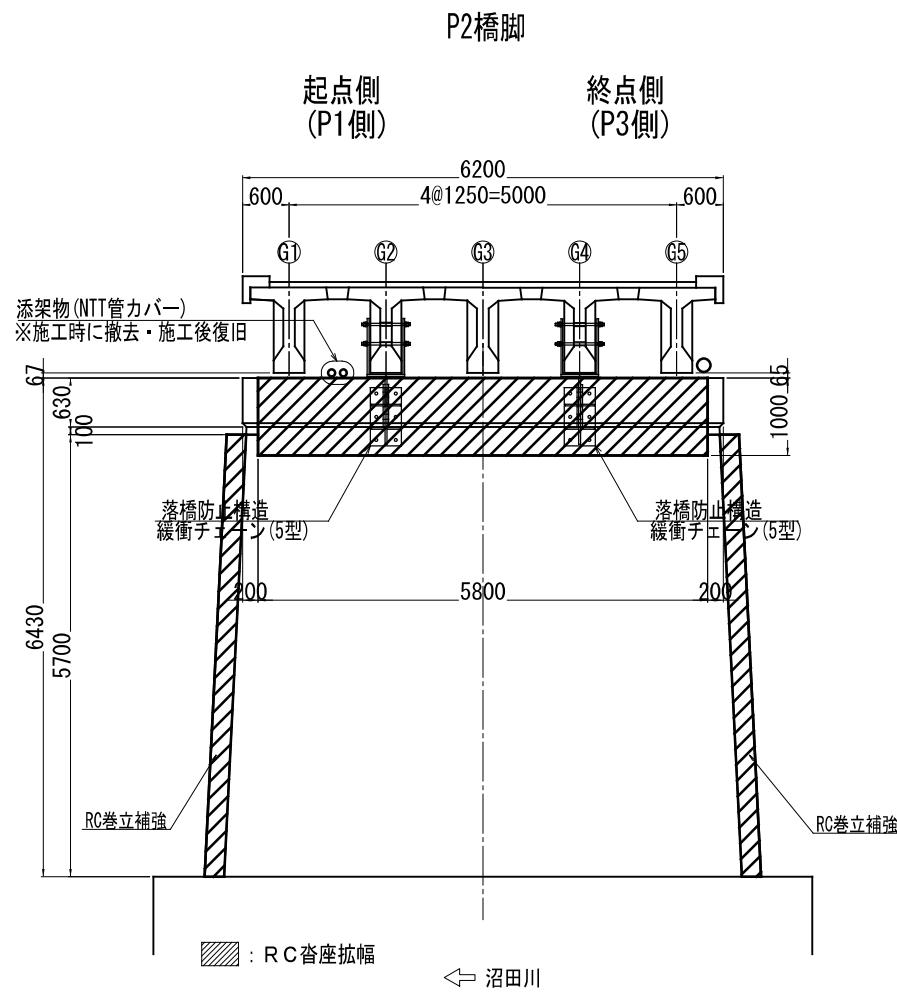
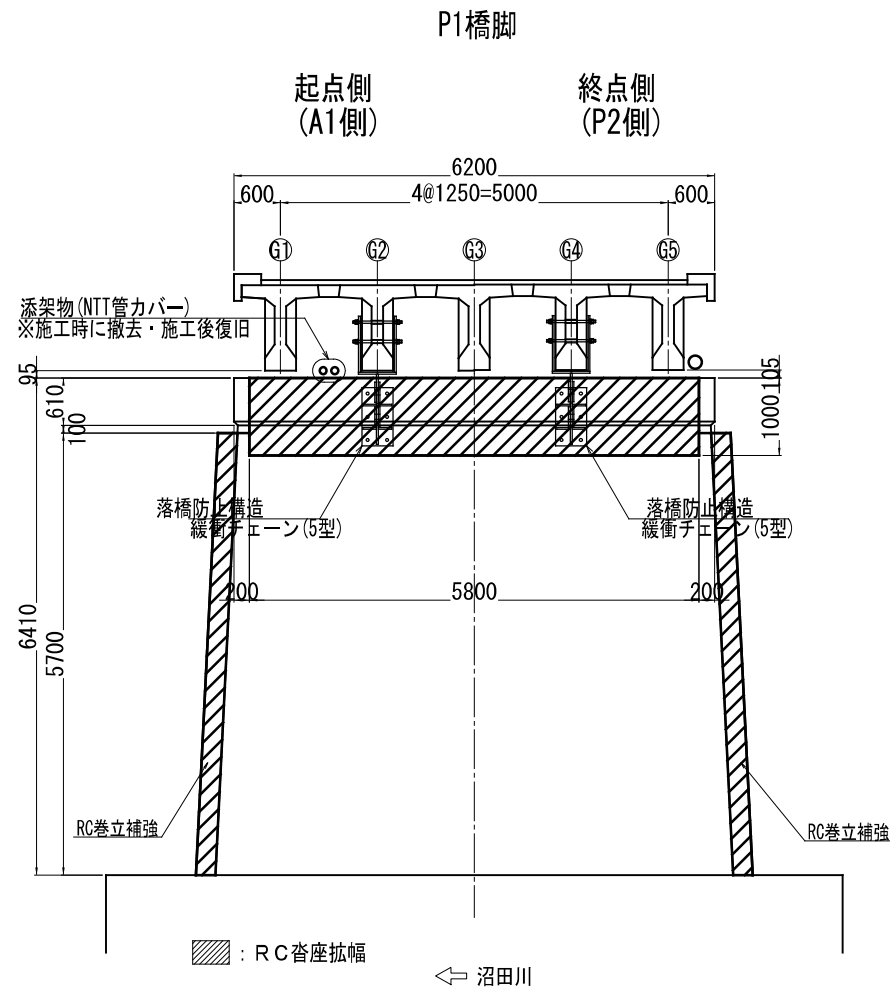
平面図 S=1:200



工事名	橋梁耐震補強工事(市道沼田東町北部36号線 本市橋)		
図面名	補強一般図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	1/13
事業者名	三原市		

本市橋 補強一般図(その2)

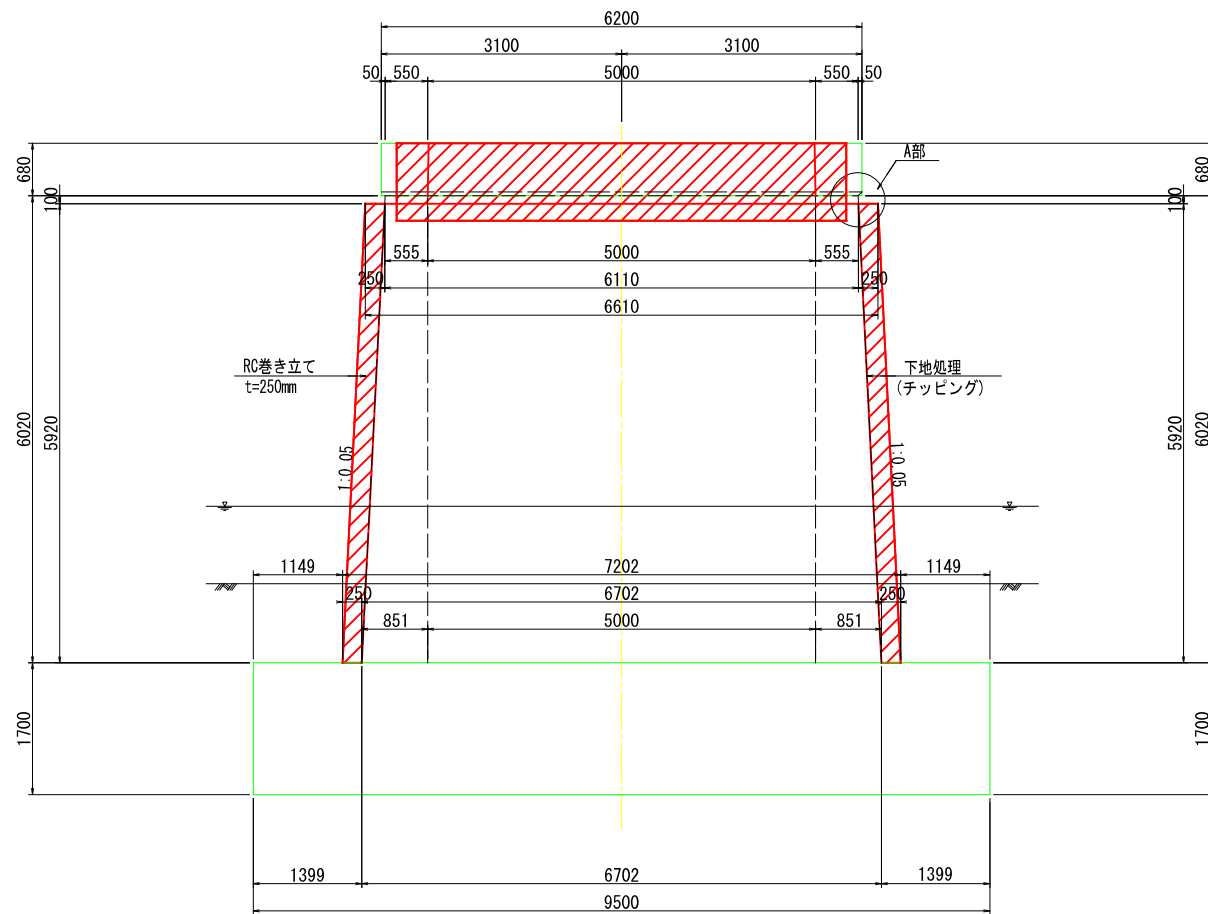
断面図 S=1:50



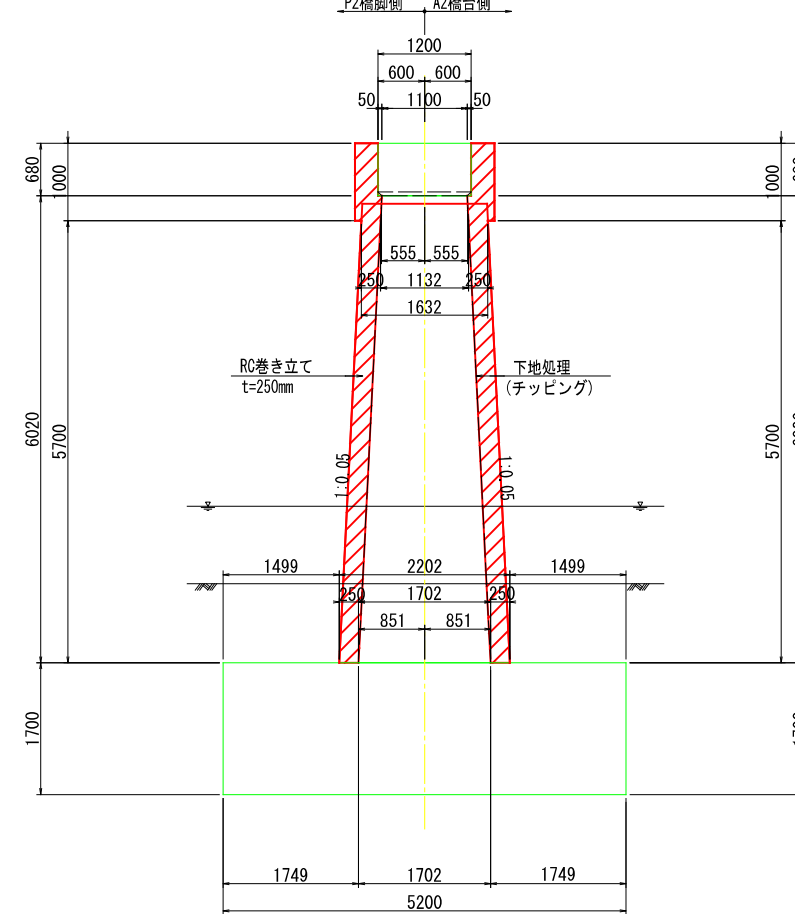
工事名	橋梁耐震補強工事 (市道沼田東町北部36号線 本市橋)		
図面名	補強一般図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	2 / 13
事業者名	三原市		

本市橋 P3橋脚補強構造図 S=1:50

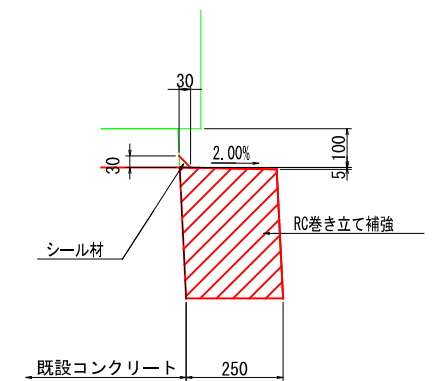
正面図



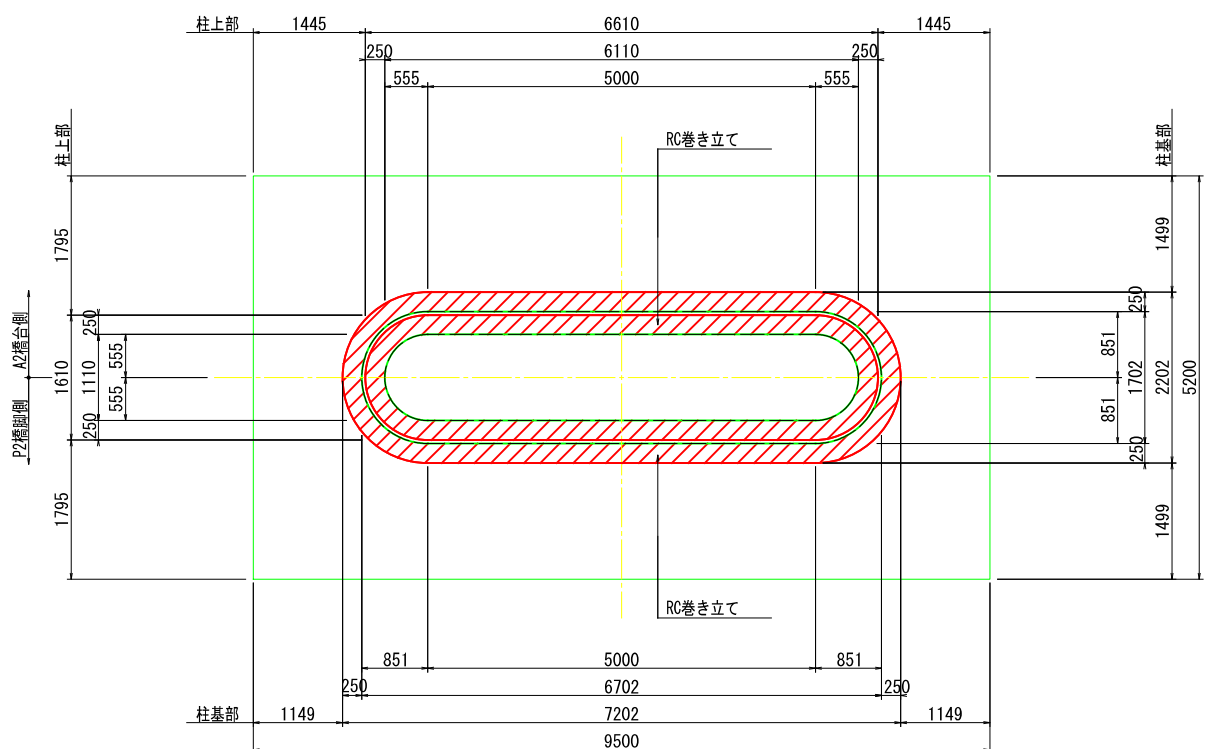
側面図



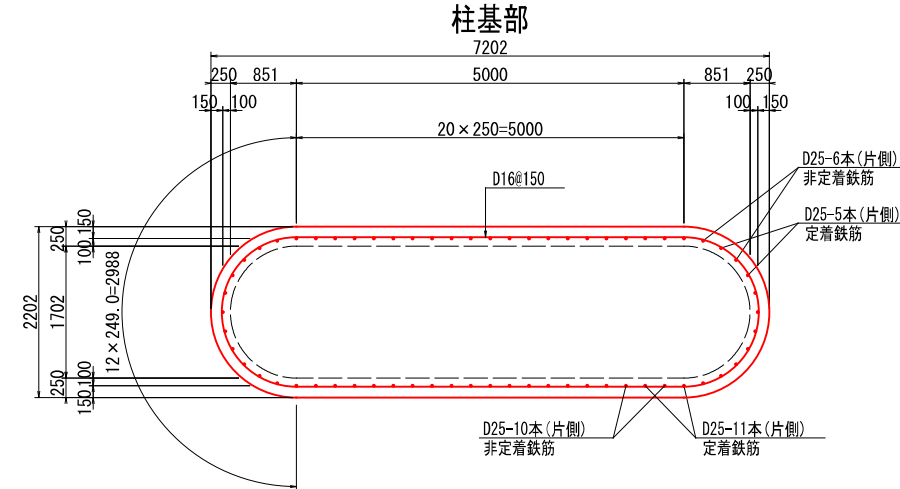
A部詳細 S=1:10



平面図



補強断面図



使用材料

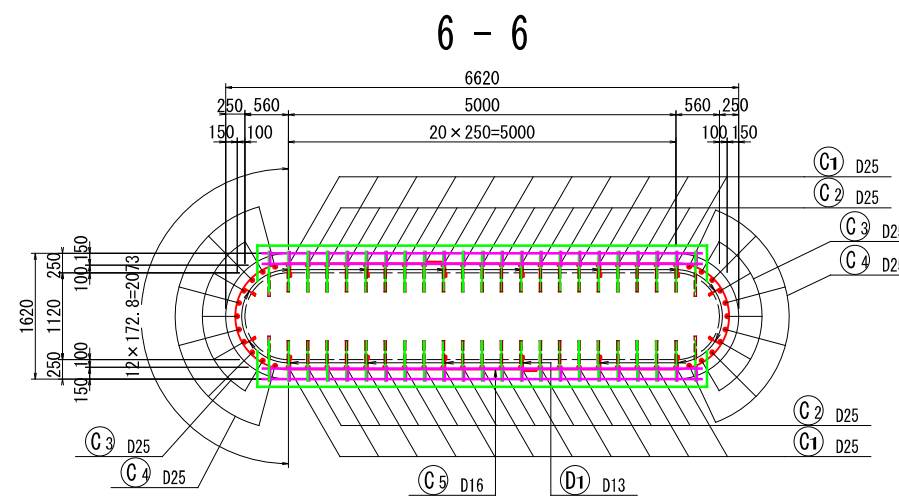
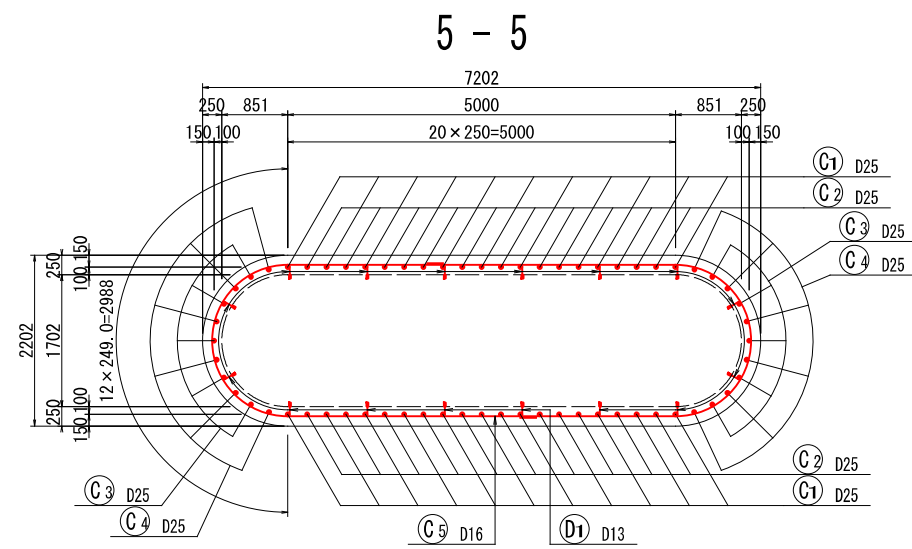
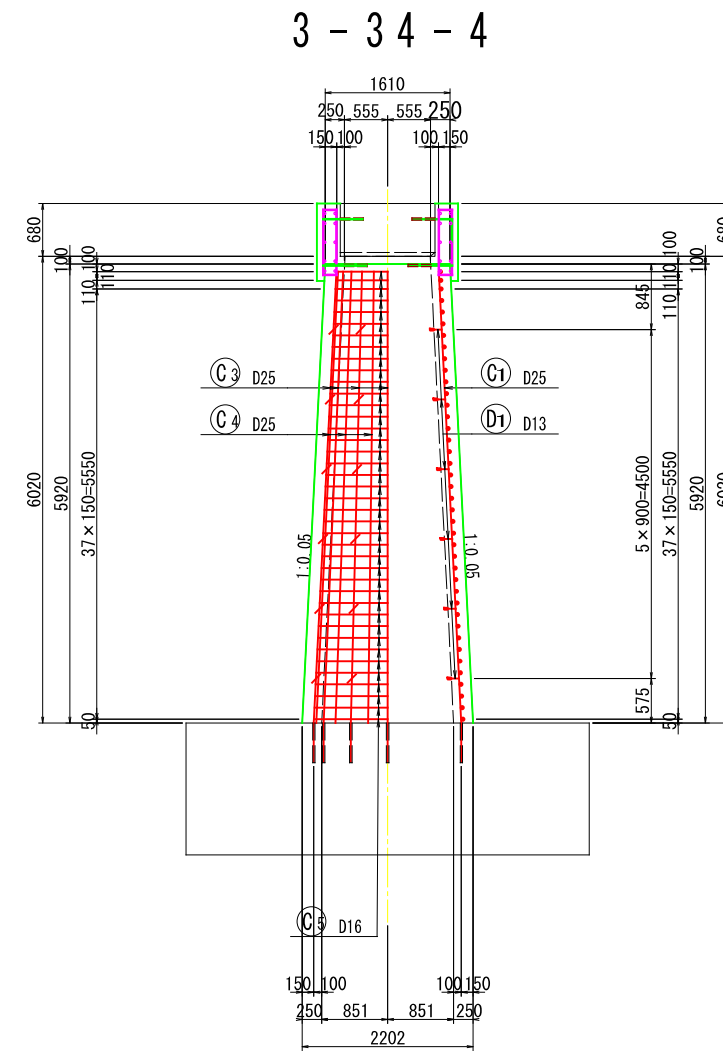
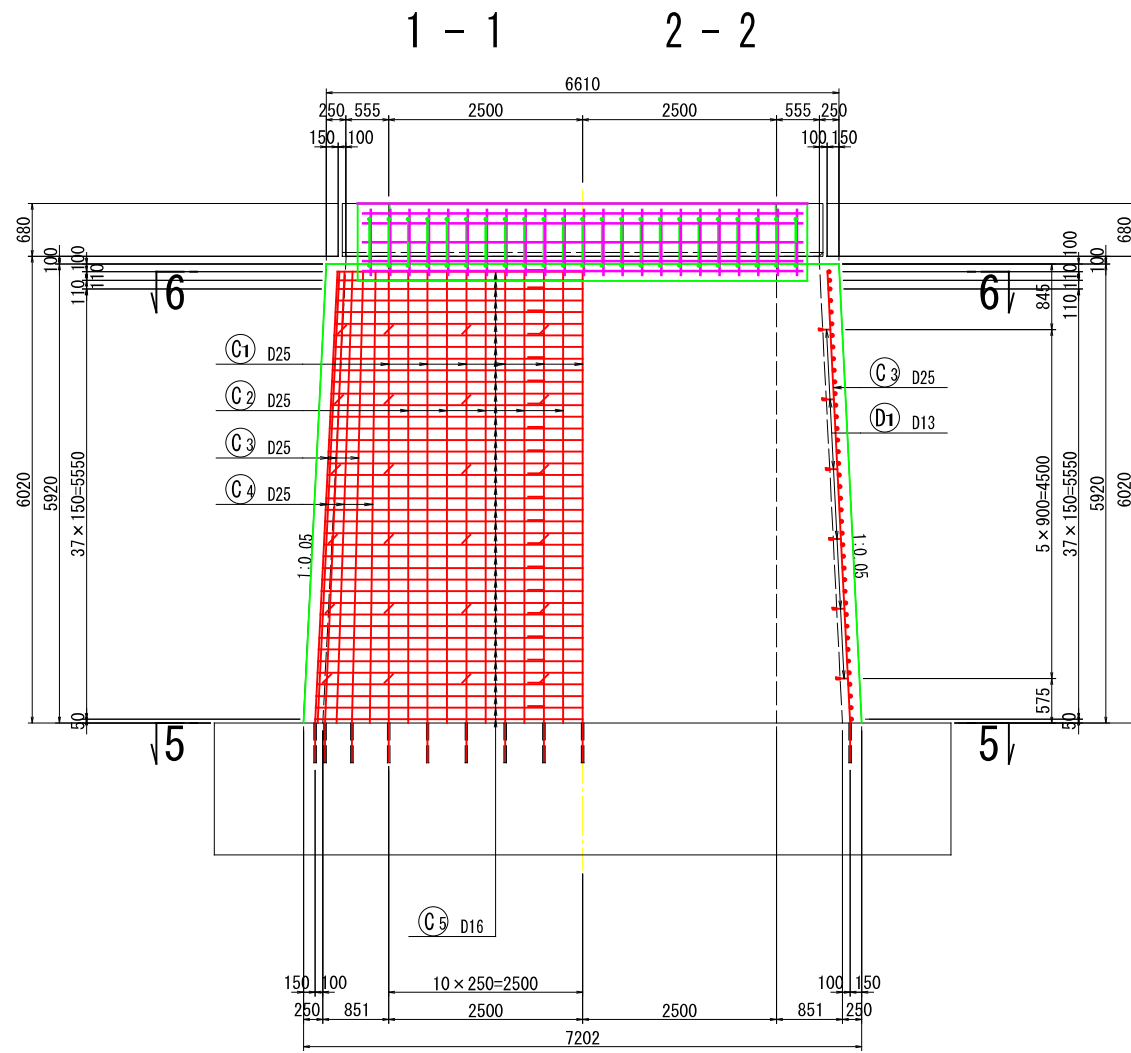
	既設	巻立て
コンクリート	$\sigma_{ck}=21N/mm^2$	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$
鉄筋	SR235	SD345

注記

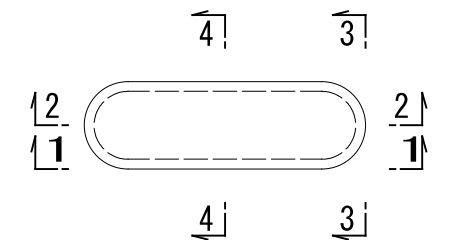
- 1) 施工前に既設形状寸法を確認すること。
- 2) は、補強部分を示す。
- 3) 現況形状寸法及び現況配筋状態を確認した後、鉄筋の配置を見直す場合は下記に留意すること。
 - ・帯鉄筋の必要本数を配置すること。
 - ・鉄筋のあきを確保すること。
- 4) 補強部分(既設面)は、コンクリート下地処理(チッピング)を行う。

工事名	橋梁耐震補強工事(市道沼田東町北部36号線 本市橋)		
図面名	P3橋脚補強構造図		
縮尺	図示	図面番号	3 / 13
事業者名	三原市		

本市橋 P3橋脚補強配筋図(その1) S=1:50



位置図

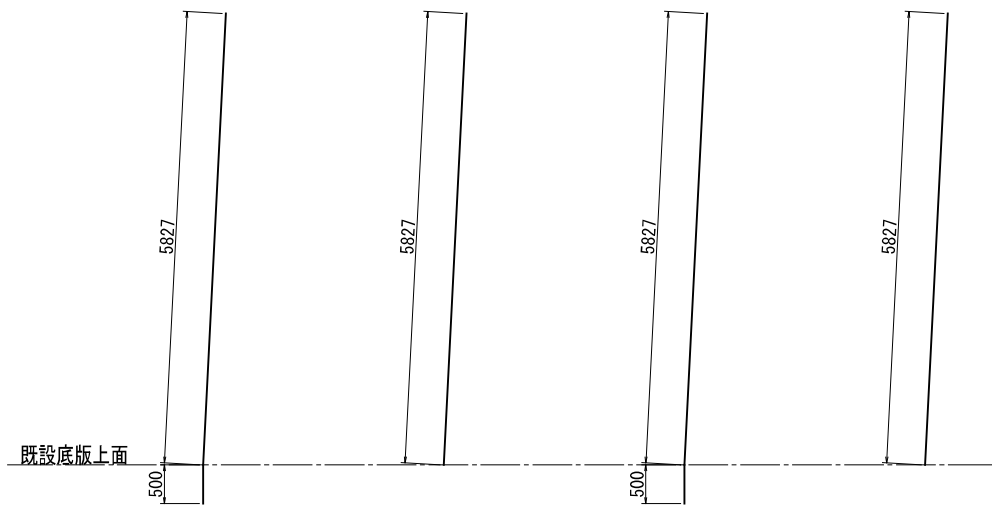


使用材料

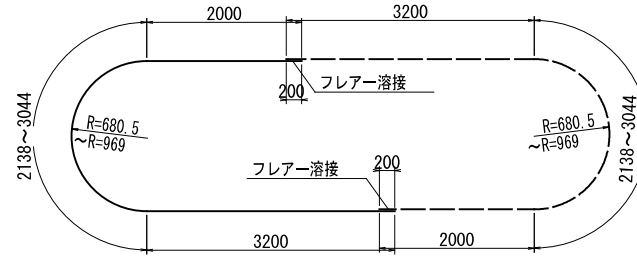
	既設	巻立て
コンクリート	$\sigma_{ck}=21N/mm^2$	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$
鉄筋	SR235	SD345

工事名	橋梁耐震補強工事(市道沼田東町北部36号線 本市橋)		
図面名	P3橋脚補強配筋図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	4 / 13
事業者名	三原市		

本市橋 P3橋脚補強配筋図(その2) S=1:50



① 22 - D25 × 6330 ② 20 - D25 × 5830 ③ 10 - D25 × 6330 ④ 12 - D25 × 5830



⑤ 80 - D16 × 7800 (平均長)

鉄筋表

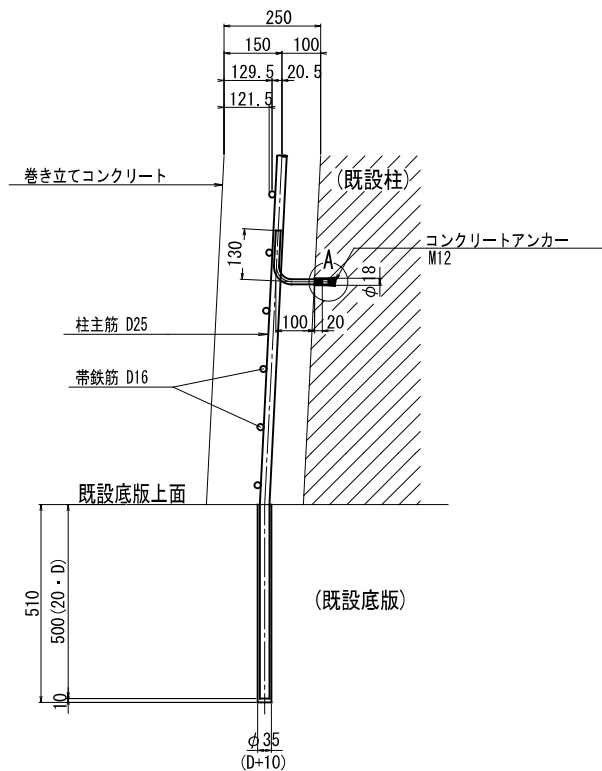
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (Kg/m)	1本当たり質量 (Kg)	質量 (Kg)	摘要
C 1	D25	6330	22	3.98	25.19	554	/
C 2	D25	5830	20	3.98	23.20	464	/
C 3	D25	6330	10	3.98	25.19	252	/
C 4	D25	5830	12	3.98	23.20	278	/
C 5	D16	7800	80	1.56	12.17	974	(平均長) F=80
小計						2522 Kg	
重量							
SD345 D25				1548 Kg			
SD345 D16				974 Kg			
合計				2522 Kg			
削孔				φ35 L=510 = 32 箇所			
フレアー溶接箇所数				= 80 箇所			
フレアー溶接長				D16 = 12.80m			

※ Fはフレアー溶接継手を示す

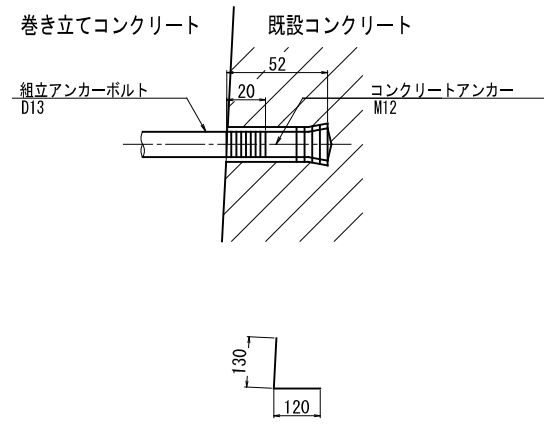
鉄筋表(参考数量)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg)	1本当たり質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
D 1	D13	250	96	0.995	0.25	24	┌
						24 kg	
鉄筋質量							
D13				24 kg			
合計				24 kg			

かぶり詳細図 S=1:10

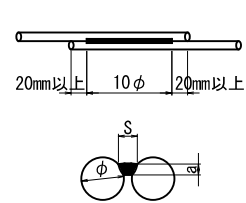


A部詳細図(参考図)



① 96-D13 x 250

フレアー溶接詳細図



単位 (mm)		
φ	S	a
13	6.5	2.1
16	8.0	3.2
19	9.5	4.4
22	11.0	5.6
25	12.5	6.8
29	14.5	8.3

鉄筋径(呼び径) L=10φ
 溶接長 S=0.5φ
 溶接ピート幅 a=0.39φ-3
 のど厚

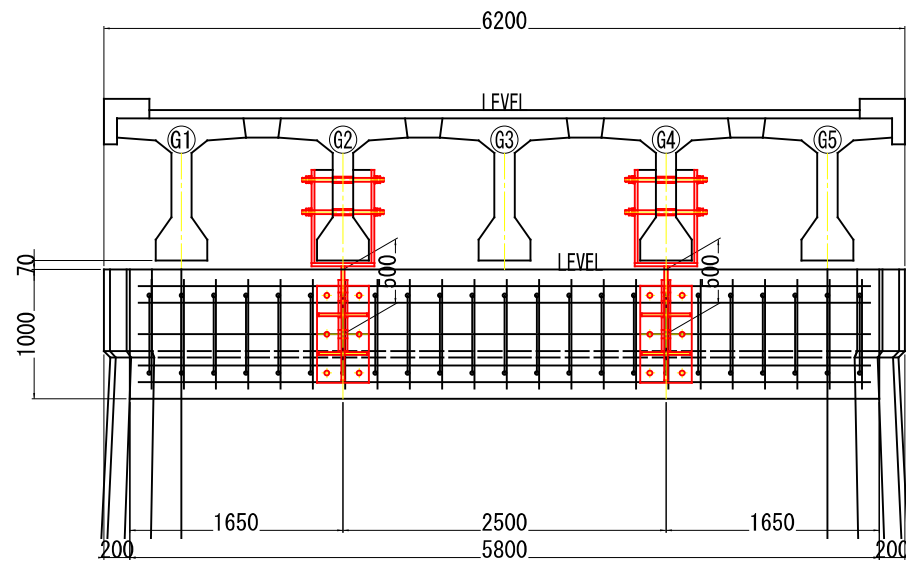
- 1) 現橋梁の寸法を現地に確認した後、製作施工を行うこと。
- 2) アンカー孔の径は、アンカー鉄筋径+10mmを越えないようにし、エポキシ樹脂を注入して充填する。
- 3) 旧コンクリート面は、打設面全体にわたりチッピングを行い、十分な粗度をつけるものとする。
- 4) チッピング面に直接コンクリートを打ち継ぐときは打設面を十分に濡潤にし、コンクリートを打ち継ぐものとする。
- 5) コンクリートの設計基準強度はσ_{ck}=24N/mm²以上とする。又、水セメント比は55%以下とする。
- 6) 鉄筋の材質はSD345とする。
- 7) アンカー筋の既設下部工への定着長は、鉄筋径の20倍以上を確実に確保すること。
- 8) アンカー筋の設置にあたっては、既設鉄筋位置をRC探査等により確認し、既設鉄筋を切断しないようにする。
- 9) 組立用アンカーは、1本/m程度配置すること。

工事名	橋梁耐震補強工事(市道沼田東町北部36号線 本市橋)		
図面名	P3橋脚補強配筋図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	5 / 13
事業者名	三原市		

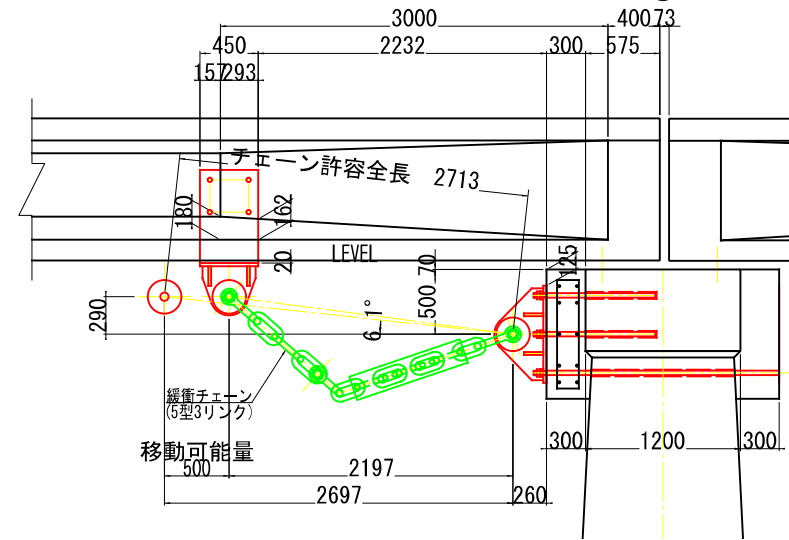
本市橋 P3橋脚 落橋防止構造取付図 (その1)

起点側

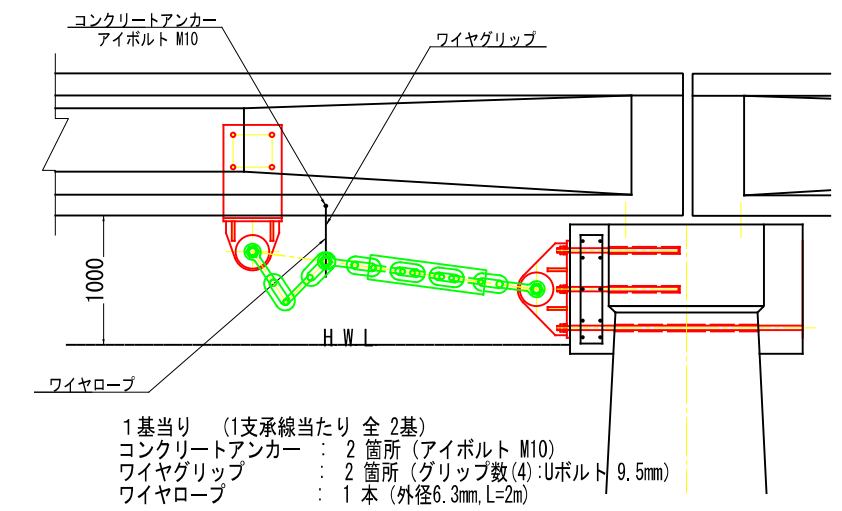
正面図 S=1:30



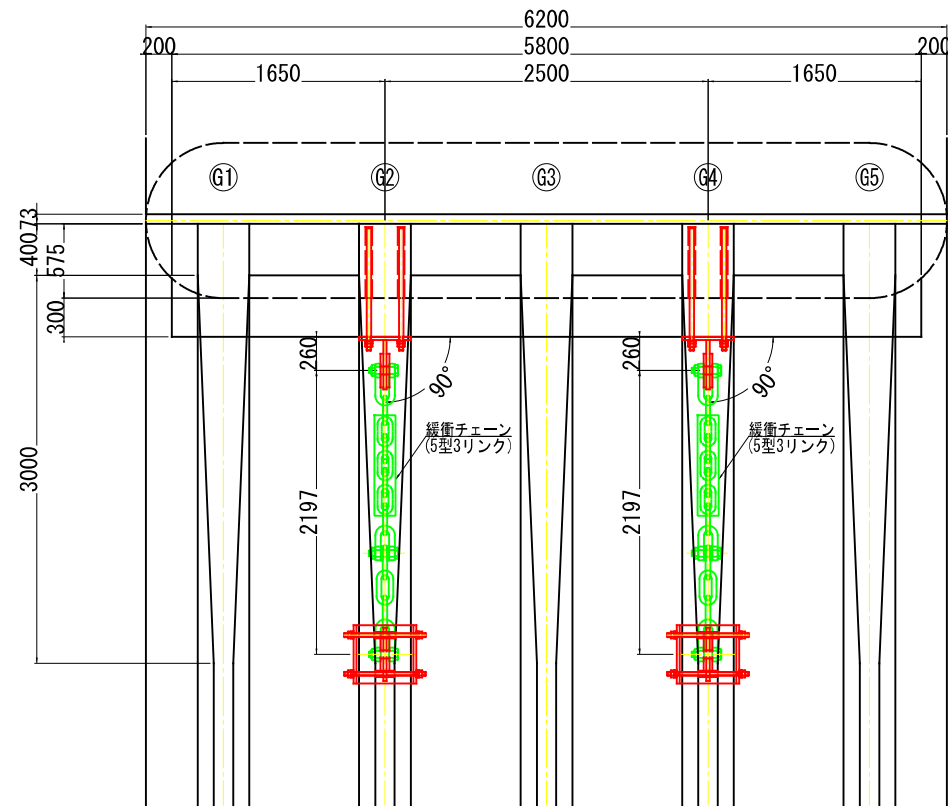
側面図 S=1:30 P2側



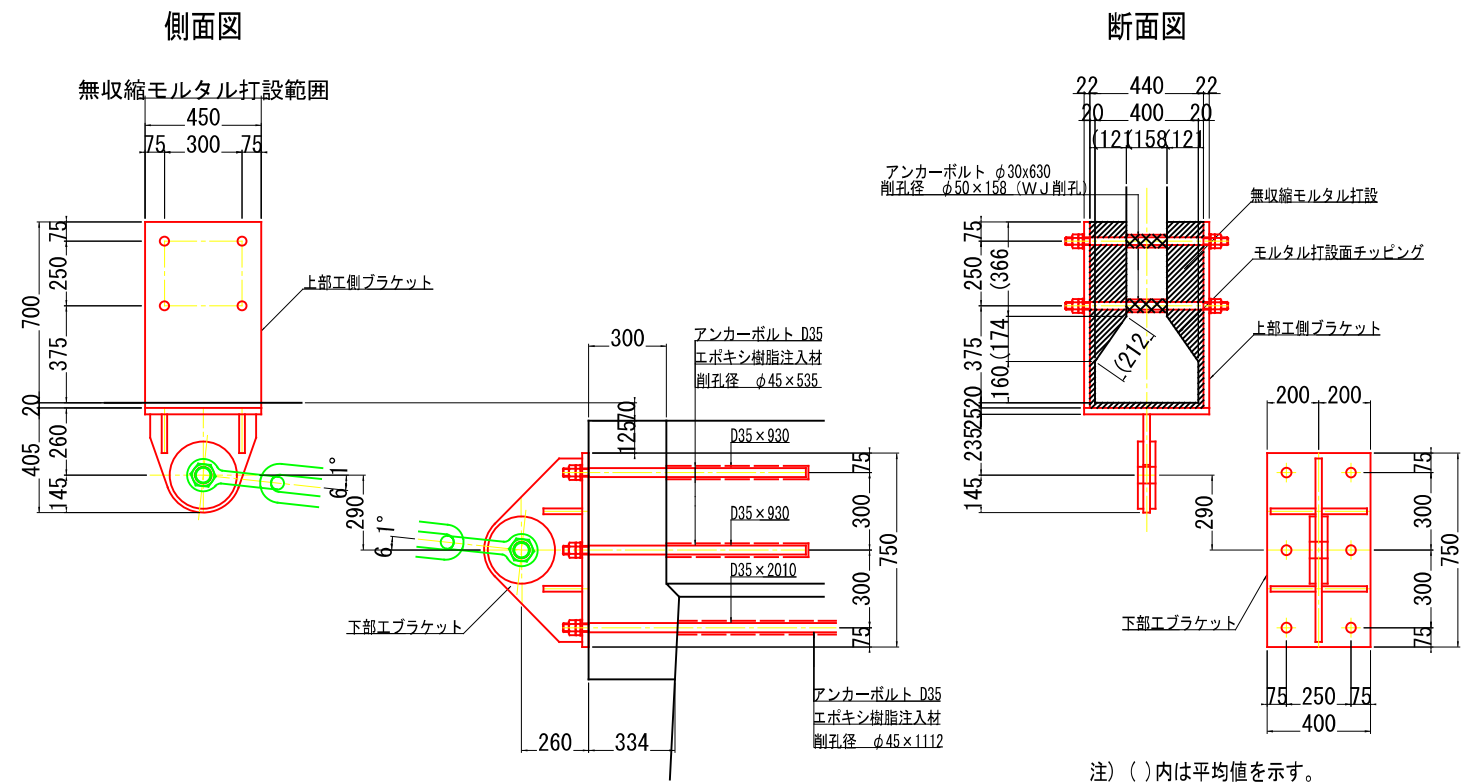
チェーン吊上げ図 (参考図) S=1:30



平面図 S=1:30



取付詳細図 S=1:15



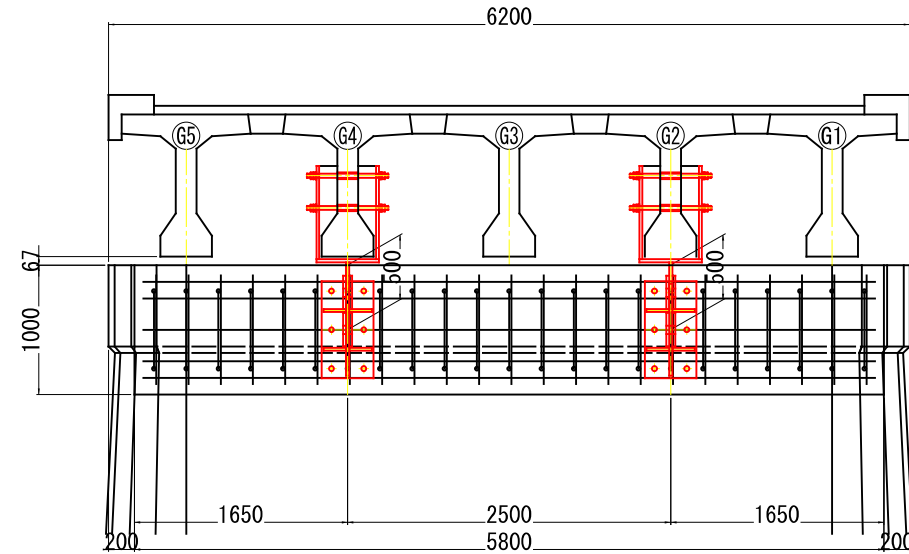
- 注記)
1. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
 2. 削孔の際は鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することがないよう十分配慮すること。
 3. 下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ (φ:アンカー径)以上を確保すること。
 4. 鋼材及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキ処理のこと。
 鋼材: HDZ55 アンカーネジ部、ナット、ワッシャー: HDZ35
 5. 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。
 6. 落橋防止装置 (緩衝チェーン) は納入前に完成形 (ゴム被覆) にて引張試験等を実施し、所定の耐震性能を確認すること。

工事名	橋梁耐震補強工事 (市道沼田東町北部36号線 本市橋)		
図面名	落橋防止構造取付図 (その1)		
縮尺	図示	図面番号	6 / 13
事業者名	三原市		

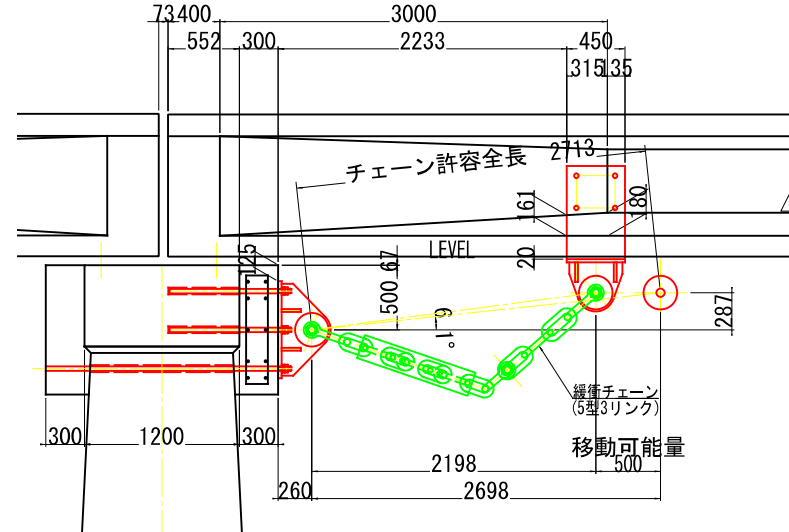
本市橋 P3橋脚 落橋防止構造取付図 (その2)

終点側

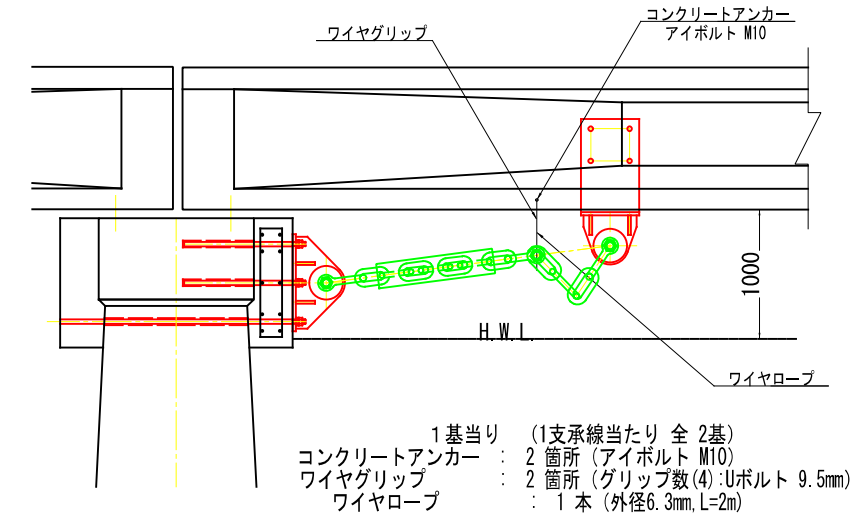
正面図 S=1:30



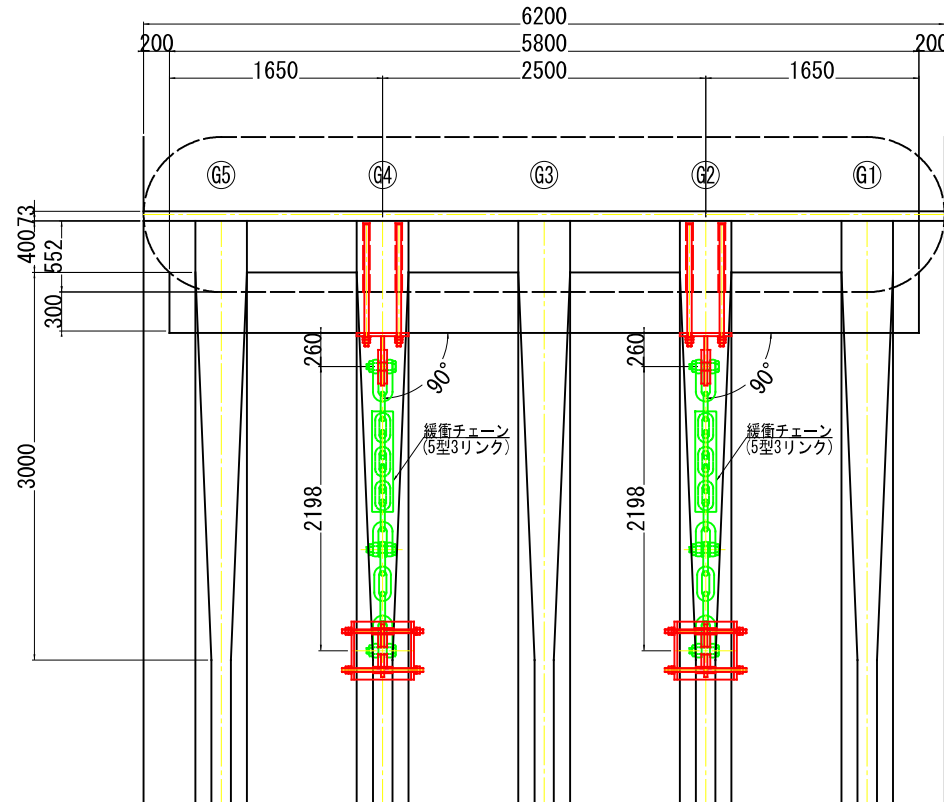
側面図 S=1:30



チェーン吊上げ図 (参考図) S=1:30

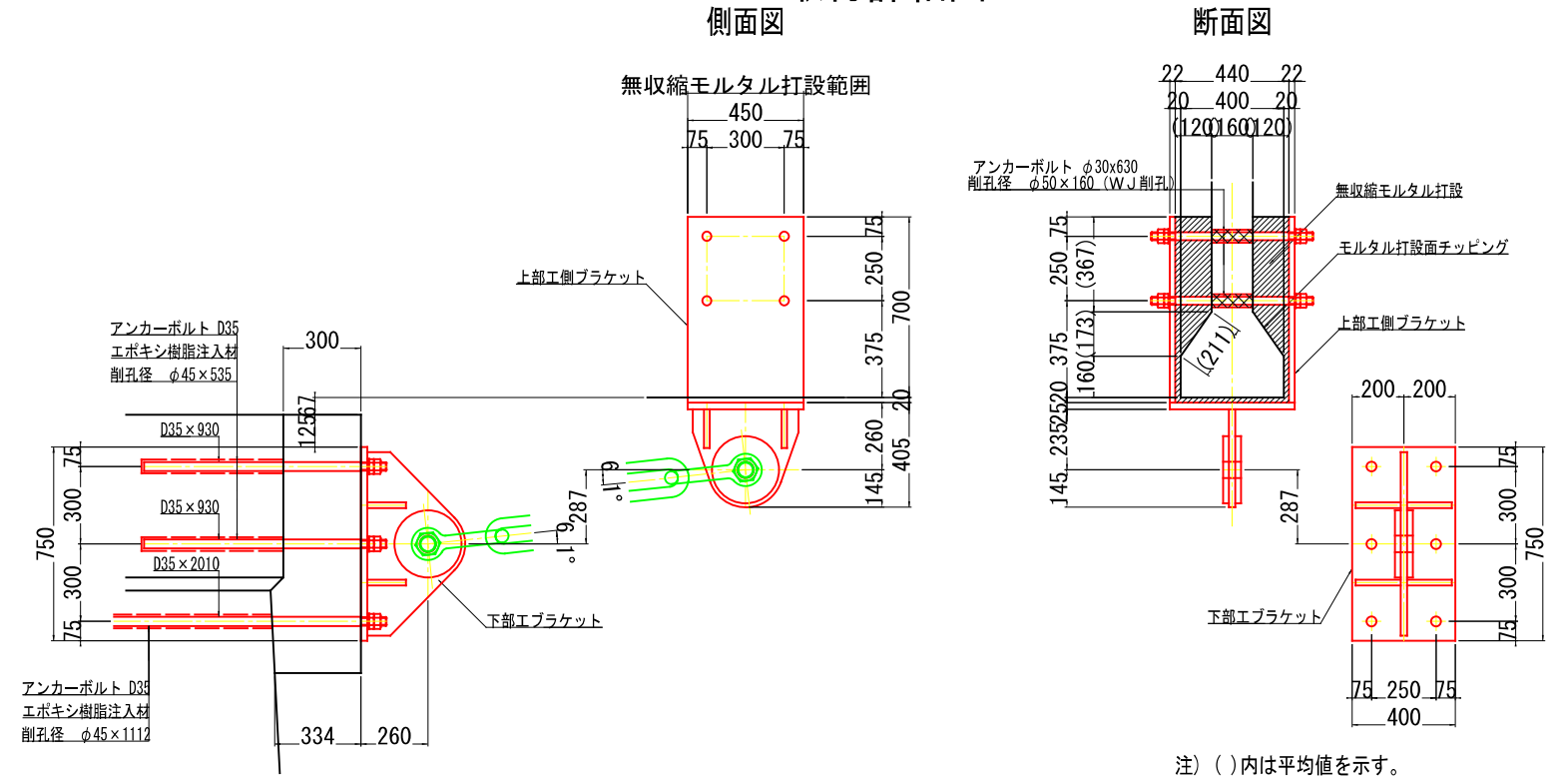


平面図 S=1:30



P2側
P3
A2側

取付詳細図 S=1:15

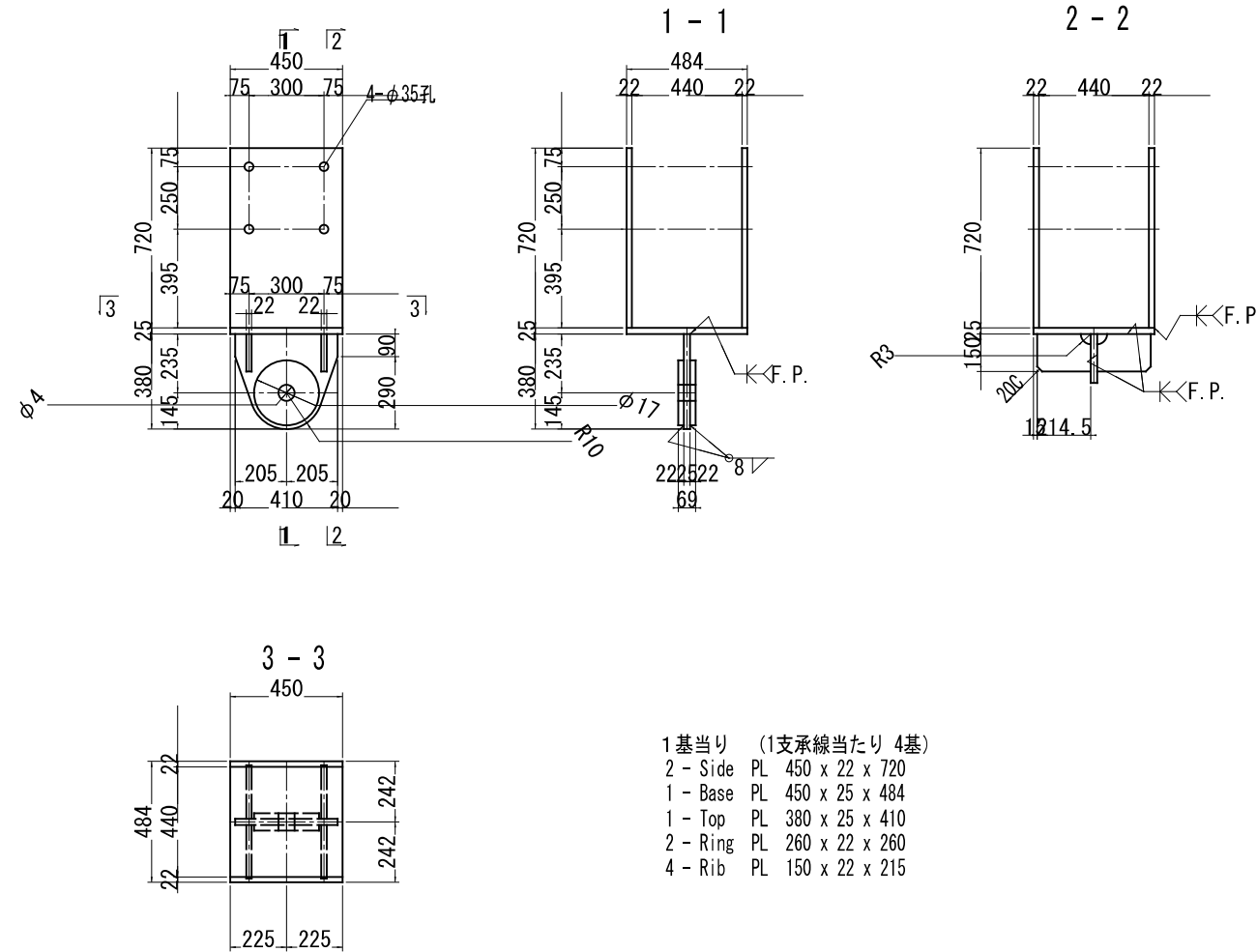


- 注記)
- 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
 - 削孔の際は鉄筋検査などを行い、既設鉄筋を切断することがないよう十分配慮すること。
 - 下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ (φ:アンカー径) 以上を確保すること。
 - 鋼材及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキ処理のこと。鋼材:HDZ55 アンカー:ネジ部、ナット、ワッシャー:HDZ35
 - 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。
 - 落橋防止装置(緩衝チェーン)は納入前に完成形(ゴム被覆)にて引張試験等を実施し、所定の耐震性能を確認すること。

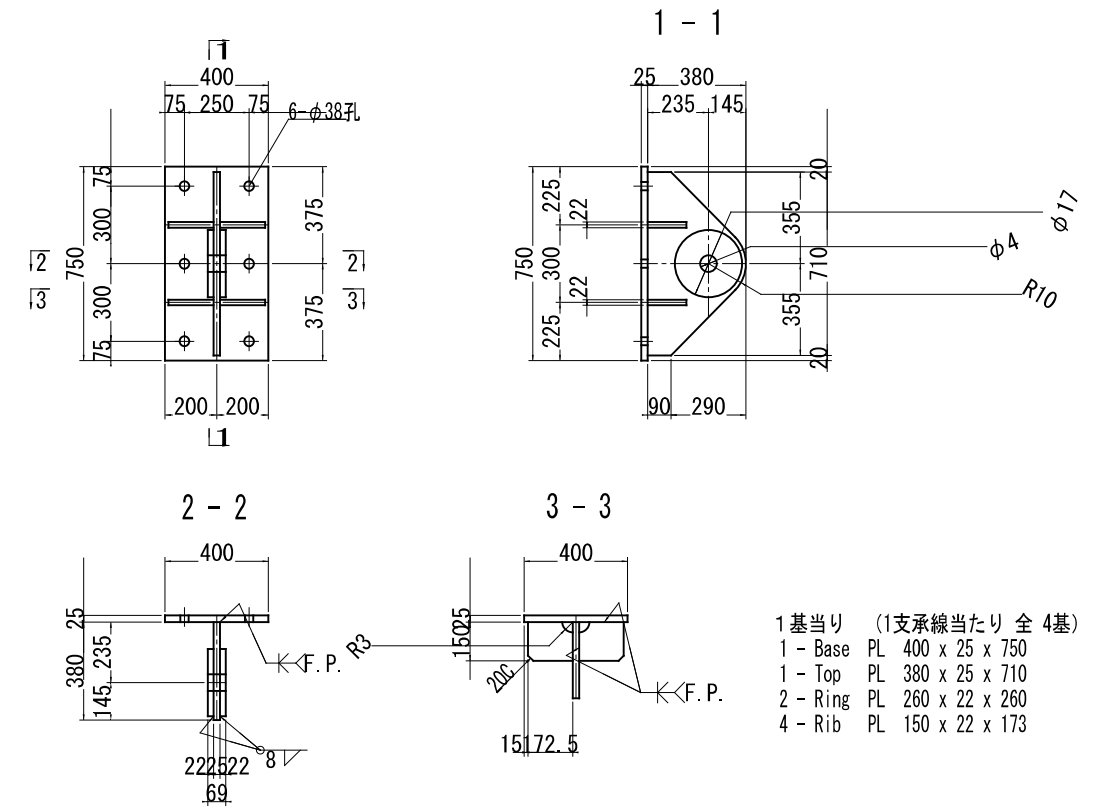
工事名	橋梁耐震補強工事(市道沼田東町北部36号線 本市橋)		
図面名	落橋防止構造取付図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	7/13
事業者名	三原市		

本市橋 P3橋脚 落橋防止構造詳細図

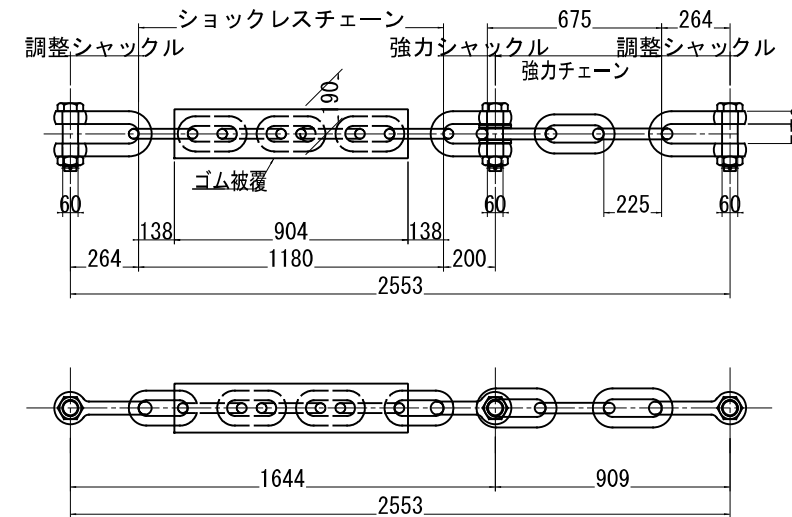
上部エブラケット加工図 S=1:15



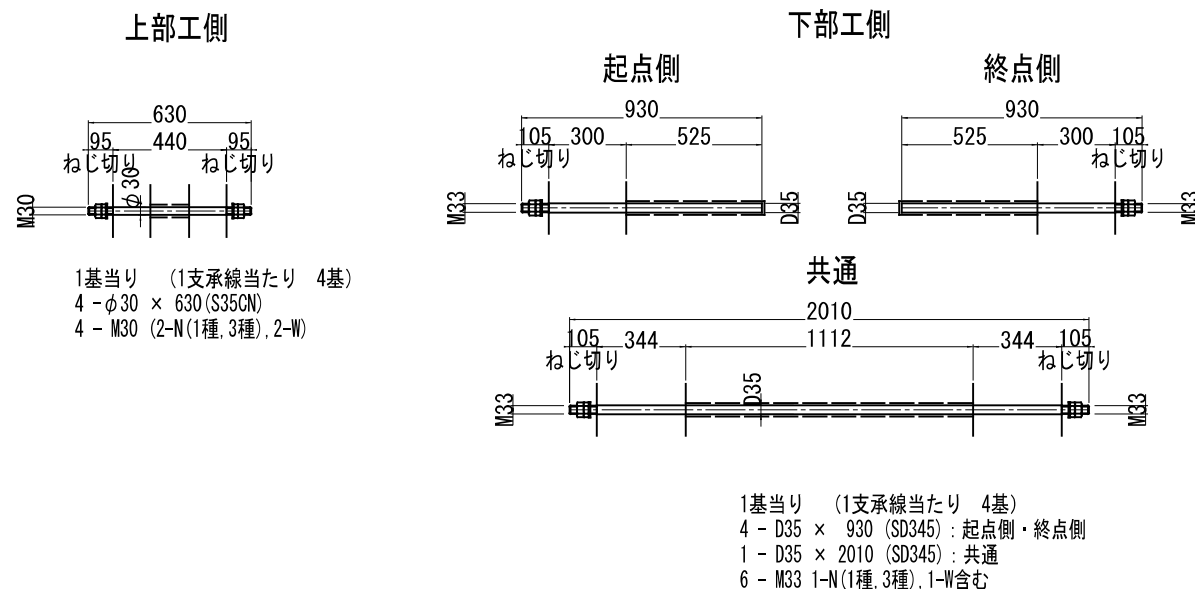
下部エブラケット加工図 S=1:15



緩衝チェーン詳細図 S=1:15
(5型3リンク, 許容荷重 825kN)



アンカーボルト詳細図 S=1:15



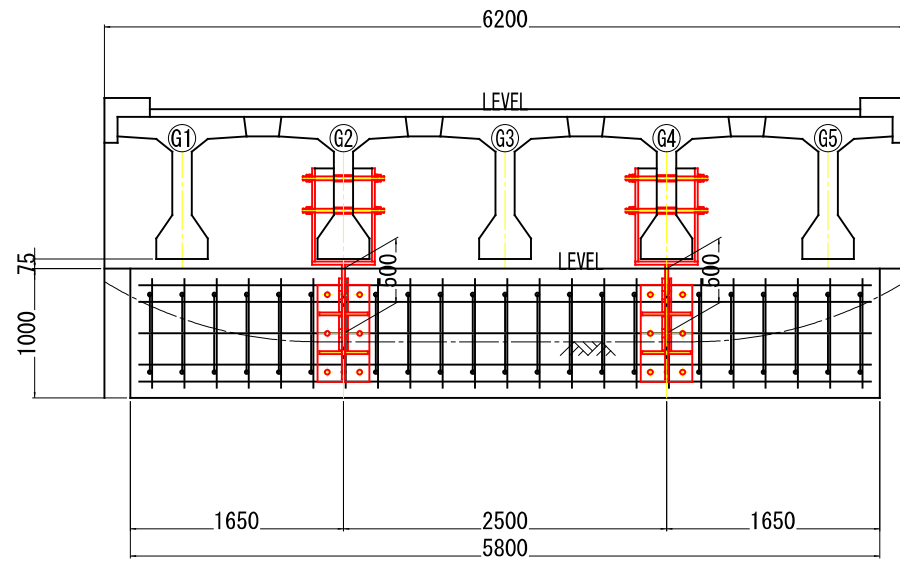
- 注意事項
- 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
 - 特記なき材質はSM490Aを示す。
 - 溶接記号「F.P.」は完全溶け込み開先溶接を示す。
 - 上・下部エブラケット及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキ処理のこと。
鋼材: HD255 アンカーネジ部、ナット、ワッシャー: HD235

- 1-ショックレスチェーン 5型 (SCM420H)
 3-強力チェーン $\phi 42$ (SCM420H)
 2-調整シャックル $\phi 50$ (SCM435)
 1-強力シャックル $\phi 50$ (SCM435)

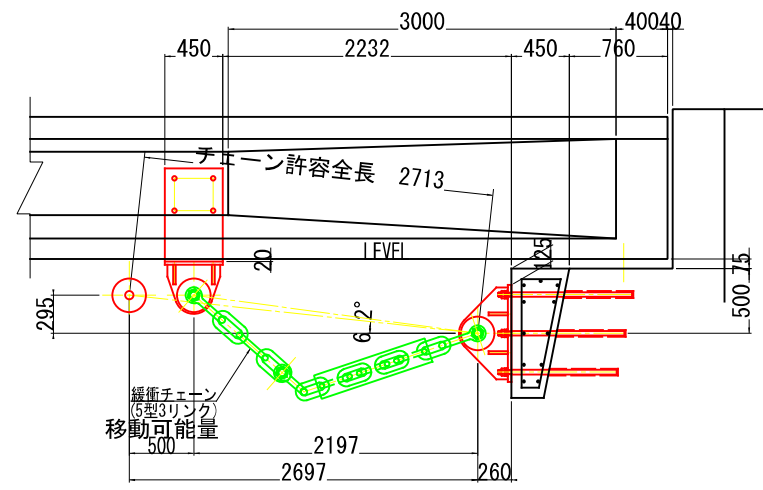
工事名	橋梁耐震補強工事 (市道沼田東町北36号線 本市橋)		
図面名	落橋防止構造詳細図		
縮尺	図示	図面番号	8 / 13
事業者名	三原市		

本市橋 A2橋台 落橋防止構造取付図

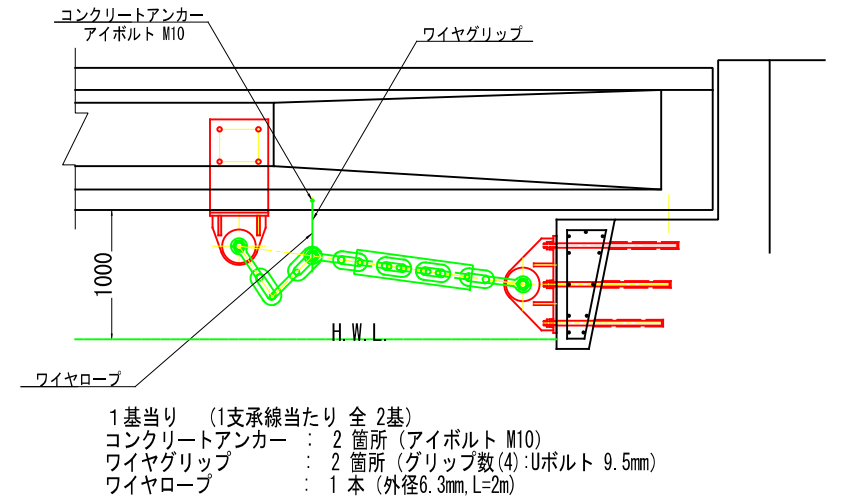
正面図 S=1:30



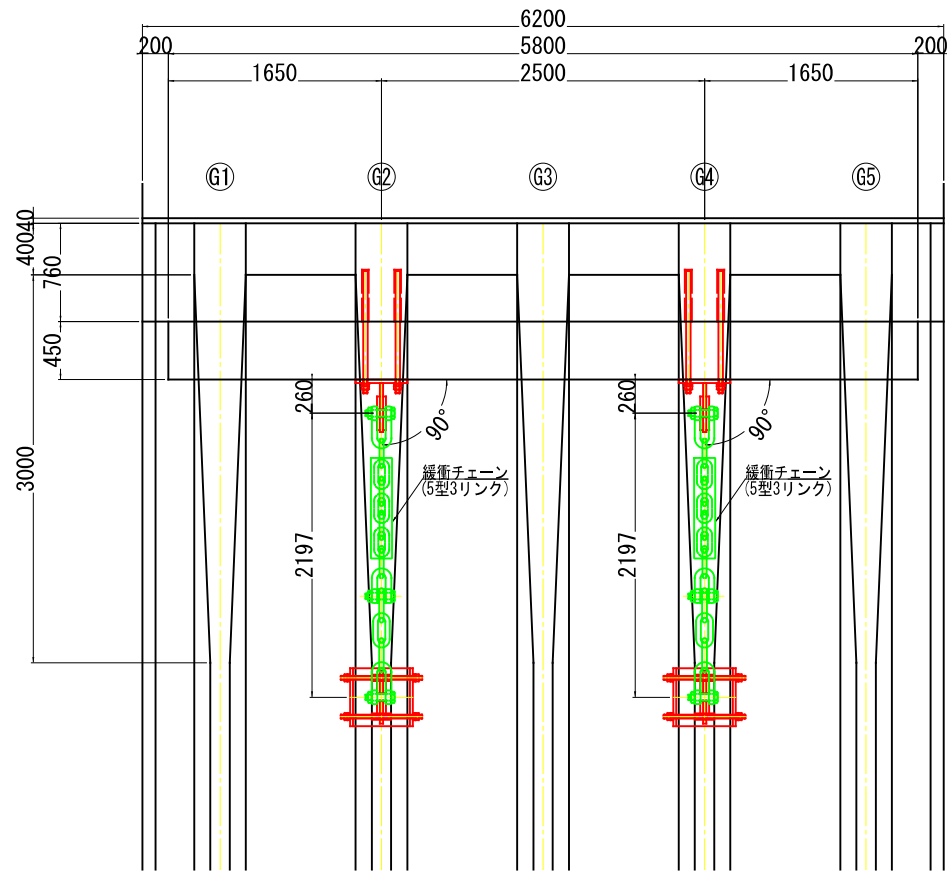
側面図 S=1:30 _{-P3側-} (A2)



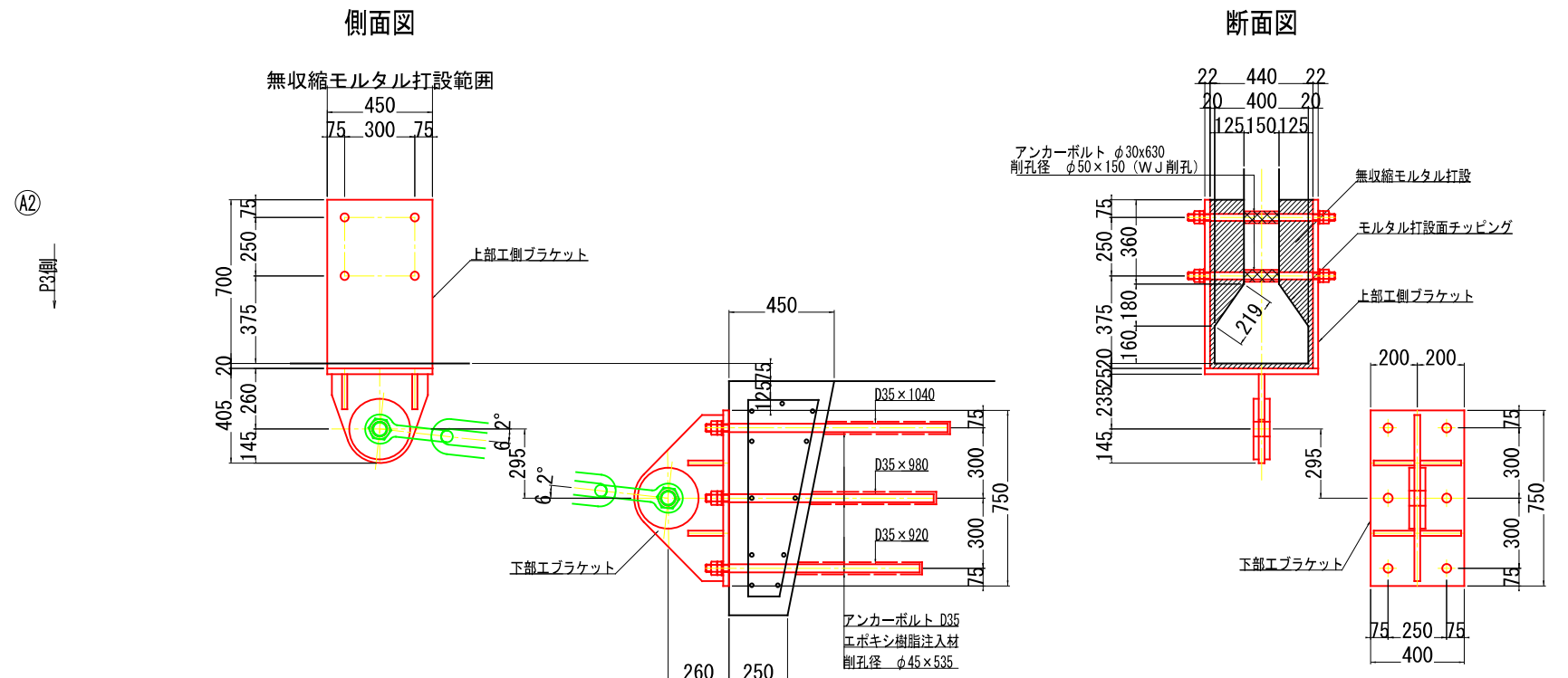
チェーン吊上げ図 (参考図) S=1:30



平面図 S=1:30



取付詳細図 S=1:15

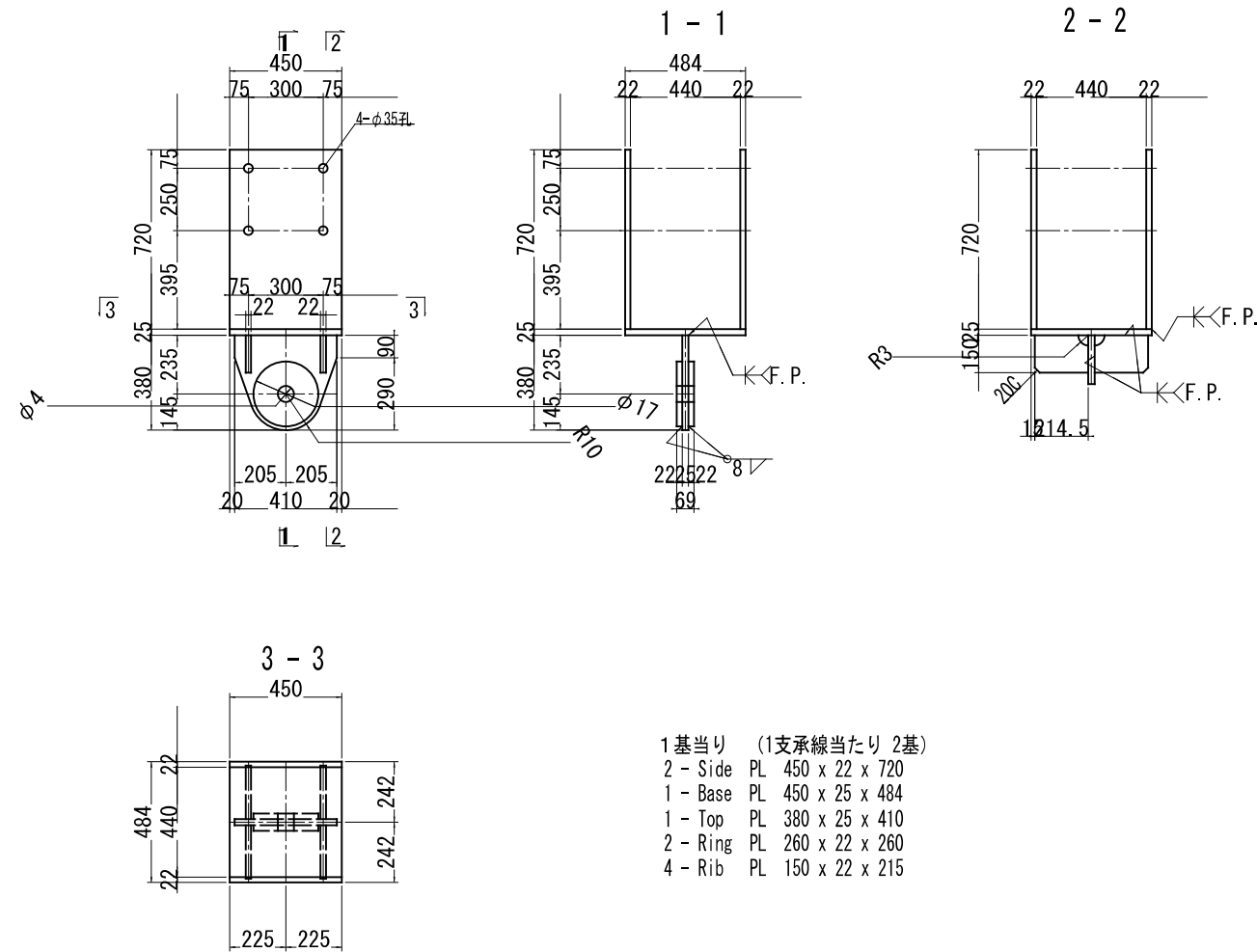


- 注記)
- 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
 - 削孔の際は鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することがないよう十分配慮すること。
 - 下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ (φ:アンカー径) 以上を確保すること。
 - 鋼材及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキ処理のこと。
 鋼材: HDZ55 アンカーネジ部、ナット、ワッシャー: HDZ35
 - 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。
 - 落橋防止装置 (緩衝チェーン) は納入前に完成形 (ゴム被覆) にて引張試験等を実施し、所定の耐震性能を確認すること。

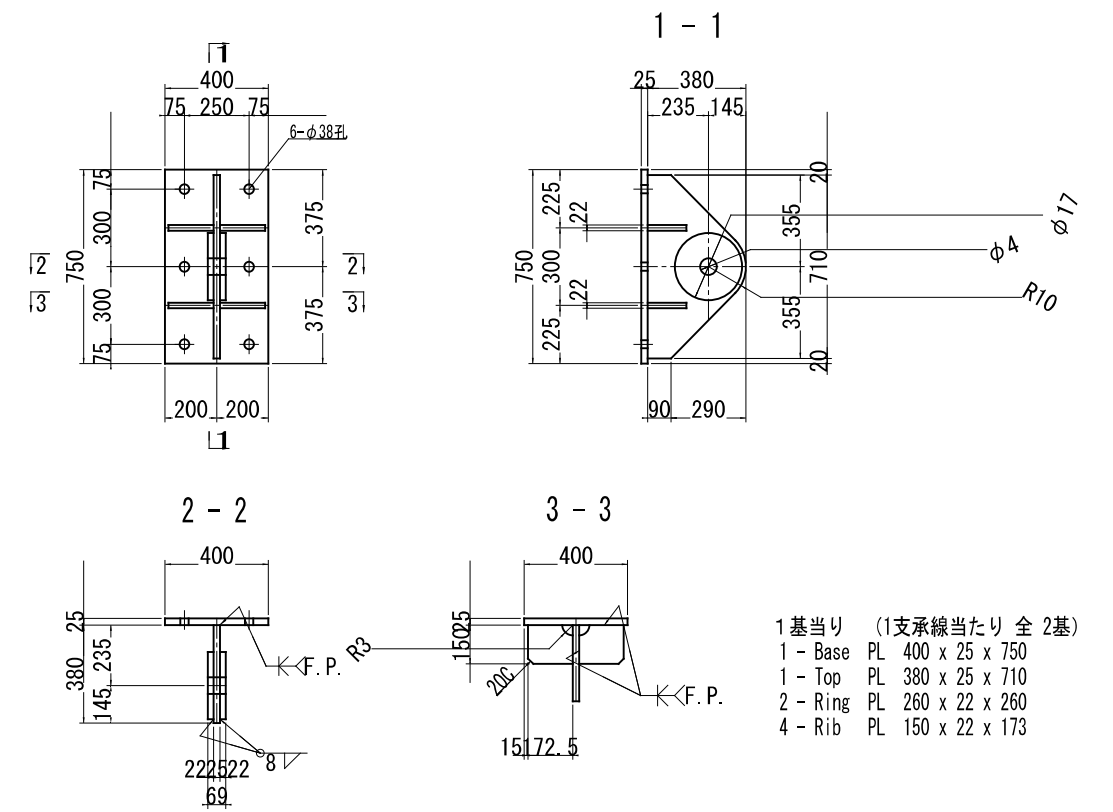
工事名	橋梁耐震補強工事 (市道沼田東町36号線 本市橋)		
図面名	A2橋台 落橋防止構造取付図		
縮尺	図示	図面番号	9 / 13
事業者名	三原市		

本市橋 A2橋台 落橋防止構造詳細図

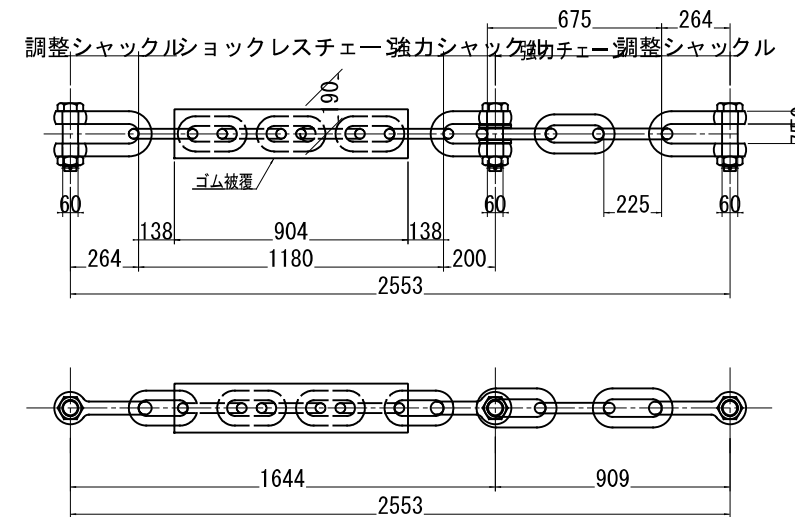
上部エブラケット加工図 S=1:15



下部エブラケット加工図 S=1:15

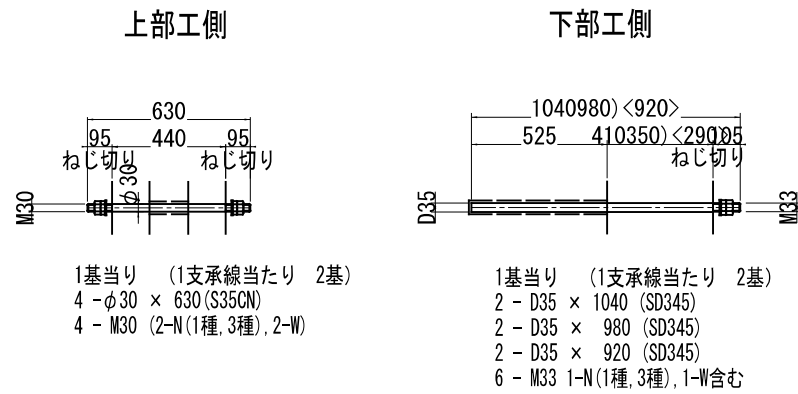


緩衝チェーン詳細図 S=1:15 (5型3リンク, 許容荷重 825kN)



- 1-ショックレスチェーン 5型 (SCM420H)
- 3-強力チェーン φ42 (SCM420H)
- 2-調整シャックル φ50 (SCM435)
- 1-強力シャックル φ50 (SCM435)

アンカーボルト詳細図 S=1:15

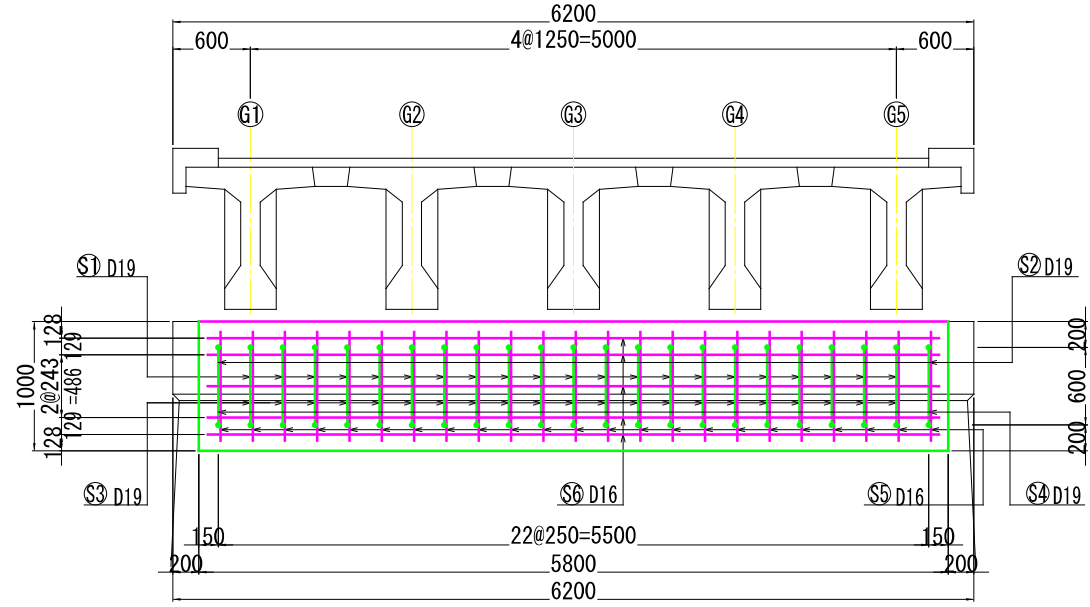


- 注意事項
- 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
 - 特記なき材質はSM490Aを示す。
 - 溶接記号「F.P」は完全溶け込み開先溶接を示す。
 - 上・下部エブラケット及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキ処理のこと。
鋼材: HD255 アンカーネジ部、ナット、ワッシャー: HD235

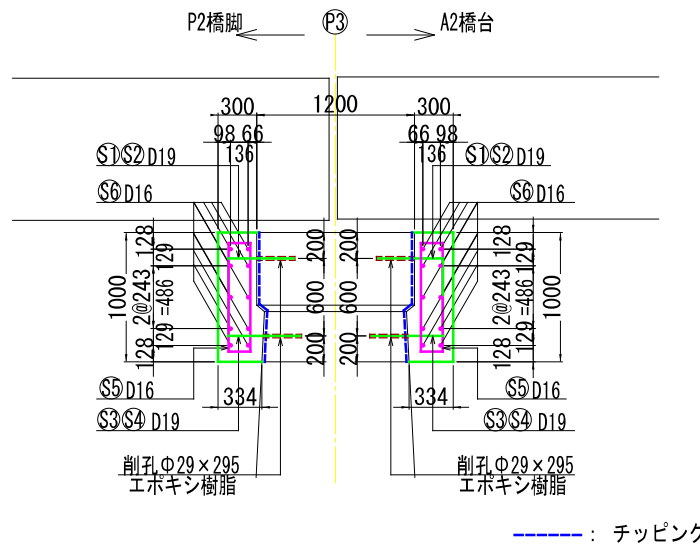
工事名	橋梁耐震補強工事 (市道沼田東町北部36号線 本市橋)		
図面名	A2橋台 落橋防止構造詳細図		
縮尺	図示	図面番号	10 / 13
事業者名	三原市		

本市橋 P3橋脚 沓座拡幅詳細図

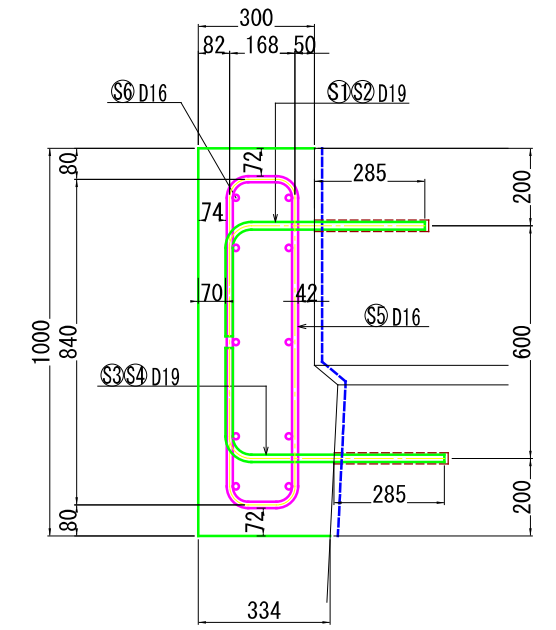
断面図 S=1:30



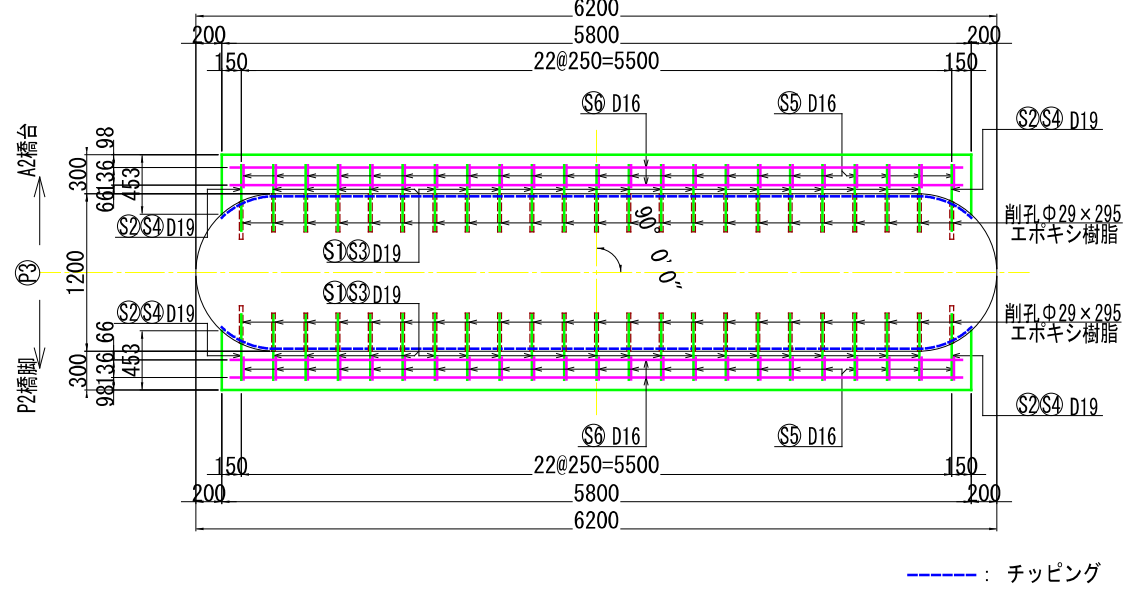
側面図 S=1:30



かぶり詳細図 S=1:10



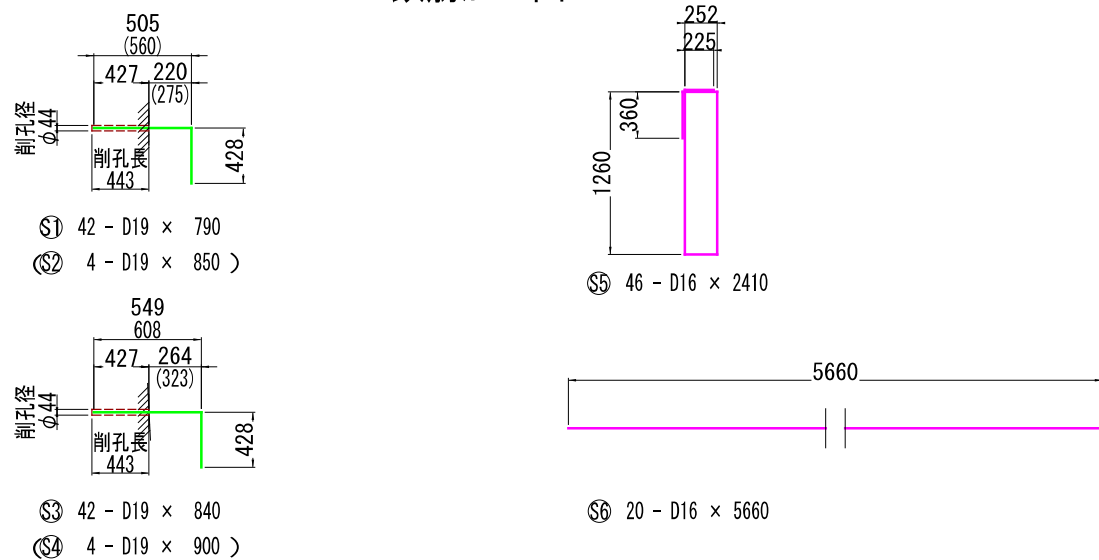
平面図 S=1:30



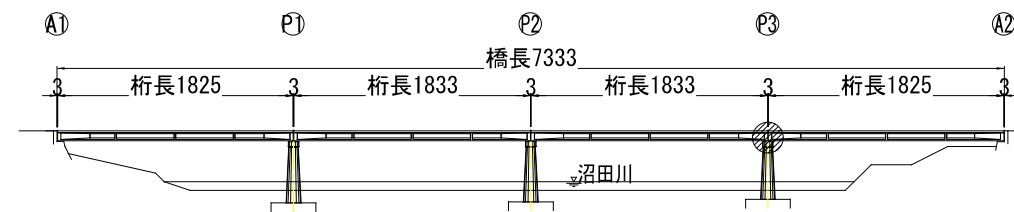
P3橋脚 鉄筋表 (SD345)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D19	790	42	2.250	1.78	75	┌
S2	D19	850	4	2.250	1.91	8	┌
S3	D19	840	42	2.250	1.89	79	┌
S4	D19	900	4	2.250	2.03	8	┌
S5	D16	2410	46	1.560	3.76	173	└
S6	D16	5660	20	1.560	8.83	177	└
				D16	350 kg		
				D19	170 kg		
				合計	520 kg		

鉄筋加工図



位置図

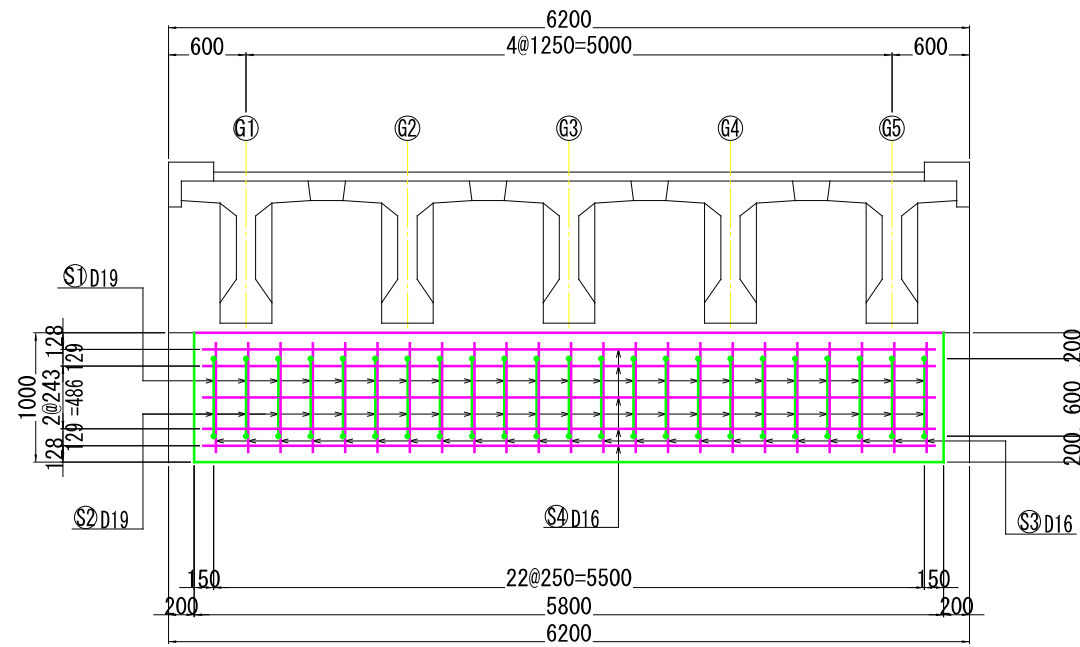


注1. 現地実測の上、寸法の決定を行うこと。
 注2. 既設下部工の鉄筋位置を探索の上、削孔を行うこと。
 また削孔位置の変更においては、協議の上で位置を決定すること。

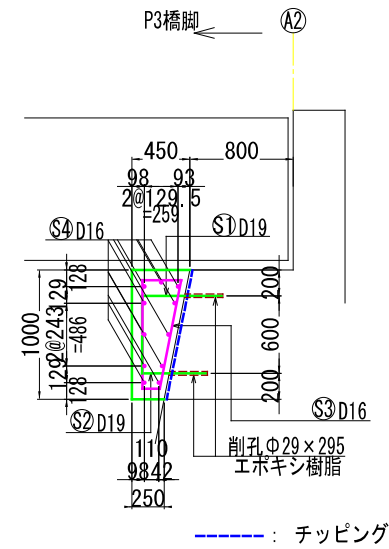
工事名	橋梁耐震補強工事 (市道沼田東町北36号線 本市橋)		
図面名	P3橋脚 沓座拡幅詳細図		
縮尺	図示	図面番号	11 / 13
事業者名	三原市		

本市橋 A2橋台 沓座拡幅詳細図

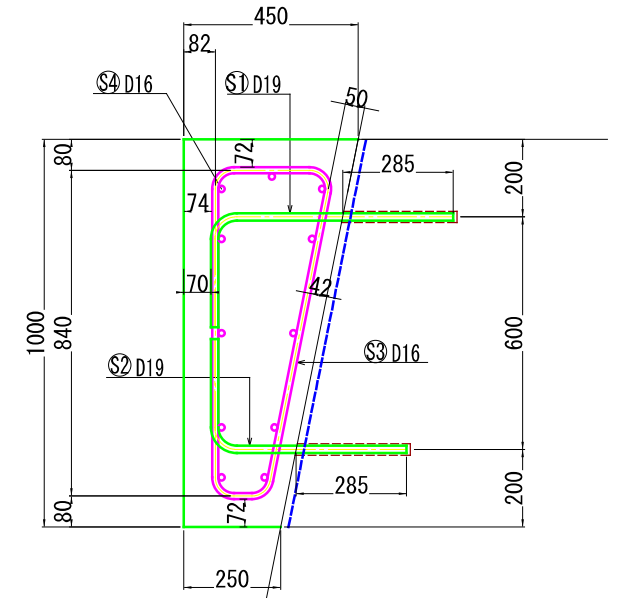
断面図 S=1:30



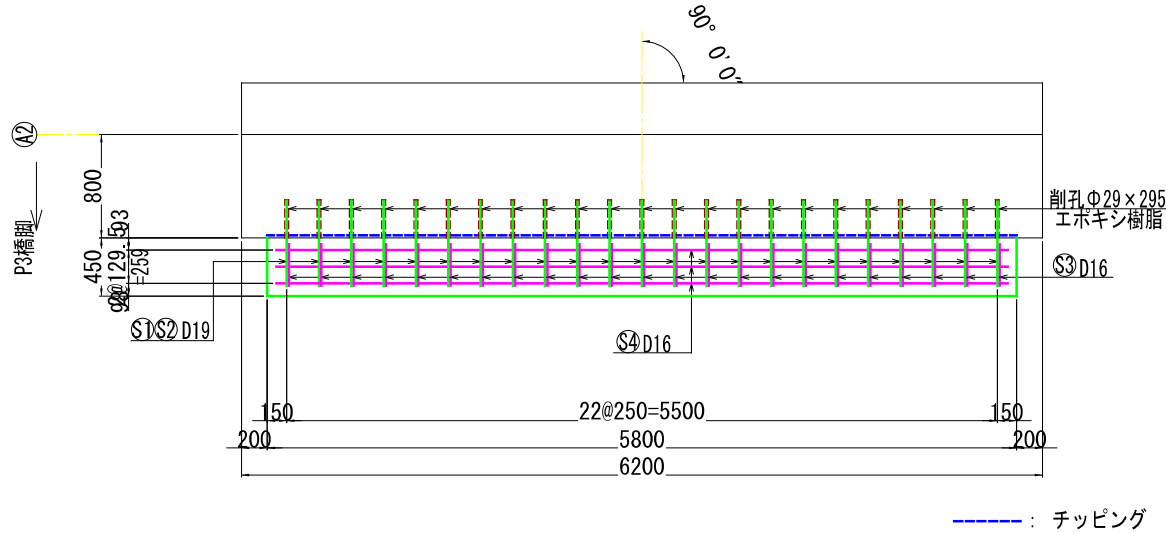
側面図 S=1:30



かぶり詳細図 S=1:10



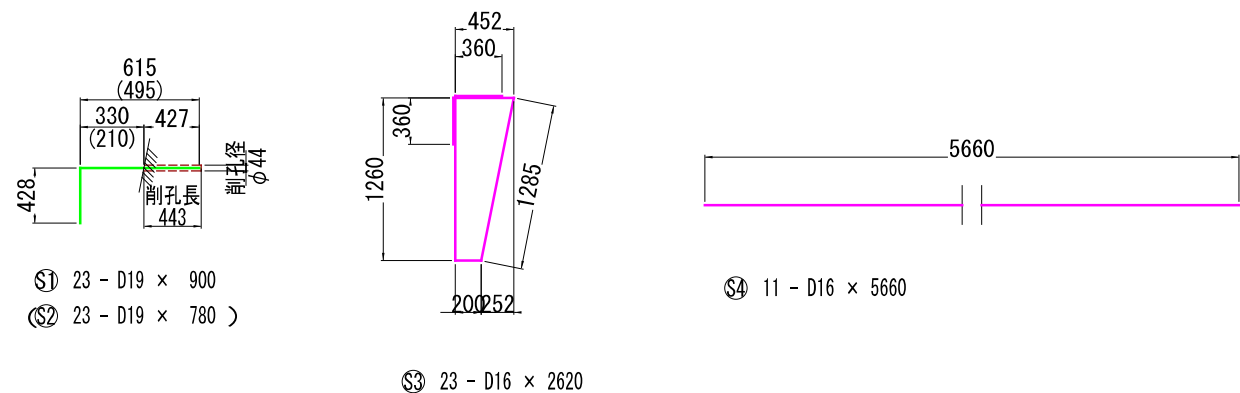
平面図 S=1:30



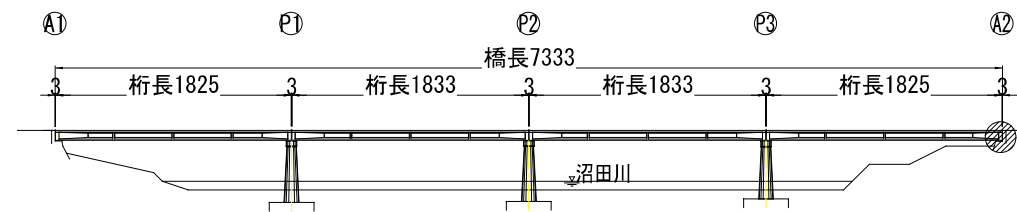
鉄筋表 (SD345)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D19	900	23	2.250	2.03	47	┌
S2	D19	780	23	2.250	1.76	40	└
S3	D16	2620	23	1.560	4.09	94	└
S4	D16	5660	11	1.560	8.83	97	└
				D16		191 kg	
				D19		87 kg	
				合計		278 kg	

鉄筋加工図



位置図

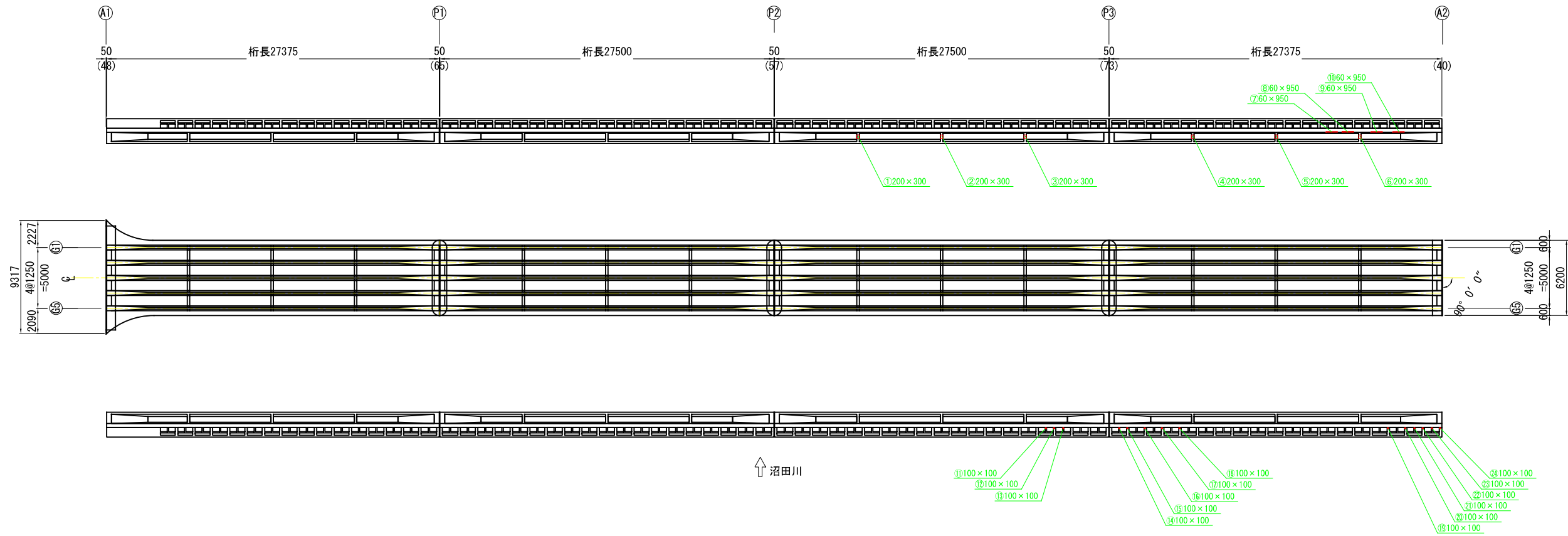


注1. 現地実測の上、寸法の決定を行うこと。
 注2. 既設下部工の鉄筋位置を探索の上、削孔を行うこと。
 また削孔位置の変更においては、協議の上で位置を決定すること。

工事名	橋梁耐震補強工事 (市道沼田東町北部36号線 本市橋)		
図面名	A2橋台 沓座拡幅詳細図		
縮尺	図示	図面番号	12 / 13
事業者名	三原市		

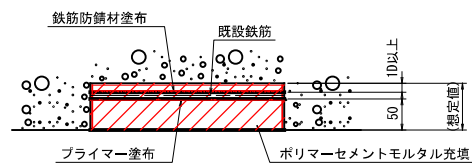
本市橋 断面修復図

側面図 S=1:200

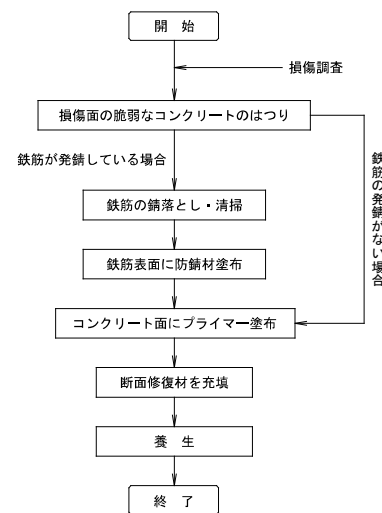


断面修復工詳細図
(下部工・左官工法)

復旧図



施工フロー



注記)

1. 施工時には、天候に十分注意をすること。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. はつり後、鉄筋露出がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
4. はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
5. はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
6. 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
7. はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
8. コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。

注) 鉄筋腐食が著しく断面欠損している場合には、補強鉄筋を設置する。

材料表

工種	仕様
プライマー・鋼材防錆処理工	亜硝酸リチウム
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材

工事名	橋梁耐震補強工事(市道沼田東町北部36号線 本市橋)		
図面名	本市橋 断面修復		
縮尺	図示	図面番号	13 / 13
事業者名	三原市		

参 考 资 料

— 桥梁耐震补强工事（市道沼田东町北部36号线 本市桥） —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-05.08.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁付属物工 A 2 橋台	1	式			Y1G0321 レベル2
落橋防止装置工	1	式			Y1G032102 レベル3
芯出し調整 アンカーボルト	1	式			Y1G03210201 レベル4
芯出し調整工	2	組			V000000100 00
落橋防止装置 ブラケット・緩衝チェーン	2	組			単第0 -0001 表 Y1G03210201 レベル4
落橋防止装置設置工 ブラケット・緩衝チェーン	2	組			V000000200 00
【桁等購入費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象] 一般管理費[対象]	2	組			単第0 -0002 表 #0040

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
落橋防止装置(ブラケット) 溶融亜鉛メッキ含む	2	組			F000000100 00
落橋防止装置(緩衝チェーン) 5型3リンク	2	組			F000000200 00
下地処理 ピックハンマ、空気圧縮機等	2	m2			Y1G03210202レベル4
下地処理工	2	m2			V000000300 00
モルタル充填 無収縮モルタル	0.1	m3			単第0 -0003 表 Y1G03210203レベル4
無収縮モルタル充填	0.1	m3			V000000400 00
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1	m2			単第0 -0004 表 SPK23040156 00
削孔 アンカー材径30mmを超え43mm以下 削孔深さ500mmを超え1000mm以下	12	孔			単第0 -0005 表 Y1G03210202レベル4
Co削孔(電動式コアボーリングマシン) アンカー材径30mmを超え43mm以下 削孔深さ500mmを超え1000mm以下	12	孔			単第0 -0006 表 SPK23040346 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アンカー(落橋防止) 適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 下部工 横方向	12	本			Y1G03210203レベル4
アンカー 適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 横方向	12	本			SPK23040349 00 単第0 -0007 表
アンカー材(A2橋台 下部工用) D35(SD345) M33	1	式			V000000500 00 単第0 -0008 表
ウォータージェット削孔 43~54mm 削孔深さ500mm以下	8	孔			Y1G03210202レベル4
ウォータージェット削孔 43~54mm 削孔深さ500mm以下	8	孔			V000000600 00 単第0 -0009 表
アンカー(落橋防止) 適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 上部工 横方向	8	本			Y1G03210203レベル4
アンカー 適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 横方向	8	本			SPK23040349 00 単第0 -0007 表
アンカー材(A2橋台 上部工用) 30 x 630(S35CN) M30	1	式			V000000700 00 単第0 -0010 表
チェーン吊上げ ワイヤーロープ	2	箇所			Y1G03210204レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
チェーン吊上工					V000000800 00
	2	箇所			単第0 -0011 表
沓座拡幅工					Y1G032108 レベル3
	1	式			
チップング					Y1G03210801 レベル4
	6	m2			
チップング(厚2cm以下)					SPK23040370 00
	6	m2			単第0 -0013 表
削孔 削孔深さ200mmを超え500mm以下					Y1G03210802 レベル4
	46	孔			
Co削孔(さく岩機[ハンドドリル(空圧式)]) 削孔深さ200mmを超え500mm以下					SPK23040348 00
	46	孔			単第0 -0014 表
アンカー筋挿入 SD345 D19 エポキシ樹脂系					Y1G03210803 レベル4
	46	本			
アンカー筋挿入					SPK23040371 00
	46	本			単第0 -0015 表
鉄筋(沓座拡幅工) SD345 D16~25					SPK23040374 00
	0.09	t			単第0 -0016 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
注入材 エポキシ樹脂系	6	kg			TTPC00253 00
コンクリート 24-12-25(20)BB	2	m3			Y1G03210804 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	2	m3			SPK23040154 00 単第0 -0017 表
型枠 沓座拡幅工	8	m2			Y1G03210805 レベル4
型枠(沓座拡幅工) -(全ての費用)	8	m2			SPK23040375 00 単第0 -0018 表
鉄筋 SD345 D16 ~ 25	0.19	t			Y1G03210807 レベル4
鉄筋(沓座拡幅工) SD345 D16 ~ 25	0.19	t			SPK23040374 00 単第0 -0016 表
橋梁付属物工 P 3 橋脚	1	式			Y1G0321 レベル2
落橋防止装置工	1	式			Y1G032102 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
芯出し調整 アンカーボルト	4	組			Y1G03210201レベル4
芯出し調整工	4	組			V000000100 00 単第0 -0001 表
落橋防止装置 ブラケット・緩衝チェーン	4	組			Y1G03210201レベル4
落橋防止装置設置工 ブラケット・緩衝チェーン	4	組			V000000200 00 単第0 -0002 表
【桁等購入費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象] 一般管理費[対象]					#0040
落橋防止装置(ブラケット) 溶融亜鉛メッキ含む	4	組			F000000100 00
落橋防止装置(緩衝チェーン) 5型3リンク	4	組			F000000200 00
下地処理 ピックハンマ、空気圧縮機等	5	m2			Y1G03210202レベル4
下地処理工	5	m2			V000000300 00 単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル充填 無収縮モルタル	0.3	m3			Y1G03210203レベル4
無収縮モルタル充填	0.3	m3			V000000400 00 単第0 -0004 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1	m2			SPK23040156 00 単第0 -0005 表
削孔 アンカー材径30mmを超え43mm以下 削孔深さ500mmを超え1300mm以下	20	孔			Y1G03210202レベル4
Co削孔(電動式コアボーリングマシン) アンカー材径30mmを超え43mm以下 削孔深さ500mmを超え1000mm以下	16	孔			SPK23040346 00 単第0 -0006 表
Co削孔(電動式コアボーリングマシン) アンカー材径30mmを超え43mm以下 削孔深さ1000mmを超え1300mm以下	4	孔			SPK23040346 00 単第0 -0019 表
アンカー(落橋防止) 適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 下部工 横方向	20	本			Y1G03210203レベル4
アンカー 適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 横方向	20	本			SPK23040349 00 単第0 -0007 表
アンカー材(P3橋脚 下部工用) D35(SD345) M33	1	式			V000000900 00 単第0 -0020 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ウォータージェット削孔 43～54mm 削孔深さ500mm以下	16	孔			Y1G03210202レベル4
ウォータージェット削孔 43～54mm 削孔深さ500mm以下	16	孔			V000000600 00 単第0 -0009 表
アンカー(落橋防止) 適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 上部工 横方向	16	本			Y1G03210203レベル4
アンカー 適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 横方向	16	本			SPK23040349 00 単第0 -0007 表
アンカー材(P3橋脚 上部工用) 30×630(S35CN) M30	1	式			V000001000 00 単第0 -0021 表
チェーン吊上げ ワイヤーロープ	4	箇所			Y1G03210204レベル4
チェーン吊上工	4	箇所			V000000800 00 単第0 -0011 表
沓座拡幅工	1	式			Y1G032108 レベル3
チップング	12	m2			Y1G03210801レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
チッピング(厚2cm以下)					SPK23040370 00
	12	m2			単第0 -0013 表
削孔 削孔深さ200mmを超え500mm以下					Y1G03210802レベル4
	92	孔			
Co削孔(さく岩機[ハンドドリル(空圧式)]) 削孔深さ200mmを超え500mm以下					SPK23040348 00
	92	孔			単第0 -0014 表
アンカー筋挿入 SD345 D19 エポキシ樹脂系					Y1G03210803レベル4
	92	本			
アンカー筋挿入					SPK23040371 00
	92	本			単第0 -0015 表
鉄筋(沓座拡幅工) SD345 D16~25					SPK23040374 00
	0.17	t			単第0 -0016 表
注入材 エポキシ樹脂系					TTPC00253 00
	13	kg			
コンクリート 24-12-25(20)BB					Y1G03210804レベル4
	4	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設					SPK23040154 00
	4	m3			単第0 -0017 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
型枠 沓座拡幅工	17	m2			Y1G03210805 レベル4
型枠(沓座拡幅工) -(全ての費用)	17	m2			SPK23040375 00 単第0 -0018 表
鉄筋 SD345 D16 ~ 25	0.35	t			Y1G03210807 レベル4
鉄筋(沓座拡幅工) SD345 D16 ~ 25	0.35	t			SPK23040374 00 単第0 -0016 表
橋脚巻立て工	1	式			Y1G0323 レベル2
作業土工	1	式			Y1G032301 レベル3
床掘り 土砂	30	m3			Y1G03230102 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	30	m3			SPK23040015 00 単第0 -0022 表
埋戻し 土砂	30	m3			Y1G03230103 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	30	m3			SPK23040020 00 単第0 -0023 表
橋脚コンクリート巻立て工	1	式			Y1G032306 レベル3
コンクリート削孔 アンカー材径_D35 削孔深480mm以上540mm未満	32	箇所			Y1G03230601 レベル4
コンクリート削孔 アンカー材径_D35 削孔深480mm以上540mm未満	32	箇所			SPK23040327 00 単第0 -0024 表
コンクリート 24-12-25(20)BB	23	m3			Y1G03230603 レベル4
コンクリート巻立て C支柱 a施工 24-12-25(20)BB 養生工有り	23	m3			SPK23040328 00 単第0 -0025 表
シーリング エポキシ樹脂系	10	kg			F000001800 00
鉄筋 SD345_D16 ~ D25	2.5	t			Y1G03230604 レベル4
鉄筋工 SD345_D16 ~ D25 一般構造物 [規]10t未満	0.81	t			SS000099 00 単第0 -0026 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 SD345_D16~D25 一般構造物 [規]10t未満	0.74	t			SS000099 00 単第0 -0027 表
鉄筋工 SD345_D16~D25 一般構造物 [規]10t未満	0.97	t			SS000099 00 単第0 -0027 表
溶接 隅肉・重合せ・棒鋼+鋼板 クレーン不要 (陸上施工)	13	m			S5310 00 単第0 -0028 表
アンカー 本体打込み式 M12(W1/2)×50 電気亜鉛めっき	96	本			Y1G03210203 レベル4
コンクリートアンカーボルト設置 本体打込み式 M12(W1/2)×50 電気亜鉛めっき	96	本			SPK23040407 00 単第0 -0029 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.02	t			SS000099 00 単第0 -0030 表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 ポリマーセメント 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む	1	構造物			Y1G03240501 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020039 00 単第0 -0031 表
殻運搬 Co殻	0.1	m3			Y1G03271601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	0.1	m3			SPK23040152 00 単第0 -0032 表
殻処分 コンクリート殻	0.1	m3			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻受入費	0.1	t			F000001900 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
工事用道路工	1	式			Y1G032801 レベル3
工事用道路盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満 盛土(中詰)含む	990	m3			Y1G03280101 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満	990	m3			SPK23040004 00 単第0 -0033 表
購入土砂	1,330	m3			F0000000002 00
敷砂利 RC-40	93	m2			Y1G03280103レベル4
再生クラッシャー 40~0mm	9	m3			TTPC00008 00
整地 敷均し(ルーズ) 標準(10,000m3未満) 障害無し	9	m3			SPK23040003 00 単第0 -0034 表
工用道路撤去 中詰含む	1,100	m3			Y1G03280422レベル4
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	1,100	m3			SPK23040007 00 単第0 -0035 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離6.0km以下(4.5km超)	1,100	m3			SPK23040002 00 単第0 -0036 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂受入費					F000002100 00
足場工	1,100	m3			Y1G032803 レベル3
足場 両側朝顔	1	式			Y1G03240502 レベル4
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満	330	m2			S3030011 00
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔	330	m2			単第0 -0037 表 S3030013 00
防護	330	m 2			単第0 -0038 表 Y1G03240503 レベル4
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔	250	m2			S3030015 00
土留・仮締切工	250	m 2			単第0 -0039 表 Y1G032804 レベル3
土のう	1	式			Y1G03280419 レベル4
	269	袋			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
大型土のう製作・設置(BH設置)	269	袋			SHD10003 00 単第0 -0040 表
大型土のう撤去 作業半径 6m以下	269	袋			SHD10011 00 単第0 -0042 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離6.0km以下(4.5km超)	220	m3			SPK23040002 00 単第0 -0036 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
土砂受入費	220	m3			F000002100 00
水替工	1	式			Y1G032806 レベル3
ポンプ排水 排水量 120以上450未満 (m3/h)	28	日			Y1G03280601 レベル4
ポンプ設置・撤去	1	箇所			SHD10037 00 単第0 -0044 表
ポンプ運転 排水量 120以上450未満 (m3/h) 常時排水	28	日			S1050031 00 単第0 -0046 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
	81	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	81	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
準備費					Z0005
準備費					YZZ05 レベル2
	1	式			
準備費					YZZ05001 レベル3
	1	式			
木根等処分費					YZZ05001001 レベル4
	1	式			
伐木・伐竹(伐木除根) 伐木(中)(10本/100m2以上50本/100m2未満)					SPK23040180 00
	236	m2			単第0 -0050 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬(伐木除根) 機械施工 除根作業有り DID区間無し 距離8.5km以下(7.5km超)	236	m2			SPK23040186 00 単第0 -0051 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047
草木処分費	50	m3			F000000003 00
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
施工調査費	1	式			YZZ06001006 レベル4
近接調査計測工	6	組			V000001100 00 単第0 -0052 表
鉄筋探査工 横向き	21	m2			V000001200 00 単第0 -0053 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0005 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,890.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

Co削孔(電動式コアボーリングマシン)

SPK23040346

単第0 -0006 表

アンカー材径30mmを超え43mm以下

削孔深さ500mmを超え1000mm以下

1

孔 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 82.17%

材料構成比: 17.83%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,905.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
土木一般世話役	37.26%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	36.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径53.1mm, 一般用 コンクリート削孔用	17.83%		ダイヤモンドビット 53.1mm		TTPC00231 TTPT00231
積算単価			積算単価		EP001
A=4 C=1 アンカー材径30mmを超え43mm以下 -(全ての費用)			B=2 削孔深さ500mmを超え1000mm以下		

施工単価表

アンカー

SPK23040349

単第0 -0007 表

適用アンカー材径25mmを超え40mm以下

横方向

1

本 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,876.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	49.82%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	25.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	21.60%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 -(全ての費用)			B=1 横方向		

施工単価表

ウォータージェット削孔

V000000600

単第0 -0009 表

43～54mm

削孔深さ500mm以下

5

孔 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.1	人			
特殊作業員	4.4	人			
普通作業員	2.2	人			
ウォータージェット装置 最大吐出量250MPa以上 燃料含む	1.1	日			
はつり装置 削孔用	1.1	日			
排水回収車運転 燃料含む	1.1	日			
給水車運転 燃料含む	1.1	日			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量20kVA 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.1	日			
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量2m ³ /min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.1	日			
<賃>建設用ポンプ(水中ポンプ) 口径50mm,揚程10m 0.75kw	1.1	日			
雑材料	40	%			#01
*** 合計 ***	5	孔			

施工単価表

チェーン吊上工

V000000800

単第0 -0011 表

頁0 -0033

16 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートアンカーボルト設置 本体打込み式 M10(W3/8)×40 電気亜鉛めっき	32	本			単第0-0012 表
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	1	人			
普通作業員	1	人			
アイボルトM10	32	本			
ワイヤークリップ	32	個			
ワイヤーロープ	16	本			
雑材料	3	%			#01
*** 合計 ***	16	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

コンクリートアンカーボルト設置

SPK23040407

単第0 -0012 表

本体打込み式

M10(W3/8) × 40 電気亜鉛めっき

1

本 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

92.88%

材料構成比: 7.12%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,344.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	47.82%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	21.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	21.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
本体打込み式 M10(W3/8) × 40 電気亜鉛めっき	6.99%		あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12		TTPCD0431 TTPT00217
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 足場有り C=9 M10(W3/8) × 40 電気亜鉛めっき			B=2 本体打込み式		

施工単価表

チップング(厚2cm以下)

SPK23040370

単第0 -0013 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 7,774.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	72.74%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

アンカー筋挿入

SPK23040371

単第0 -0015 表

1

本 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 870.12000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	53.19%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	25.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17.35%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1	-(全ての費用)				

施工単価表

鉄筋(沓座拡幅工)

SPK23040374

単第0 -0016 表

SD345 D16 ~ 25

1

t 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 54.85%

材料構成比: 45.15%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

232,610.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	35.06%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	9.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16 単位質量1.56kg/m	45.15%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16		TTPC00056 TTPT00056
積算単価			積算単価		EP001
A=2 SD345 D16 ~ 25			C=1 -(全ての費用)		

施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0017 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 31.93%

材料構成比: 68.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

24,215.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	68.07%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠(沓座拡幅工)

SPK23040375

単第0 -0018 表

-(全ての費用)

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

10,805.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	61.55%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
土木一般世話役	14.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

Co削孔(電動式コアボーリングマシン)

SPK23040346

単第0 -0019 表

アンカー材径30mmを超え43mm以下

削孔深さ1000mmを超え1300mm以下

1

孔 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

81.77% 材料構成比: 18.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

17,397.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
土木一般世話役	38.09%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	36.93%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径53.1mm, 一般用 コンクリート削孔用	18.23%		ダイヤモンドビット 53.1mm		TTPC00231 TTPT00231
積算単価			積算単価		EP001
A=4 C=1 アンカー材径30mmを超え43mm以下 -(全ての費用)			B=3 削孔深さ1000mmを超え1300mm以下		

施工単価表

床掘り

SPK23040015

単第0 -0022 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 20.81%

労務構成比: 71.39%

材料構成比: 7.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,046.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	20.81%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	38.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.68%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0045

埋戻し

SPK23040020

単第0 -0023 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.91%

労務構成比: 85.67%

材料構成比: 4.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,655.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	9.30%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg	0.61%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.93%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

コンクリート削孔
アンカー材径_D35

SPK23040327

単第0 -0024 表

削孔深480mm以上540mm未満

1

箇所 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

63.57%

材料構成比: 36.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,932.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	34.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	11.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
注入材 エポキシ樹脂系	36.43%		注入材 エポキシ樹脂		TTPC00253 TTPT00253
積算単価			積算単価		EP001
A=7 アンカー材径_D35			B=13 削孔深480mm以上540mm未満		

施工単価表

コンクリート巻立て

SPK23040328

単第0 -0025 表

C支柱 a施工

24-12-25(20)BB 養生工有り

1

m3 当り

機械構成比: 5.05%

労務構成比: 76.11%

材料構成比: 18.84%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

88,447.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力65～85m ³ /h	3.74%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力65～85m ³ /h		MTPC00091 MTPT00091
その他(機械)			その他(機械)		EK009
型わく工	20.03%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	11.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
とび工	8.58%		とび工		RTPC00004 RTPT00004
土木一般世話役	8.23%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	18.10%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリートアンカーボルト設置

SPK23040407

単第0 -0029 表

本体打込み式

M12(W1/2) × 50 電気亜鉛めっき

1

本 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

92.88%

材料構成比:

7.12%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,344.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	47.82%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	21.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	21.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
本体打込み式 M12(W1/2) × 50 電気亜鉛めっき	6.99%		あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12		TTPCD0432 TTPT00217
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 足場有り C=10 M12(W1/2) × 50 電気亜鉛めっき			B=2 本体打込み式		

施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0032 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,244.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

路体(築堤)盛土
 施工幅員2.5m以上4.0m未満
 機械構成比: 16.95%

SPK23040004

単第0 -0033 表

1
 m3 当り
 標準単価: 774.15000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.87%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	8.08%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	65.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.16%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

整地
敷均し(ルーズ)

SPK23040003

単第0 -0034 表

標準(10,000m3未満) 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 23.64% 労務構成比: 48.23%

材料構成比: 28.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

122.26000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	23.64%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	48.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	28.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 敷均し(ルーズ) C=1 障害無し			B=1 標準(10,000m3未満)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0036 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離6.0km以下(4.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07% 材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,330.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=18 距離6.0km以下(4.5km超)			B=3 バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)

SHD10003

単第0 -0040 表

頁0 -0064

10 袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.278	人			1*0.278
特殊作業員	0.278	人			1*0.278
普通作業員	0.278	人			1*0.278
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 短期仮設対応(1年)型	10.000	枚			
購入土砂	10.000	m3			ほぐした土量
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.278	日			単第0-0041 表
諸雑費	4	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=2 耐候性(短期)大型土のう(径110cm×長110cm) D=2 【F】土砂(m3)			B=2	土砂の計上あり	

施工単価表

伐木・伐竹(伐木除根)

SPK23040180

単第0 -0050 表

伐木(中)(10本/100m2以上50本/100m2未満)

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

112.12000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	57.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	21.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	12.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 伐木(中)(10本/100m2以上50本/100m2未満)			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

運搬(伐木除根)
機械施工 除根作業有り

SPK23040186

単第0 -0051 表

DID区間無し 距離8.5km以下(7.5km超)

1

m2 当り

機械構成比: 47.54% 労務構成比:

38.10% 材料構成比: 14.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28.24300

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.54%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.10%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.36%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 機械施工 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 除根作業有り D=25 距離8.5km以下(7.5km超)		

工種	種別	細別	規格	単位	計上	計上数量	摘要
落橋防止装置工(A2橋台)							
	落橋防止装置工						
		芯出し調整工		組	2.0	2	
		落橋防止装置設置工		組	2.0	2	
		落橋防止装置	ブラケット	組	2.0	2	
			緩衝チェーン	組	2.0	2	
		下地処理		m2	2.3	2	
		モルタル充填工	無収縮モルタル	m3	0.1	0.1	
		型枠		m2	0.6	1	
		削孔	φ45×535	孔	12.0	12	下部
		アンカー挿入	D35×980	セット	4.0	4	下部
			D35×1040	セット	4.0	4	下部
			D35×920	セット	4.0	4	下部
		注入材	エポキシ樹脂系	kg	4.9	5	下部
		WJ削孔	φ50×150	孔	8.0	8	上部
		アンカー挿入	φ30×630(S35CN)、M30	セット	8.0	8	上部
		チェーン吊上工	チェーン設置	箇所	2.0	2	上部
	沓座拡幅工						
		チッピング		m2	5.9	6	
		削孔		孔	46.0	46	
		アンカー挿入		本	46.0	46	
		鉄筋	SD345 D19	t	0.087	0.09	
		注入材	エポキシ樹脂系	kg	6.3	6	
		コンクリート		m3	2.0	2	
		型枠		m2	8.0	8	
		鉄筋	SD345 D16	t	0.191	0.19	
落橋防止装置工(P3橋脚)							
	落橋防止装置工						
		芯出し調整工		組	4.0	4	
		落橋防止装置設置工		組	4.0	4	
		落橋防止装置	ブラケット	組	4.0	4	
			緩衝チェーン	組	4.0	4	
		下地処理		m2	4.6	5	
		モルタル充填工	無収縮モルタル	m3	0.3	0.3	
		型枠		m2	1.2	1	
		削孔	φ45×535	孔	16.0	16	下部
			φ45×1112	孔	4.0	4	下部
		アンカー挿入	D35×930	セット	16.0	16	下部
			D35×2010	セット	4.0	4	下部
		注入材	エポキシ樹脂系	kg	10.0	10	下部
		削孔	φ50×159(平均)	孔	16.0	16	上部
		アンカー挿入	φ30×630(S35CN)、M30	セット	16.0	16	上部

工種	種別	細別	規格	単位	計上	計上数量	摘要
		チェーン吊上工	チェーン設置	箇所	4.0	4	上部
	沓座拡幅工						
		チップング		m2	12.0	12	
		削孔		孔	92.0	92	
		アンカー挿入		本	92.0	92	
		鉄筋	SD345 D19	t	0.170	0.17	
		注入材	エポキシ樹脂系	kg	12.6	13	
		コンクリート		m3	3.7	4	
		型枠		m2	17.4	17	
		鉄筋	SD345 D16	t	0.350	0.35	
橋脚巻立て工(P3橋脚)							
	作業土工						
		床掘		m3	29.8	30	
		埋戻		m3	28.4	30	
	橋脚コンクリート巻立て工						
		コンクリート削孔		箇所	32.0	32	
		下地処理	チップング	m2	89.3	89	Coに含む
		鉄筋	SD345 D25(差筋)	t	0.806	0.81	
			SD345 D25	t	0.742	0.74	
			SD345 D16	t	0.974	0.97	
		溶接		m	12.8	13	
		コンクリート		m3	22.5	23	
		型枠	一般型枠	m2	59.2	59	Coに含む
		型枠	合板円形型枠	m2	35.5	36	Coに含む
		シーリング		kg	10.3	10	
		アンカーボルト設置	本体打込み式	本	96.0	96	
			鉄筋SD345 D13	t	0.024	0.02	
		足場(設置・撤去)	手摺先行型枠組足場	m2	163.4	160	Coに含む
断面補修工							
	断面補修						
		断面補修工		m3	0.0366	0.0366	
		殻運搬	人肩運搬	t	0.041	0.1	
			運搬	m3	0.030	0.1	
			処分	t	0.041	0.1	
仮設工							
	作業足場						
		足場(設置・撤去)	吊足場	m2	328.8	330	
			朝顔	m2	328.8	330	
			シート防護	m2	246.8	250	
	工事用道路設置						
		盛土・盛土(中詰)		m3	993.8	990	
		購入土		m3	1325.1	1330	

落橋防止構造工

種 別	材 質 ・ 規 格		単 位	数 量			備 考
				P3橋脚	A2橋台	合 計	
取付箇所数			箇所	4	2	6	
工場製作工	SM490YB	t=28mm	kg			0	
鋼材質量内訳	SM490A	t=25mm	kg	647	323	970	
		t=22mm	kg	757	379	1,136	
		合計	0	1,404	702	2,106	
溶融亜鉛メッキ	HDZ55		kg	1,404	702	2,106	
	HDZ35		kg	36	17	53	
アンカーボルト (上部工用)	φ30×630(S35CN)、M30		セット	16	8	24	2N(1種、3種)2W付
	φ28×620(S35CN)、M27		セット			0	
アンカーボルト (下部工用)	D38×1195(SD345)、M36		セット			0	1N(1種、3種)1W付
	D38×1135(SD345)、M36		セット			0	
	D38×1010(SD345)、M36		セット			0	
	D35×930(SD345)、M33		セット	16		16	
	D35×2030(SD345)、M33		セット			0	2N(1種、3種)2W付
	D35×980(SD345)、M33		セット		4	4	1N(1種、3種)1W付
	D35×2080(SD345)、M33		セット			0	2N(1種、3種)2W付
	D35×2010(SD345)、M33		セット	4		4	
	D35×1040(SD345)、M33		セット		4	4	1N(1種、3種)1W付
	D35×920(SD345)、M33		セット		4	4	
緩衝チェーン	【6型3リンク】	SCM420H	個			0	ショックレスチェーン
		SCM420H	個			0	強力チェーン
		SCM435	個			0	調整シャックル
		SCM435	個			0	強力シャックル
	【5型3リンク】	SCM420H	個	4	2	6	ショックレスチェーン
		SCM420H	個	12	6	18	強力チェーン
		SCM435	個	8	4	12	調整シャックル
		SCM435	個	4	2	6	強力シャックル
鉄筋探査	レーダー探査	横向き	m2	1.3	0.6	1.9	上部工
コア削孔	φ48×580		本			0	下部工
	φ45×535		本	16	12	28	
	φ45×1119		本			0	
	φ45×1117		本			0	
	φ45×1112		本	4		4	
アンカー一定着工	エポキシ樹脂注入 γ=1.2		kg	10.0	4.9	14.9	下部工

落橋防止構造工

種 別	材 質 ・ 規 格	単 位	数 量		合 計	備 考
			P3橋脚	A2橋台		
アンカー設置工	D38×1195	本			0	下部工
	D38×1135	本			0	
	D38×1010	本			0	
	D35×930	本	16		16	
	D35×2030	本			0	
	D35×980	本		4	4	
	D35×2080	本			0	
	D35×2010	本	4		4	
	D35×1040	本		4	4	
	D35×920	本		4	4	
WJ削孔	φ48×150	本			0	上部工
	φ50×157(平均)	本			0	
	φ50×156(平均)	本			0	
	φ50×159(平均)	本	16		16	
	φ50×150	本		8	8	
下地処理工	無収縮モルタル打設面	m2	3.4	1.7	5.1	上部工
	ベースプレート接着面	m2	1.2	0.6	1.8	下部工
無収縮モルタル		m3	0.27	0.14	0.41	上部工
型枠	一般型枠	m2	1.2	0.6	1.8	
ブラケット 取付工		組	4	2	6	
		kg	1,404	702	2,106	
緩衝チェーン 取付工	【6型3リンク】	基			0	
	【5型3リンク】	基	4	2	6	
チェーン 吊上げ工	コンクリートアンカー (アイボルトM10)	箇所	8	4	12	上部工
	ワイヤグリップ (グリップ数(4):Uボルト9.5mm)	箇所	8	4	12	
	ワイヤロープ (外径6.3mm,L=2m)	本	4	2	6	

5 - 2. 落橋防止構造工

種 別	材 質 ・ 規 格		単 位	数 量	備 考
				P3橋脚	
取付箇所数			箇所	4	
工場製作工 鋼材質量内訳	SM490A	t=25mm	kg	647	
		t=22mm	kg	757	
		合計	kg	1,404	
溶融亜鉛メッキ	HDZ55		kg	1,404	
	HDZ35		kg	36	
アンカーボルト(上部工用)	φ 30 × 630 (S35CN)、M30		セット	16	2N(1種、3種)2W付
アンカーボルト(下部工用)	D35 × 930 (SD345)、M33		セット	16	1N(1種、3種)1W付
	D35 × 2010 (SD345)、M33		セット	4	2N(1種、3種)2W付
緩衝チェーン	【5型3リンク】	SCM420H	個	4	ショックレスチェーン
		SCM420H	個	12	強力チェーン
		SCM435	個	8	調整シャックル
		SCM435	個	4	強力シャックル
鉄筋探査	レーダー探査	横向き	m2	1.3	上部工
コア削孔	φ 45 × 535		本	16	下部工
	φ 45 × 1112		本	4	下部工
アンカー定着工	エポキシ樹脂注入 γ=1.2		kg	10.0	下部工
アンカー設置工	D35 × 930		本	16	下部工
	D35 × 2010		本	4	
WJ削孔	φ 50 × 159 (平均)		本	16	上部工
下地処理工	無収縮モルタル打設面		m2	3.4	上部工
	ベースプレート接着面		m2	1.2	下部工
無収縮モルタル			m3	0.27	上部工
型枠	一般型枠		m2	1.2	
ブラケット取付工			組	4	
			kg	1,404	
緩衝チェーン取付工	【5型3リンク】		基	4	
チェーン吊上げ工	コンクリートアンカー (アイボルトM10)		箇所	8	上部工
	ワイヤグリップ (グリップ数(4):Uボルト9.5mm)		箇所	8	
	ワイヤロープ (外径6.3mm,L=2m)		本	4	

P3橋脚 落橋防止構造数量内訳

5型3リンク

4 基あたり数量)

1 工場製作工

種別	寸法 (mm)			1 個当り 質量 (kg/個)	数量 (個)	質量 (kg)	材質	摘要 (NET)
	幅	厚	長さ					
上部エブラケット								
Side PL	450	22	720	56.0	8	448	SM490A	1.000
Base PL	450	25	484	42.7	4	171	SM490A	1.000
Top PL	380	25	410	23.9	4	96	SM490A	0.783
Ring PL	260	22	260	9.2	8	74	SM490A	0.785
Rib PL	150	22	215	5.57	16	89	SM490A	1.000
下部エブラケット								
Base PL	400	25	750	58.9	4	236	SM490A	1.000
Top PL	380	25	710	35.9	4	144	SM490A	0.678
Ring PL	260	22	260	9.2	8	74	SM490A	0.785
Rib PL	150	22	173	4.48	16	72	SM490A	1.000
				合 計		1404	kg	
				鋼 板		SM490A	t= 25	647 kg
						SM490A	t= 22	757 kg
							Σ	1404 kg
				単位重量				
Anc	Φ	30	190	5.55	16		HDZ35	17 kg
Anc	D	35	105	7.51	16		HDZ35	13 kg
Anc	D	35	210	7.51	4		HDZ35	6 kg
				溶融亜鉛メッキ			HDZ55	1404 kg
							HDZ35	36 kg

緩衝チェーン数量計算内訳

5型3リンク

設置箇所

4 基

鋼材質量表参照

SM490A	t=25mm	647 kg
SM490A	t=22mm	757 kg
合計		1,404 kg

溶融亜鉛メッキ

HDZ55

1,404 kg

HDZ35

36 kg

2 緩衝チェーン

位置	規格・寸法		単位	数量
5型3リンク	ショックレスチェーン	SCM420H	個	4
	強力チェーン	SCM420H	個	12
	調整シャックル	SCM435	個	8
	強力シャックル	SCM435	個	4

4 基

3 アンカーボルト

(1).上部工用

アンカーボルト φ30×630 M30 S35CN (M30×95両ネジ切り、ねじ部溶融亜鉛メッキ) 2N(1種、3種)2W付 (メッキ品) 16 セット

(2).下部工用

アンカーボルト D35×930 M33 SD345 (M33×105ネジ切り、ねじ部溶融亜鉛メッキ) 1N(1種、3種)1W付 (メッキ品) 16 セット
 D35×2010 M33 SD345 (M33×105両ネジ切り、ねじ部溶融亜鉛メッキ) 2N(1種、3種)2W付 (メッキ品) 4 セット

4 鉄筋探査(レーダー探査)

上部工 0.366 × 0.450 × 2 × 4 = 1.3
 下部工 "5-1沓座拡幅工"にて計上
 計 1.3 m2

5 アンカー定着工(下部工)

① コア削孔 φ45×535 4 × 4 = 16 本
 φ45×1112 1 × 4 = 4 本

② 樹脂充填材(エポキシ樹脂注入) 比重 1.2 ロス率 1.0

径(m)	延長(m)	本数	容積(m3)
0.045	0.535	16	0.0136
0.035	0.525	16	-0.0081
0.045	1.112	4	0.0071
0.035	1.112	4	-0.0043
容積合計			0.0083

(0.41 kg/本)

(0.84 kg/本)

0.0083 × 1200 × 1.0 = 10.0 kg

③ アンカー設置工 D35×930 (SD345) 4 × 4 = 16 本
 D35×2010 (SD345) 1 × 4 = 4 本

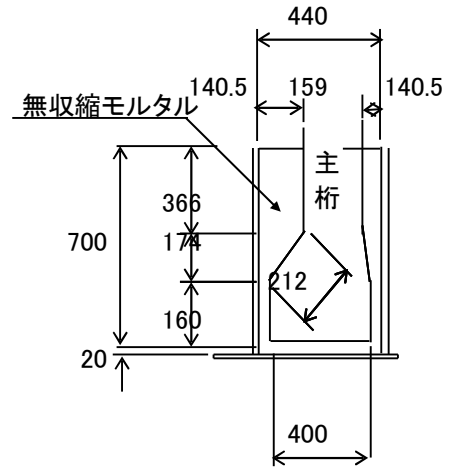
6 WJ削孔(上部工) φ50×159 (平均) 4 × 4 = 16 本

7 下地処理

※上部工, 無収縮モルタル打設面

	H,W(m)	L(m)	N	A(m ²)
側面	0.738	0.450	2	0.66
底面	0.400	0.450	1	0.18
				0.84

$$0.84 \times 4 = 3.4 \text{ m}^2$$



※下部工

$$0.750 \times 0.400 \times 4 = 1.2 \text{ m}^2$$

8 無収縮モルタル(上部工)

$$\begin{aligned} A &= 0.440 \times 0.720 \\ &- 0.159 \times 0.366 \\ &- (0.159 + 0.400) / 2 \times 0.174 \\ &- 0.400 \times 0.160 \end{aligned} = 0.15 \text{ m}^2$$

$$0.15 \times 0.45 \times 4 = 0.270 \text{ m}^3$$

径(m)	延長(m)	本数	容積(m ³)
0.050	0.159	16	0.0050
0.030	0.159	16	-0.0018
容積合計			0.0032

$$\begin{aligned} &= 0.0032 \text{ m}^3 \\ \checkmark &= 0.27 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

9 型枠(上部工)

$$0.15 \times 2 \times 4 = 1.2 \text{ m}^2$$

10 装置取付工

緩衝チェーン 5型3リンク N = 4 基

11 ブラケット取付工

製作重量より 上・下部エブラケット N = 4 組

N・W = 1,404 kg

1基 W = 219.5 kg

1基 W = 131.5 kg

1組 W = 351 kg

内訳 上部エブラケット

下部エブラケット

上・下部エブラケット

12 チェーン吊上げ工

コンクリートアンカー (アイボルト M10) 2 × 4 = 8 箇所

ワイヤグリップ (グリップ数(4):Uボルト9.5) 2 × 4 = 8 箇所

ワイヤロープ (外径6.3mm, L=2m) 1 × 4 = 4 本

6 - 2. 落橋防止構造工

種 別	材 質 ・ 規 格		単 位	数 量	備 考
				A2橋台	
取付箇所数			箇所	2	
工場製作工 鋼材質量内訳	SM490A	t=25mm	kg	323	
		t=22mm	kg	379	
		合計	kg	702	
溶融亜鉛メッキ	HDZ55		kg	702	
	HDZ35		kg	17	
アンカーボルト(上部工用)	φ 30 × 630 (S35CN)、M30		セット	8	2N(1種、3種)2W付
アンカーボルト(下部工用)	D35 × 1040 (SD345)、M33		セット	4	1N(1種、3種)1W付
	D35 × 980 (SD345)、M33		セット	4	
	D35 × 920 (SD345)、M33		セット	4	
緩衝チェーン	【5型3リンク】	SCM420H	個	2	ショックレスチェーン
		SCM420H	個	6	強力チェーン
		SCM435	個	4	調整シャックル
		SCM435	個	2	強力シャックル
鉄筋探査	レーダー探査	横向き	m2	0.6	上部工
コア削孔	φ 45 × 535		本	12	下部工
アンカー定着工	エポキシ樹脂注入 γ=1.2		kg	4.9	下部工
アンカー設置工	D35 × 1040		本	4	下部工
	D35 × 980		本	4	
	D35 × 920		本	4	
WJ削孔	φ 50 × 150		本	8	上部工
下地処理工	無収縮モルタル打設面		m2	1.7	上部工
	ベースプレート接着面		m2	0.6	下部工
無収縮モルタル			m3	0.14	上部工
型枠	一般型枠		m2	0.6	
ブラケット取付工			組	2	
			kg	702	
緩衝チェーン取付工	【5型3リンク】		基	2	
チェーン吊上げ工	コンクリートアンカー (アイボルトM10)		箇所	4	上部工
	ワイヤグリップ (グリップ数(4):Uボルト9.5mm)		箇所	4	
	ワイヤロープ (外径6.3mm,L=2m)		本	2	

A2橋台 落橋防止構造数量内訳

5型3リンク

2 基あたり数量)

1 工場製作工

種別	寸法 (mm)			1個当り 質量 (kg/個)	数量 (個)	質量 (kg)	材質	摘要 (NET)	
	幅	厚	長さ						
上部エフ ラケット									
Side PL	450	22	720	56.0	4	224	SM490A	1.000	
Base PL	450	25	484	42.7	2	85	SM490A	1.000	
Top PL	380	25	410	23.9	2	48	SM490A	0.783	
Ring PL	260	22	260	9.2	4	37	SM490A	0.785	
Rib PL	150	22	215	5.57	8	45	SM490A	1.000	
下部エフ ラケット									
Base PL	400	25	750	58.9	2	118	SM490A	1.000	
Top PL	380	25	710	35.9	2	72	SM490A	0.678	
Ring PL	260	22	260	9.2	4	37	SM490A	0.785	
Rib PL	150	22	173	4.48	8	36	SM490A	1.000	
				合 計		702	kg		
				鋼 板		SM490A	t= 25	323	kg
						SM490A	t= 22	379	kg
							Σ	702	kg
				単位重量					
Anc	Φ	30	190	5.55	8		HDZ35	8	kg
Anc	D	35	105	7.51	12		HDZ35	9	kg
				溶融亜鉛メッキ			HDZ55	702	kg
							HDZ35	17	kg

緩衝チェーン数量計算内訳 5型3リンク

設置箇所

2 基

鋼材質量表参照

SM490A	t=25mm	323 kg
SM490A	t=22mm	379 kg
合計		702 kg

溶融亜鉛メッキ

HDZ55	702 kg
HDZ35	17 kg

2 緩衝チェーン

位置	規格・寸法		単位	数量
5型3リンク	ショックレスチェーン	SCM420H	個	2
	強力チェーン	SCM420H	個	6
	調整シャックル	SCM435	個	4
	強力シャックル	SCM435	個	2

2 基

3 アンカーボルト

(1).上部工用

アンカーボルト φ30×630 M30 S35CN (M30×95両ネジ切り、ねじ部溶融亜鉛メッキ) 2N(1種、3種)2W付(メッキ品) 8 セット

(2).下部工用

アンカーボルト D35×1040 M33 SD345 (M33×105ネジ切り、ねじ部溶融亜鉛メッキ) 1N(1種、3種)1W付(メッキ品) 4 セット

D35×980 M33 SD345 (M33×105ネジ切り、ねじ部溶融亜鉛メッキ) 1N(1種、3種)1W付(メッキ品) 4 セット

D35×920 M33 SD345 (M33×105ネジ切り、ねじ部溶融亜鉛メッキ) 1N(1種、3種)1W付(メッキ品) 4 セット

4 鉄筋探査(レーダー探査)

上部工 0.360 × 0.450 × 2 × 2 = 0.6
 下部工 "6-1沓座拡幅工"にて計上
 計 0.6 m2

5 アンカー定着工(下部工)

① コア削孔 φ45×535 6 × 2 = 12 本

② 樹脂充填材(エポキシ樹脂注入 比重 1.2 ロス率 1.0

径(m)	延長(m)	本数	容積(m3)
0.045	0.535	12	0.0102
0.035	0.525	12	-0.0061
容積合計			0.0041

(0.41 kg/本)

0.0041 × 1200 × 1.0 = 4.9 kg

③ アンカー設置工 D35×1040(SD345) 2 × 2 = 4 本
 D35×980(SD345) 2 × 2 = 4 本
 D35×920(SD345) 2 × 2 = 4 本

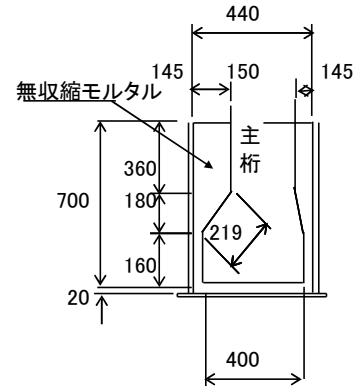
6 WJ削孔(上部工) φ50×150 4 × 2 = 8 本

7 下地処理

※上部工, 無収縮モルタル打設面

	H.W(m)	L(m)	N	A(m2)
側面	0.739	0.450	2	0.67
底面	0.400	0.450	1	0.18
				0.85

$$0.85 \times 2 = 1.7 \text{ m}^2$$



※下部工

$$0.750 \times 0.400 \times 2 = 0.6 \text{ m}^2$$

8 無収縮モルタル(上部工)

$$\begin{aligned}
 A &= 0.440 \times 0.720 \\
 &- 0.150 \times 0.360 \\
 &- (0.150 + 0.400) / 2 \times 0.180 \\
 &- 0.400 \times 0.160 \\
 &= 0.15 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

$$0.15 \times 0.45 \times 2 = 0.135 \text{ m}^3$$

径(m)	延長(m)	本数	容積(m3)
0.050	0.150	8	0.0024
0.030	0.150	8	-0.0008
容積合計			0.0016

$$\begin{aligned}
 &= 0.0016 \text{ m}^3 \\
 V &= 0.14 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

9 型枠(上部工)

$$0.15 \times 2 \times 2 = 0.6 \text{ m}^2$$

10 装置取付工

緩衝チェーン 5型3リンク N = 2 基

11 ブラケット取付工

製作重量より 上・下部エブラケット N = 2 組
 N・W = 702 kg
 内訳 上部エブラケット 1基 W = 219.5 kg
 下部エブラケット 1基 W = 131.5 kg
 上・下部エブラケット 1組 W = 351 kg

12 チェーン吊上げ工

コンクリートアンカー (アイボルト M10) 2 × 2 = 4 箇所

ワイヤグリップ (グリップ数(4):Uボルト9) 2 × 2 = 4 箇所

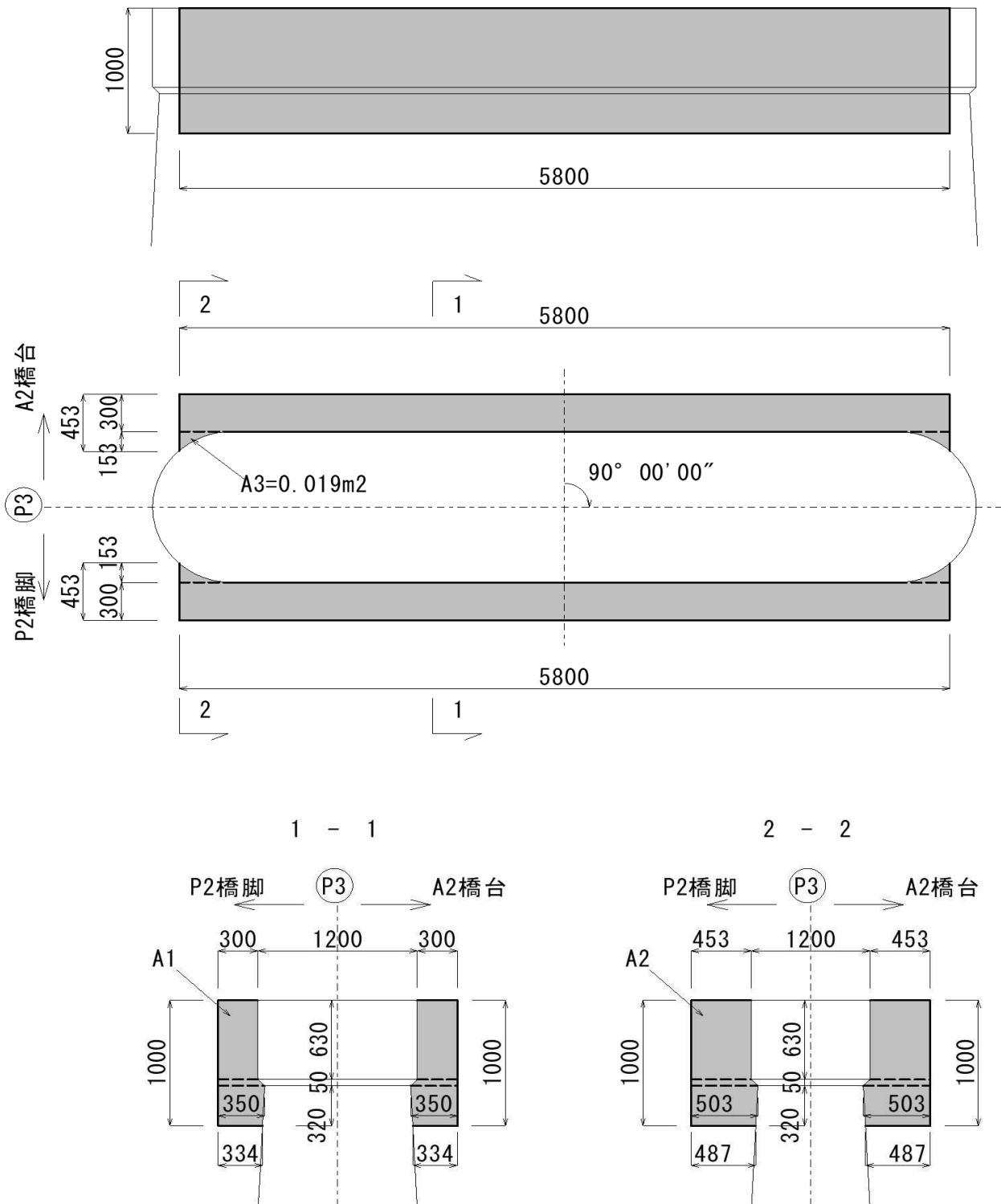
ワイヤロープ (外径6.3mm, L=2m) 1 × 2 = 2 本

沓座拡幅工・仮設工

項 目	仕 様	単 位	数 量			備 考	
			P3橋脚	A2橋台	合 計		
沓座 拡幅 工	コンクリート	$\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$	m3	3.730	2.030	5.8	
	型 枠		m2	17.422	7.950	25.4	
	鉄 筋	D16～D25	kg	520	278	798	SD345
	削 孔	$\phi 29 \times 295$	孔	92	46	138	
	アンカー工	D19	本	92	46	138	
	樹脂注入工	エポキシ樹脂	kg	12.591	6.295	18.9	
	チップング工		m2	11.999	5.916	17.9	
	鉄筋探査工	レーダー探査	m2	11.999	5.916	17.9	横向き
仮 設 工	足 場 工	吊り足場	m2	68.195	-	68.2	
		シート防護	m2	49.795	-	49.8	

§ 5. P3橋脚

5 - 1. 沓座拡幅工



$$A1 = 0.300 \times 0.630 + 1/2 \times (0.300 + 0.350) \times 0.050 + 1/2 \times (0.350 + 0.334) \times 0.320 = 0.315 \text{ m}^2$$

$$A2 = 0.453 \times 0.630 + 1/2 \times (0.453 + 0.503) \times 0.050 + 1/2 \times (0.503 + 0.487) \times 0.320 = 0.468 \text{ m}^2$$

$$A3 = 0.019 \text{ m}^2 \text{ (CAD測定)}$$

1. コンクリート ($\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$)

$$V1 = 0.315 \times 5.800 \times 2 = 3.654 \text{ m}^3$$

$$V2 = 0.019 \times 1.000 \times 4 = 0.076 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 3.730 \text{ m}^3$$

2. 型 枠

$$A = (1.000 + 0.334) \times 5.800 \times 2 + 0.019 \times 4 + 0.468 \times 4 = 17.422 \text{ m}^2$$

3. 鉄 筋 (SD345)

D16	w =	350	kg
D19	w =	170	kg

$$520 \text{ kg}$$

4. 削 孔

($\phi 29 \times 295$)

$$N = 92 \text{ 孔}$$

5. アンカー工

(D19)

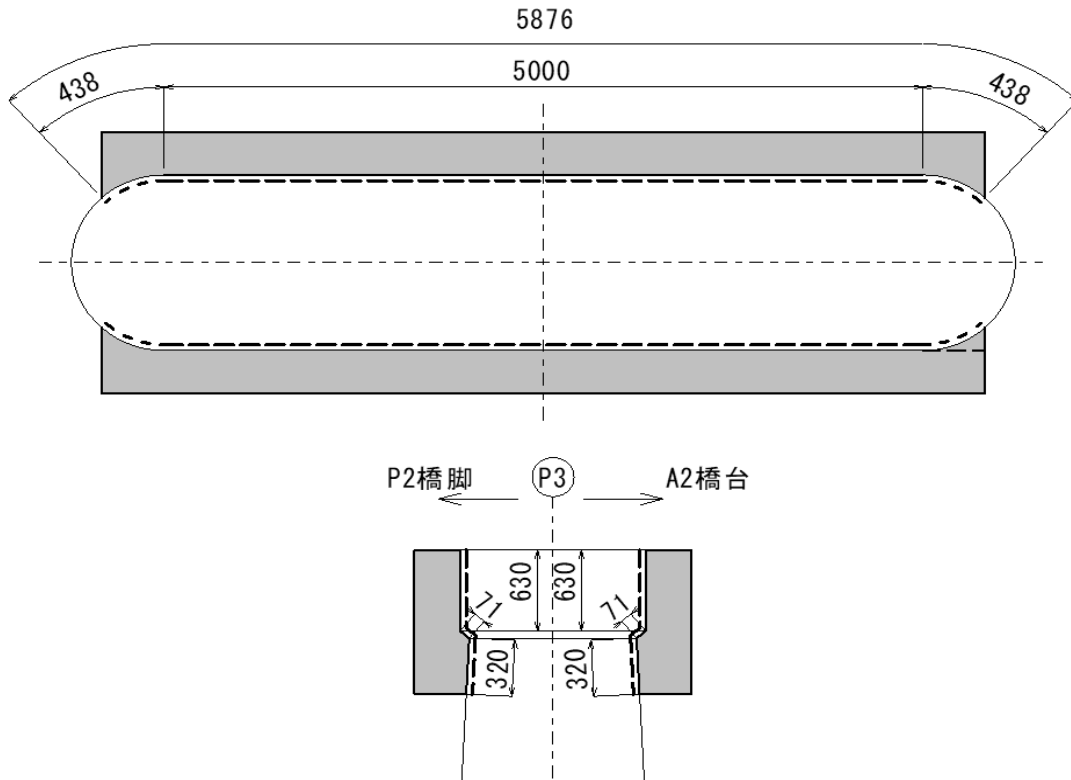
$$N = 92 \text{ 本}$$

6. 樹脂注入工 (エポキシ樹脂)

$$\gamma = 1200 \text{ kg/m}^3$$

$$W = (0.029^2 \times \pi / 4 \times 0.295 - 0.019^2 \times \pi / 4 \times 0.285) \times 1200 \times 92 = 12.591 \text{ kg}$$

7. チッピング工



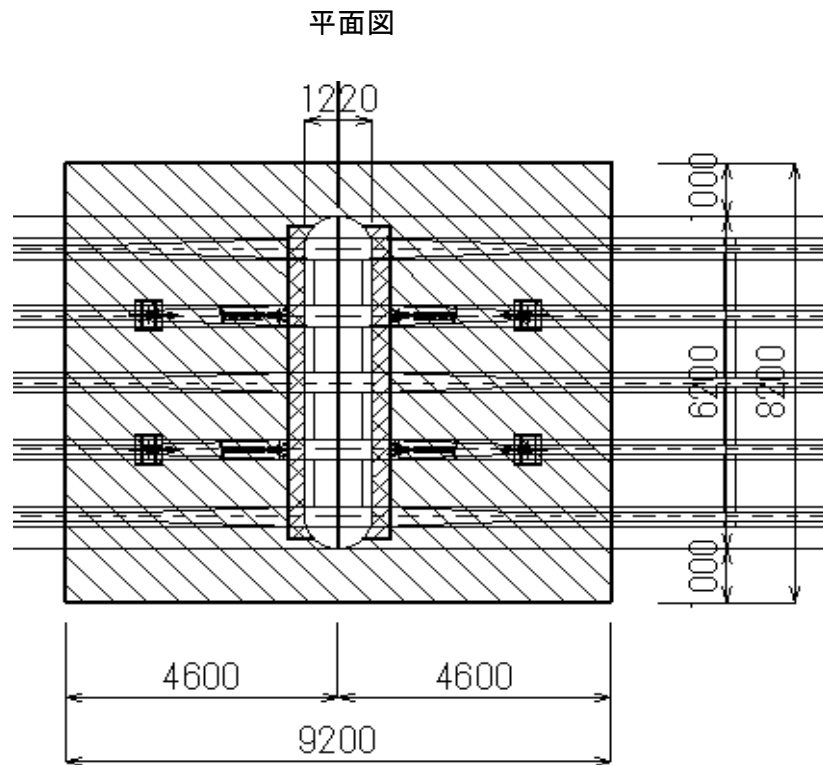
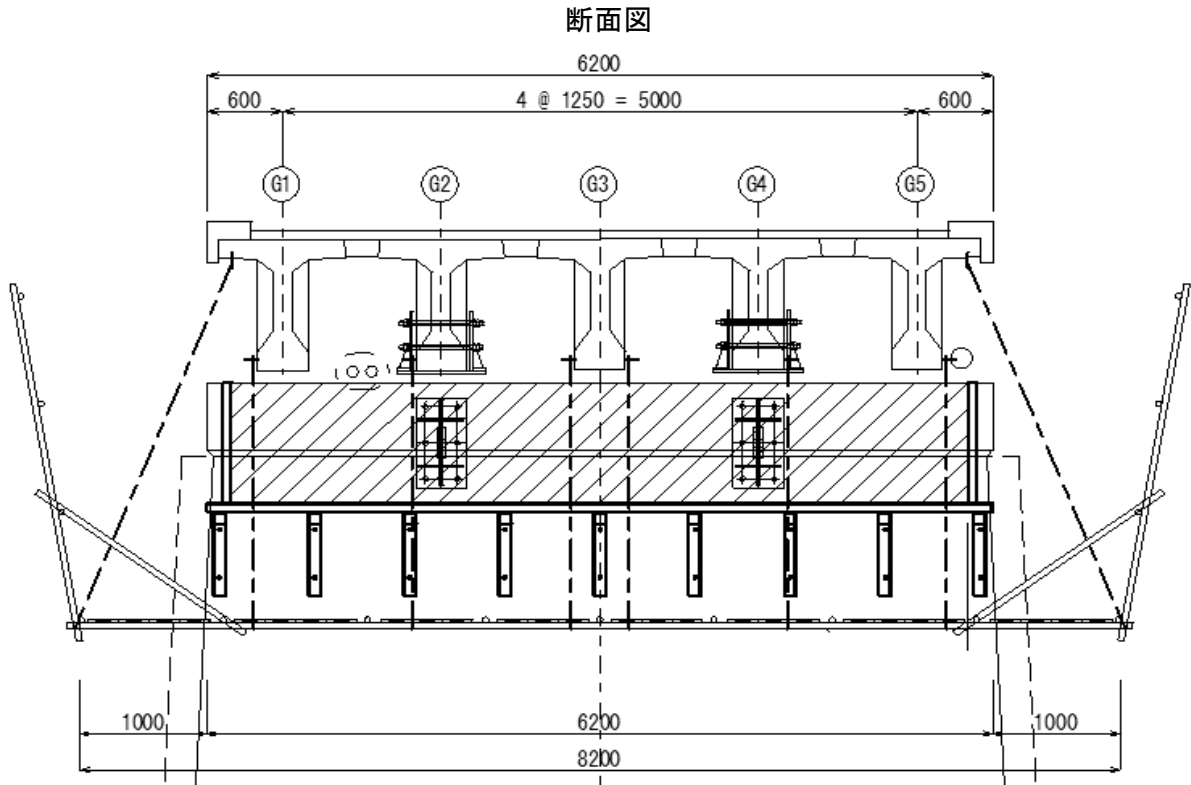
$$A = 5.876 \times (0.630 + 0.071 + \frac{0.320}{2}) = 11.999 \text{ m}^2$$

8. 鉄筋探査工 (レーダー探査 横向き)

$$A = 5.876 \times (0.630 + 0.071 + \frac{0.320}{2}) = 11.999 \text{ m}^2$$

5-3. 仮設工

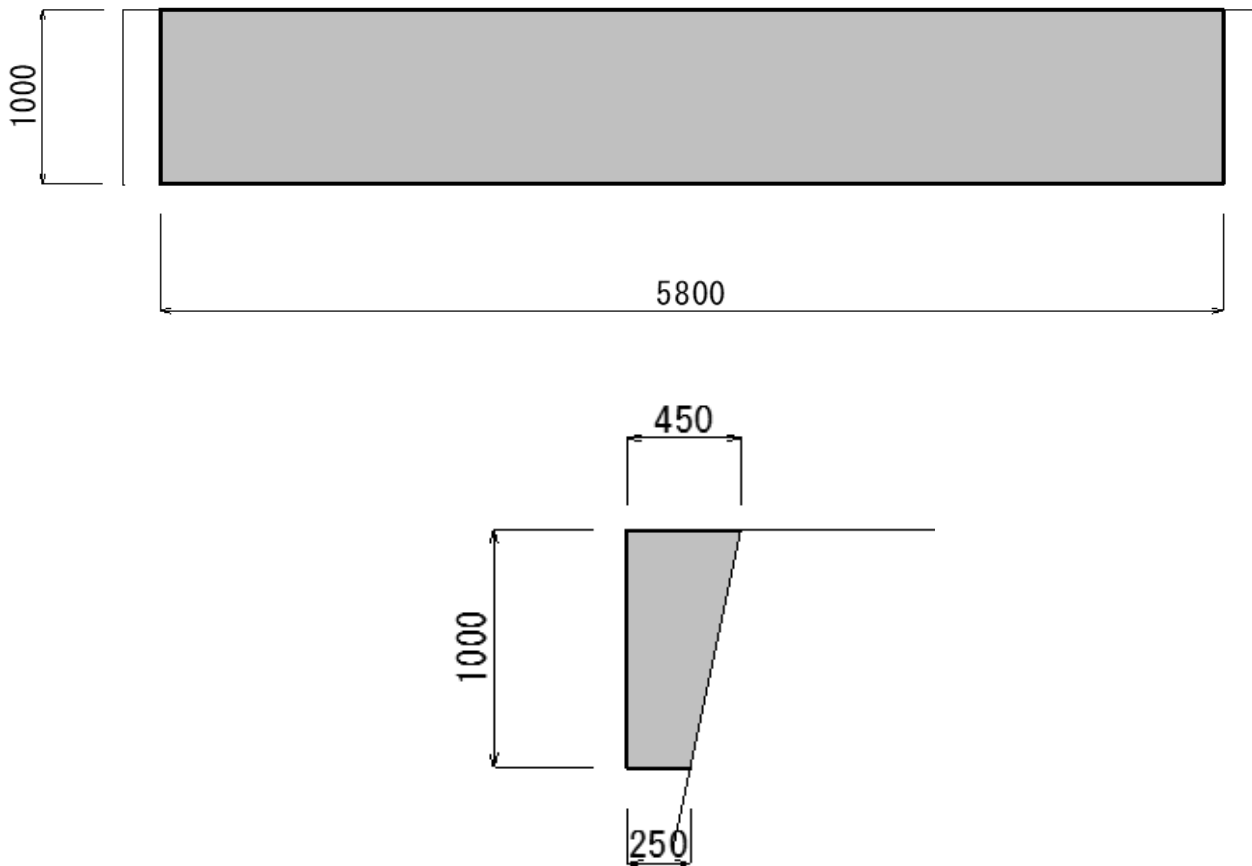
1. 足場工 (吊り足場)



$$\begin{aligned}
 A &= 8.200 \times 9.200 - \left(4.980 \times 1.220 + \frac{1}{4} \times \pi \times 1.220^2 \right) = 68.195 \text{ m}^2 \\
 \text{2. 足場工 (シート防護)} \\
 A &= 6.200 \times 9.200 - \left(4.980 \times 1.220 + \frac{1}{4} \times \pi \times 1.220^2 \right) = 49.795 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

§ 6. A2橋台

6 - 1. 沓座拡幅工



1. コンクリート ($\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$)

$$A = \frac{1}{2} \times (0.450 + 0.250) \times 1.000 = 0.350 \text{ m}^2$$

$$V = 0.350 \times 5.800 = 2.030 \text{ m}^3$$

2. 型 枠

$$A = (1.000 + 0.250) \times 5.800 + 0.350 \times 2 = 7.950 \text{ m}^2$$

3. 鉄 筋 (SD345)

D16	w =	191	kg
D19	w =	87	kg

278 kg

4. 削 孔

($\phi 29 \times 295$)

N = 46 孔

5. アンカー工

(D19)

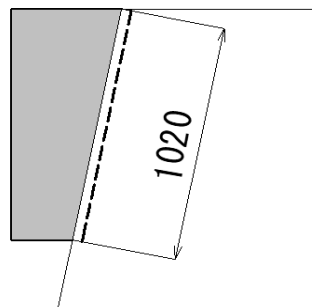
N = 46 本

6. 樹脂注入工 (エポキシ樹脂)

$\gamma = 1200 \text{ kg/m}^3$

$$W = (0.029^2 \times \pi / 4 \times 0.295 - 0.019^2 \times \pi / 4 \times 0.285) \times 1200 \times 46 = 6.295 \text{ kg}$$

7. チッピング工



$$A = 5.800 \times 1.020 = 5.916 \text{ m}^2$$

8. 鉄筋探査工 (レーダー探査 横向き)

$$A = 5.800 \times 1.020 = 5.916 \text{ m}^2$$

数量総括表

工種	名 称	規格・寸法		単位	P3橋脚	合計	備 考	
耐震補強工	既設構造処理工	表面処理 チップング面積		基礎上面部	m ²	4.0	4.0	
				柱部	m ²	85.3	85.3	
				合 計	m ²	89.3	89.3	
		R C 探査		20cm×20cm/箇所	m ²	1.3	1.3	
		削孔工	削孔箇所	φ35×510	箇所	32	32	鉛直方向
			削孔長	φ35×510	m	16.3	16.3	鉛直方向
		グラウト工		エポキシ樹脂注入	kg	10.265	10.265	
	コンクリート	鉄筋構造物	σ ck = 24N/mm ²	m ³	22.5	22.5		
	型 枠	一般型枠		m ²	59.2	59.2		
		合板円形型枠		m ³	35.5	35.5		
	鉄筋工	D13		SD345	kg	—	—	
		D16～D25	D16	SD345	kg	974	974	
			D19	SD345	kg	—	—	
			D22	SD345	kg	—	—	
			D25	SD345	kg	1548	1548	
			合計	SD345	kg	2522	2522	
		D29～D32	D29	SD345	kg	—	—	
			D32	SD345	kg	—	—	
			合計	SD345	kg	—	—	
		合 計				kg	2522	2522
フレアー溶接		D16		箇所	80	80		
				m	12.80	12.80		
組立てアンカー	D13	SD345	kg	24	24	参考		
コンクリートアンカー	柱補強	M12×52	箇所	96	96	参考		
シール材		30×30	kg	10.3	10.3			
足場工	手摺先行型枠組足場	H ≤ 30 m	掛m ²	163	163.4			
土工	床掘		m ³	29.8	29.8			
	埋戻		m ³	28.4	28.4			
	残土		m ³	1.4	1.4			

2 表面処理

チッピング面積

(1) 基礎上面部

補強前面積

$$a = 1/4 \times \pi \times 1.70^2 + 5.00 \times 1.70 = 10.77 \text{ m}^2$$

補強後面積

$$a = 1/4 \times \pi \times 2.20^2 + 5.00 \times 2.20 = 14.80 \text{ m}^2$$

チッピング面積

$$a1 = 14.80 - 10.77 = 4.0 \text{ m}^2$$

$$A1 = 4.0 \text{ m}^2$$

(2) 柱部

直角方向

$$a1 = 5.92 \times 5.00 \times 2 = 59.2 \text{ m}^2$$

円弧部

$$a2 = 1/2 \times (1.74 + 2.67) \times 5.92 \times 2 = 26.1 \text{ m}^2$$

$$A2 = 85.3 \text{ m}^2$$

(3) 表面処理集計

チッピング面積 $\Sigma A = 89.3 \text{ m}^2$

3 鉄筋削孔工

削孔長

柱補強部

(1) 鉛直方向

$$\phi 35 \times 510$$

定着筋1本当り 定着筋

$$N1 = 1 \text{ 箇所} \times 32 \text{ 本} = 32 \text{ 箇所}$$

削孔長1本当り

$$l1 = 0.510 \times 32 = 16.3 \text{ m}$$

$$L1 = 16.3 \text{ m}$$

(2) 鉄筋削孔工集計

鉛直方向 $\phi 35 \quad \Sigma L = 16.3 \text{ m}$

4 グラウト工

削孔部エポキシ樹脂注入

- ・ D=削孔径
- ・ M=単位重量 1200kg/m³
- ・ d=鉄筋・鋼棒径
- ・ K=割増係数 + 0.09

(1) 鉛直方向

$$\begin{aligned}
 w1 &= \left(\overset{D}{0.035}^2 \times \overset{\text{基部削孔工}}{0.510} \text{ m} - \overset{d}{0.025}^2 \times \overset{\text{アンカー長}}{0.500} \right) \times \pi / 4 \\
 &\times \overset{M}{1200} \text{ Kg} \times \overset{1+K}{1.09} \times \overset{\text{箇所}}{32} \\
 &= 10.265 \text{ kg} \\
 \hline
 W1 &= 10.265 \text{ kg}
 \end{aligned}$$

2) グラウト工集計

エポキシ樹脂注入 $\Sigma W = 10.265 \text{ kg}$

5 コンクリート

$$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$$

補強前天端面積

$$a1 = 1/4 \times \pi \times 1.11^2 + 5.00 \times 1.11 = 6.52 \text{ m}^2$$

補強前つけ根面積

$$a2 = 1/4 \times \pi \times 1.70^2 + 5.00 \times 1.70 = 10.77 \text{ m}^2$$

補強前平均面積

$$A1 = 1/2 \times (6.52 + 10.77) = 8.65 \text{ m}^2$$

補強後天端面積

$$a1 = 1/4 \times \pi \times 1.61^2 + 5.00 \times 1.61 = 10.09 \text{ m}^2$$

補強後つけ根面積

$$a2 = 1/4 \times \pi \times 2.20^2 + 5.00 \times 2.20 = 14.80 \text{ m}^2$$

補強後平均面積

$$A2 = 1/2 \times (10.09 + 14.80) = 12.45 \text{ m}^2$$

$$\begin{aligned}
 v1 &= (12.45 - 8.65) \times 5.92 \\
 &= 22.5 \text{ m}^3 \\
 \hline
 V &= 22.5 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

6 型 枠

一般型枠

$$a1 = 5.92 \times 5.00 \times 2 = 59.2 \text{ m}^2$$

$$A = 59.2 \text{ m}^2$$

合板円形型枠

$$a1 = 1/2 \times (2.53 + 3.46) \times 5.92 \times 2 = 35.5 \text{ m}^2$$

$$A = 35.5 \text{ m}^2$$

7 鉄筋工

(1) 鉄筋質量

材 質	径	普通鉄筋		圧接		フレア溶接		備 考
		質量kg	計	箇所	計	箇所	計	
SD345	D13	—	—	—	—	—	—	
	D16	974	2522	—	—	80	80	
	D19	—		—		—		
	D22	—		—		—		
	D25	1548		—		—		
	D29	—		—		—		—
	D32	—	—	—	—	—		
	D35	—	—	—	—	—	—	
	D38	—	—	—	—	—	—	
	D41	—	—	—	—	—	—	
	D51	—	—	—	—	—	—	
	小計		2522	—	80			

(2) フレア溶接長 D16

1本当り長さ

$$L = 0.16 \times 80 \text{ 箇所} = 12.80 \text{ m}$$

組立てアンカー (参考)

項目	径	単位	柱補強	合計	摘 要
鉄筋	D13	kg	24	24	SD345
削孔	φ 18×52	箇所	96	96	

8 RCレーダ探査工

フーチングの削孔前に既設鉄筋を探査するためにRCレーダ探査を行う。

探査範囲は 1箇所 20cm × 20cm 程度とした。

(1) フーチング

面積

$$A = 0.200 \times 0.200 \times 32 \text{ 箇所} = 1.3 \text{ m}^2$$

9 シーリング材

エポキシ樹脂系 30 × 30

柱部 補強前 上端部

柱頭部延長

$$L = (5.00 + 1.74) \times 2 = 13.48 \text{ m}$$

質量

$$W = 1/2 \times 0.030 \times 0.030 \times 13.48 \times \overset{\text{単位重量}}{1700} = 10.3 \text{ kg}$$

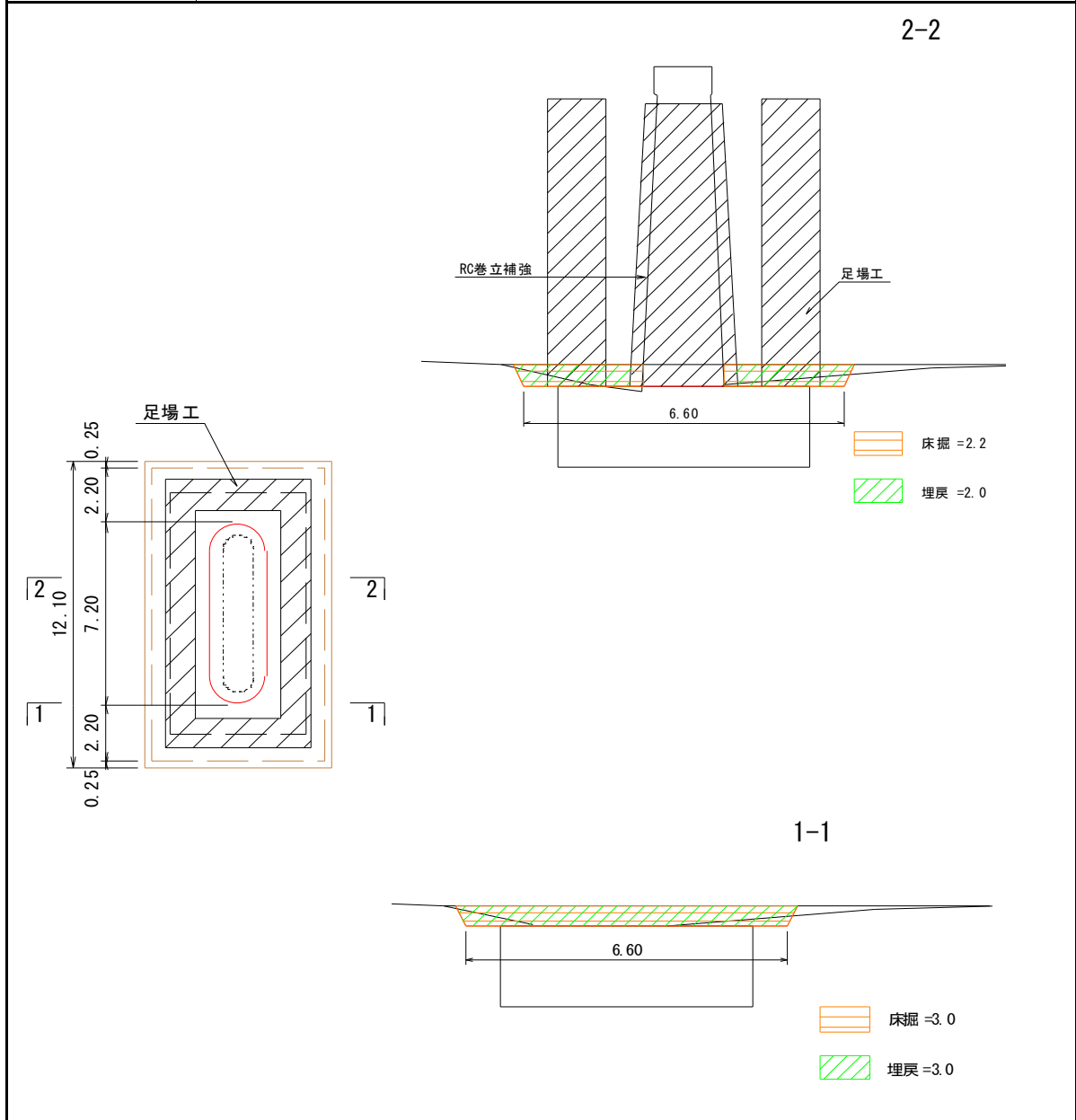
10 足場工

別紙計算より

163.39 掛m²

数量計算書

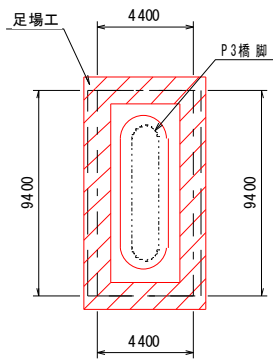
費目	
工種	P3橋台耐震補強
種別	土工



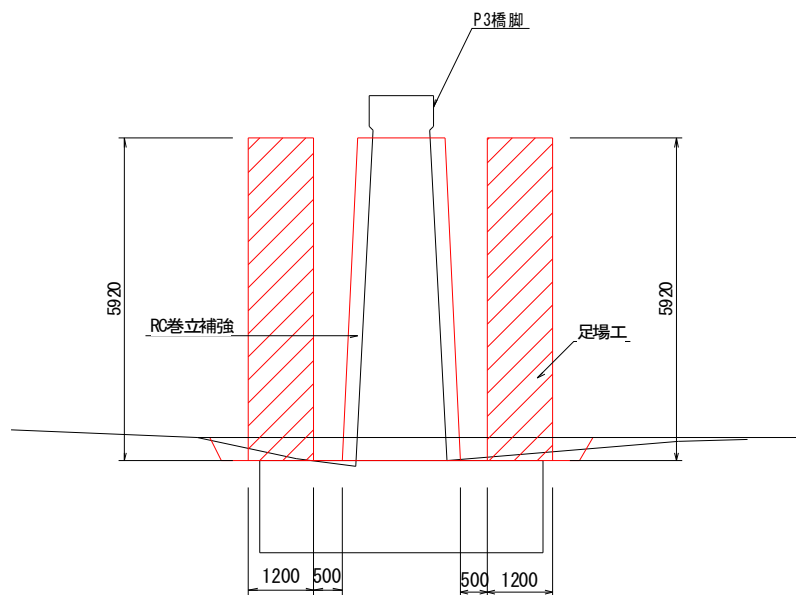
名称	規格	計算式	単位当り	数量
床掘		$(0.0+3.0)/2 \times 0.25 + 3.0 \times 2.2 + 2.2 \times 7.2 + 3.0 \times 2.2 + (3.0+0.0)/2 \times 0.25$		29.8 m ³
埋戻		$(0.0+3.0)/2 \times 0.25 + 3.0 \times 2.2 + 2.0 \times 7.2 + 3.0 \times 2.2 + (3.0+0.0)/2 \times 0.25$		28.4 m ³
残土		29.8-28.4		1.4 m ³

P3橋脚足場工

橋脚部 足場工平面図



橋脚部 足場工断面図



$$\text{足場長 } L = (4.40 + 9.40) \times 2 = 27.60\text{m}$$

$$H = 5.92\text{m}$$

$$= 27.60 \times 5.92 = 163.39\text{掛m}^2$$

1. 断面修復工

1) はつり殻(人力運搬)

$$V = 0.0180 + 0.01240 = 0.0304 \text{ m}^3$$

$$W = 0.0304 \times 2.3 = 0.041 \text{ t}$$

2) 断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)

$$V = (0.0180 + 0.0186) = 0.0366 \text{ m}^3$$

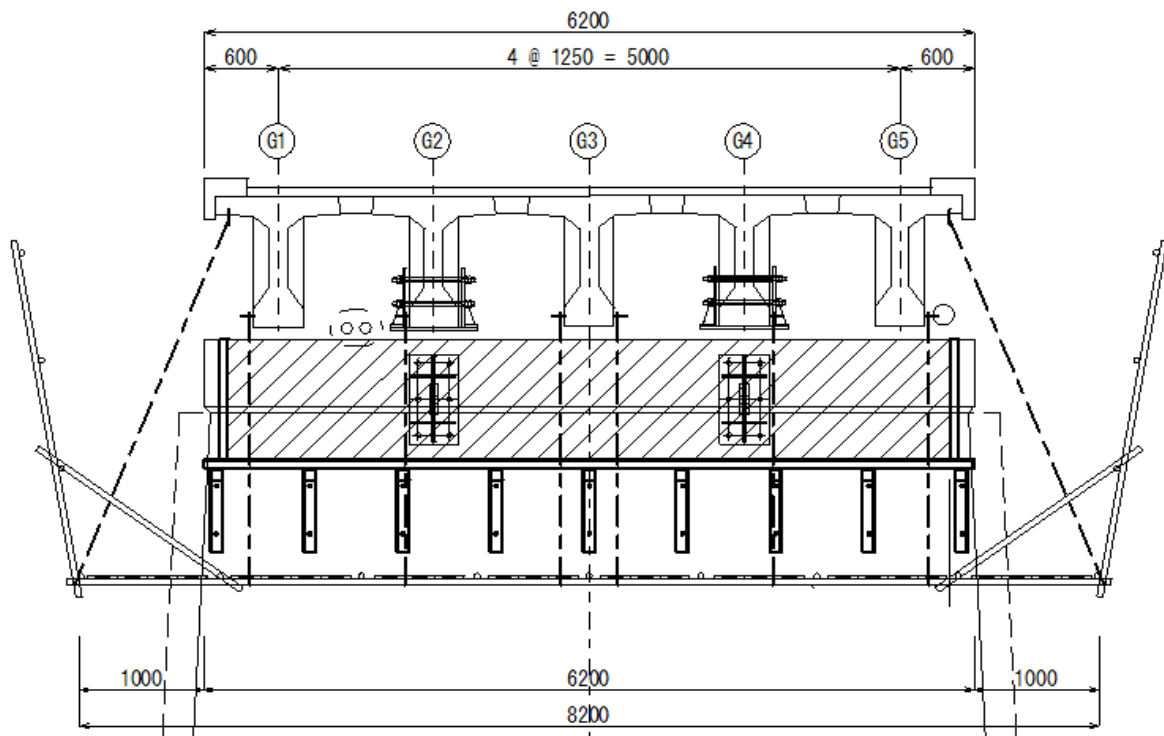
1. 足場 (吊り足場)

$$A = 8.200 \times 31.780 = 260.596 \text{ m}^2$$

2. 足場 (シート防護)

$$A = 6.200 \times 31.780 = 197.036 \text{ m}^2$$

断面図



断面修復工計算書

工種	はつり				断面補修			
	鉄筋露出部		剥離部		鉄筋露出部		剥離部	
	幅	長さ × 厚さ = 面積	幅	長さ × 厚さ = 面積	幅	長さ × 厚さ = 面積	幅	長さ × 厚さ = 面積
断面修復工	①	0.20 × 0.30 × 0.05 = 0.0030			①	0.20 × 0.30 × 0.05 = 0.0030		
	②	0.20 × 0.30 × 0.05 = 0.0030			②	0.20 × 0.30 × 0.05 = 0.0030		
	③	0.20 × 0.30 × 0.05 = 0.0030			③	0.20 × 0.30 × 0.05 = 0.0030		
	④	0.20 × 0.30 × 0.05 = 0.0030			④	0.20 × 0.30 × 0.05 = 0.0030		
	⑤	0.20 × 0.30 × 0.05 = 0.0030			⑤	0.20 × 0.30 × 0.05 = 0.0030		
	⑥	0.20 × 0.30 × 0.05 = 0.0030			⑥	0.20 × 0.30 × 0.05 = 0.0030		
			⑦	0.06 × 0.95 × 0.03 = 0.0017			⑦	0.06 × 0.95 × 0.05 = 0.0029
			⑧	0.06 × 0.95 × 0.03 = 0.0017			⑧	0.06 × 0.95 × 0.05 = 0.0029
			⑨	0.06 × 0.95 × 0.03 = 0.0017			⑨	0.06 × 0.95 × 0.05 = 0.0029
			⑩	0.06 × 0.95 × 0.03 = 0.0017			⑩	0.06 × 0.95 × 0.05 = 0.0029
			⑪	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			⑪	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			⑫	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			⑫	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			⑬	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			⑬	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			⑭	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			⑭	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			⑮	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			⑮	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			⑯	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			⑯	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			⑰	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			⑰	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			⑱	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			⑱	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			⑲	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			⑲	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			⑳	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			⑳	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			㉑	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			㉑	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			㉒	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			㉒	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			㉓	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			㉓	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
			㉔	0.10 × 0.10 × 0.04 = 0.0004			㉔	0.10 × 0.10 × 0.05 = 0.0005
合計(m3)	はつり工	0.0180	0.0124	0.0180	0.0186			

本市橋P3橋脚 数量計算書

名称	規格	算定式	数量
盛土			
	設置	別途計算より =	255.5 m3
	撤去	=	255.5 m3
盛土(中詰)			
	設置	別途計算より =	738.3 m3
	撤去	=	738.3 m3
碎石舗装	t=100mm		
	設置	$A=3.0 \times 31.0$ =	93.0 m2
	撤去	$A=3.0 \times 31.0$ =	93.0 m2
大型土のう			
	設置	=	269 袋
	撤去	=	269 袋
水替ポンプ			
	設置	=	1 基
	撤去	=	1 基

本市橋P3橋脚 土工 計算書

測点	単距離	盛土(設置、撤去)			盛土(中詰)(設置、撤去)			
		面積	平均	立積				
坂路部								
	-							
③	15.3	8.90	4.45	68.1				
②	11.9	7.80	8.35	99.4				
①	11.5	7.50	7.65	88.0				
盛土部								
	6.0				9.00	9.00	54.0	
ヤード部								
							684.3	
合計	44.7			255.5			738.3	

P3橋脚

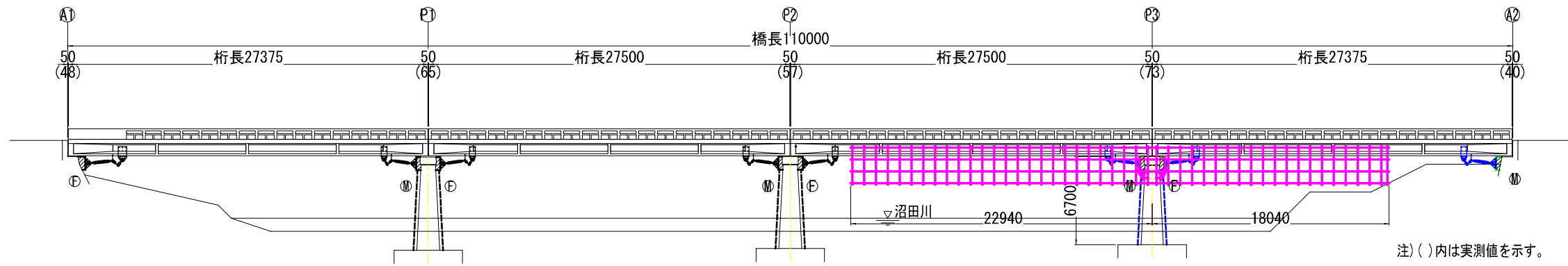
数量計算

$$\text{大型土のう } N= 29+17+17+25 = 88 \text{ 袋 (内側)}$$

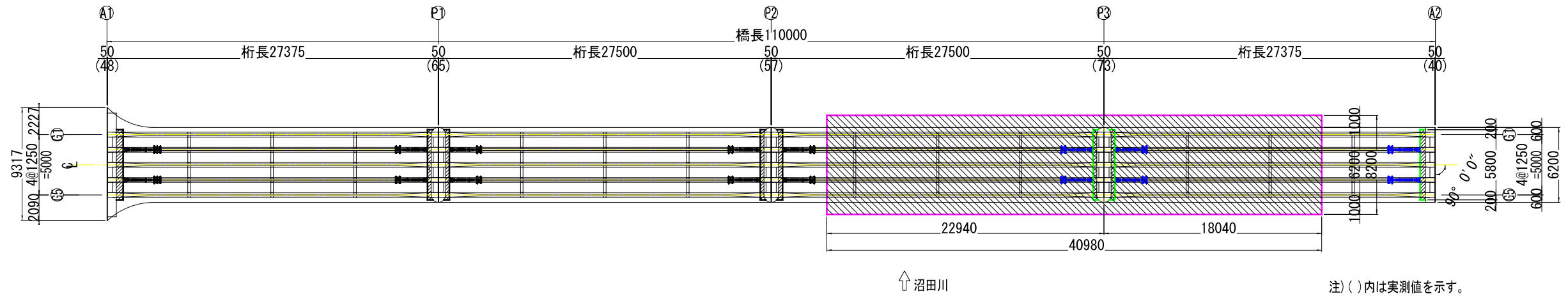
$$\text{大型土のう } N= 55+35+41+50 = 181 \text{ 袋 (外側)}$$

本市橋 足場詳細図(参考図)

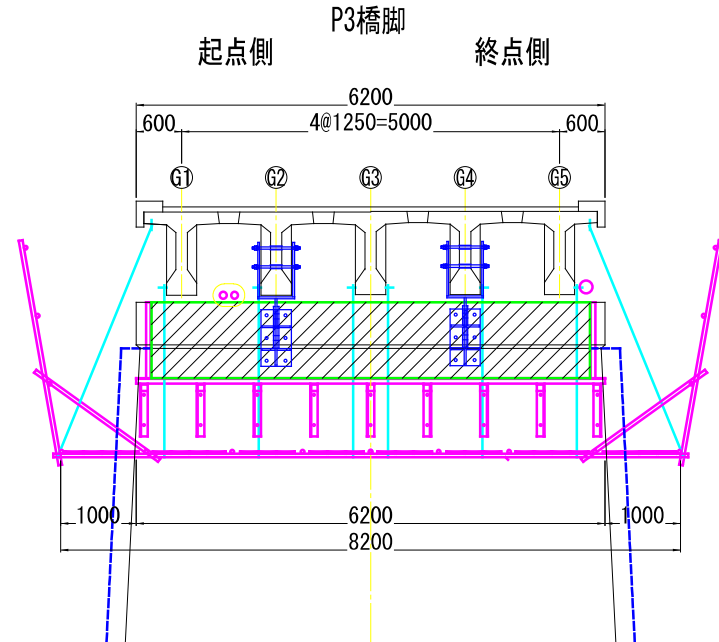
側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



断面図 S=1:50



工事名	橋梁耐震補強工事(市道沼田東町北部36号線 本市橋)		
図面名	本市橋 足場詳細図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	1 / 3
事業者名	三原市		

本市橋 P3橋脚仮設図 (参考図)

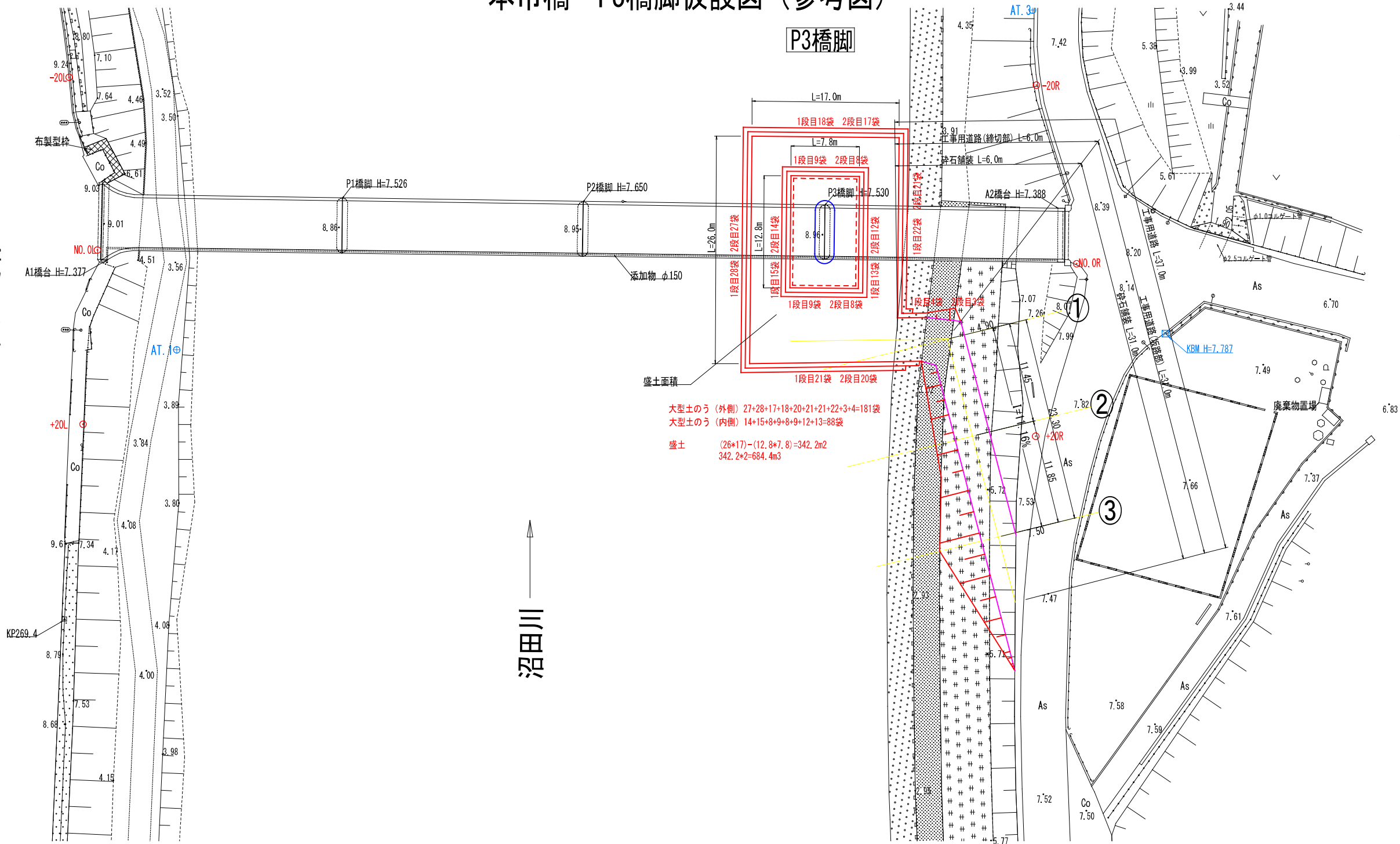
P3橋脚

S=1:250

至 三原市街

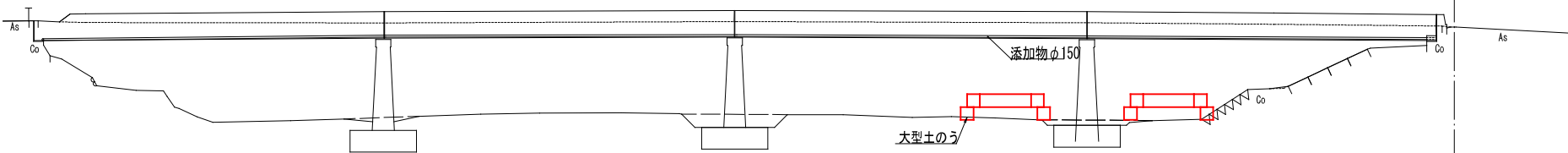
国道2号線

至 広島



大型土のう (外側) 27+28+17+18+20+21+21+22+3+4=181袋
 大型土のう (内側) 14+15+8+9+8+9+12+13=88袋
 盛土 (26×17)-(12.8×7.8)=342.2m²
 342.2×2=684.4m³

NO. OR
 PH=8.500
 GH=8.50



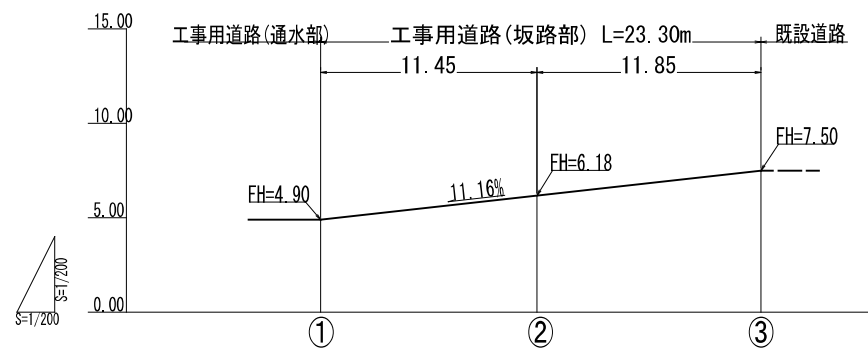
DL=-5.00

工事名	橋梁耐震補強工事 (市道沼田東町北部36号線 本市橋)
図面名	P3橋脚仮設図 (参考図)
縮尺	1:250 図面番号 2 / 3
事業者名	三原市

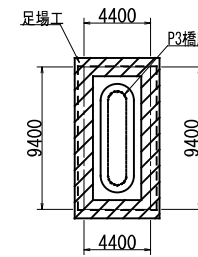
P3橋脚

本市橋 P3橋脚仮設図(参考図)

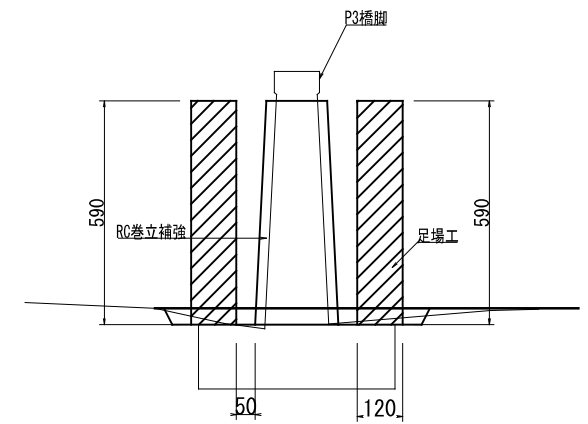
工事用道路(坂路部)縦断面図
S=1:200



橋脚部 足場工平面図 S=1:250

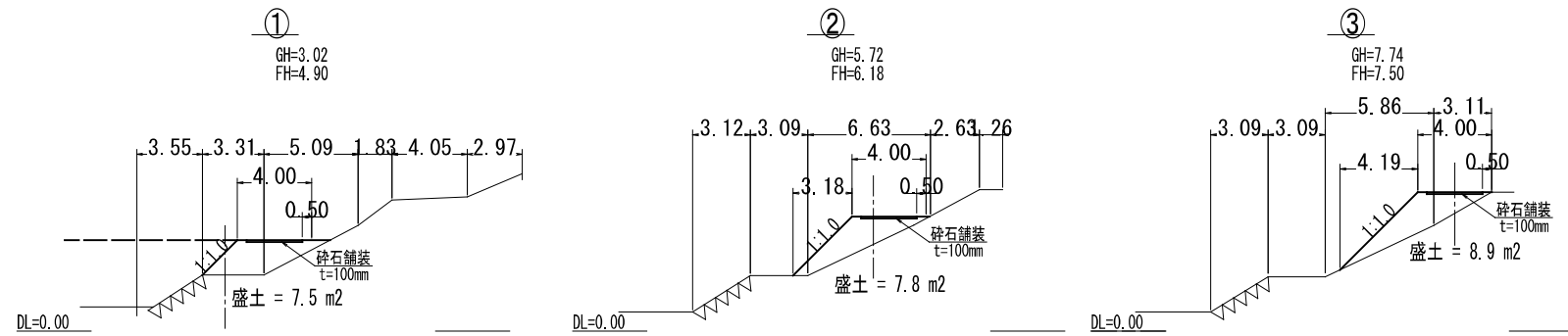


橋脚部 足場工断面図 S=1:100

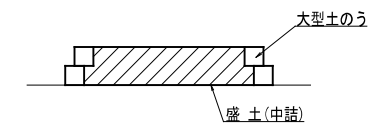


足場工 = $(4.40+9.40) \times 2 \times 5.92 = 163.39$ 掛m²

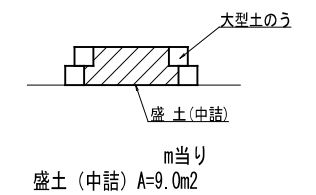
工事用道路(坂路部)横断面図
S=1:200



ヤード部標準断面図
S=1:200



工事用道路(盛土部)断面図
S=1:200



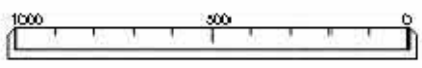
* 橋脚部仮締切・作業ヤード・足場工は、他の橋脚へ転用する。

工事名	橋梁耐震補強工事(市道沼田東町北部36号線 本市橋)
図面名	P3橋脚仮設図(参考図)
縮尺	図示 図面番号 3 / 3
事業者名	三原市

橋梁耐震補強工事(市道沼田東町北部36号線 本市橋)
下部工 N=2基
34.398219
33.021873



縮尺 1 : 20000



測量法に基づ(国土地理院承認(使用)●●●

